

目次

※名前またはタイトル部分をクリックすると、該当ページにリンクします。

<small>シュウ デェジェン</small> 修 徳 健「日本語科の新年度生」	1
(平成 5 年度任命・山東省出身・青島市在住)	
<small>タン ネイ</small> 単 寧「近況報告」	3
(平成 1 8 年任命・山東省出身・神奈川県厚木市在住)	
<small>シ ゲンギン</small> 訾 彦 閻「待つという訓練」	4
(平成 1 9 年度任命・江蘇省出身・東京都在住)	
<small>サイ リョウエン</small> 蔡 梁 燕「故郷の北海」	6
(平成 2 0 年度任命・広西チワン族自治区出身・中国在住)	
<small>シュウ ギギ</small> 周 巍 巍「近況報告」	1 0
(平成 2 3 年度任命・江蘇省出身・京都市在住)	
ヒューズーシン「マレーシアの屋台での朝ご飯」	1 2
(平成 2 5 年度任命・マレーシア出身・大阪市在住)	
<small>チン ギョウ</small> 陳 驍「ニュースター」	1 4
(平成 2 5 年度任命・遼寧省出身・東京都在住)	
<small>ナムグン ヘジン</small> 南宮 恵 鎮「私にとってソウルという都市は」	1 5
(平成 2 5 年度任命・韓国ソウル出身・韓国ソウル特別市在住)	
ザオプトラ アントニウス アンドレ「コロナ禍の転職」	1 6
(平成 2 6 年度任命・インドネシア出身・神戸市在住)	

ドゥガール アレクサンドリア メリー

「カナダ・ノヴァ・スコシア州のペギーズ・コーブ」 1 8

(平成 2 6 年度任命・カナダ出身・カナダ在住)

ナン ギョクケイ

南 玉瓊「中国人がみる京都―「知乎を通じて」 2 0

(平成 2 6 年度任命・黒竜江省出身・東京都在住)

ランドリアマナンツァ ステファン オリヴィエ

「マダガスカル薬用植物について」 2 3

(平成 2 6 年度任命・マダガスカル出身・大阪府寝屋川市在住)

しん カンキョウ

辛 冠橋「コロナ禍でも諦めない」 2 5

(平成 2 6 年度任命・中国山東省出身・埼玉県志木市在住)

ボヴァ エリオ「中島敦『古潭』について(最近の研究状況)」 2 7

(平成 2 7 年度任命・イタリア出身・京都市在住)

カーロイ オルショヤ「山の奥にもしかぞなくなる」 3 5

(平成 2 8 年度任命・ハンガリー出身・京都市在住)

ガラス セゲル ハビエラ クリスティナ「2020年を振り返って」 3 7

(平成 2 8 年度任命・遼寧省出身・東京都在住)

デフィン「インドネシアにおける電子マネーの動向」 3 9

(平成 2 9 年度任命・インドネシア出身・京都市在住)

ソン ミンソン

宋 旼星「韓国の代表的な軽食について」 4 1

(平成 2 9 年度任命・韓国出身・神奈川県川崎市在住)

リ ショウガン

李 少岩「WE DO KYOTO! 宣言からの学び」 4 4

(平成29年度任命・山東省出身・東京都在住)

[アッサギル アシール「サウジアラビアでの新型コロナウイルスの予防対策」](#)・46

(平成30年度任命・サウジアラビア出身・さいたま市在住)

[ペッサダー アミット「ラオスのお正月とその時で食べる料理」](#)・49

(平成30年度任命・ラオス出身・京都市在住)

[アサド バハー ラフラ マリーナ](#)

[「能力を持つより鉄の意志を持つほうが成功への道」](#)・51

(平成30年度任命・エジプト出身・京都市在住)

[王 靚^{リョウ}「中国語的日本語」](#)・53

(平成30年度任命・山東省出身・京都市在住)

[劉 泓子^{リョウ ヒロコ}「コロナで新たに考えたこと」](#)・55

(平成30年度任命・上海市出身・大阪市在住)

[許 俊偉^{キョ シュンイ}「学校訪問で考えた事」](#)・56

(令和元年度任命・香港出身・京都市在住)

[宋 圓夢^{ソウ エンム}「紹興市」](#)・58

(令和元年度任命・浙江省出身・京都市在住)

[劉 弋鋒^{リョウ イホウ}「大使の活動及び近況報告」](#)・60

(令和元年度任命・山東省出身・宇治市在住)

[サブーナス アウドリュース「リトアニアの真の友になった日本人」](#)・61

(令和元年度任命・リトアニア出身・宇治市在住)

[チウ エッター「留学生活の体験からパンデミックを見る__100年前と今」](#)・64

(令和元年度任命・カンボジア出身・京都市在住)

[ガリー ヌルチャヨ パングラン ジャティ「インドネシアのお正月」](#) 6 5

(令和元年度任命・インドネシア出身・京都市在住)

[金 亦衛「日本酒の代表—一月桂冠」](#) 6 7

(令和元年度任命・上海市出身・京都市在住)

[ニュエン ティ トゥ ジャン「ベトナムの尊師重道の文化：先生の日」](#) 7 0

(令和元年度任命・ベトナム出身・京都市在住)

[黄 媚陽「京旅館の将来について」](#) 7 4

(令和元年度任命・天津市出身・京都市在住)

[トムシュー アダム「疫病時代の読書—カレル・チャペックを読む」](#) 7 6

(令和元年度任命・チェコ共和国出身・チェコ共和国在住)

[張 逸然「変化の中に感じた小確幸」](#) 7 8

(令和元年度任命・遼寧省出身・兵庫県西脇市在住)

[李 俏「私の故郷 青島」](#) 8 0

(令和元年度任命・山東省出身・京都市在住)

[呂 勇「京都は人情町やで」](#) 8 2

(令和元年度任命・遼寧省出身・京都市在住)

[賈 思雨「分散型金融—Decentralized Finance \(DeFi\)」](#) 8 5

(令和元年度任命・遼寧省出身・神奈川県在住)

[ベナ ノビアンダリ デュイ ラハユ「日本とインドネシアの学校を比べて」](#) 8 8

(令和元年度任命・インドネシア出身・インドネシア・ジャカルタ市在住)

チョウ ジュンテツ
[張 順哲「中国新疆について」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 0

(令和2年度任命・新疆ウイグル自治区出身・東京都在住)

ヨ タンニ
[余 丹妮「私の故郷－漢中市」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 2

(令和2年度任命・陝西省出身・京都市在住)

ラム ウインマン
[林 穎汶「写真家が捉えた香港の空間と住宅」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 4

(令和2年度任命・香港出身・京都市在住)

コウ コウウ
[康 皓雨「トライバルタトゥーと入場禁止」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 6

(令和2年度任命・雲南省出身・中国在住)

セキ カメイ
[石 珂鳴「洛陽－龍門石窟と京都」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 9

(令和2年度任命・河南省出身・京都市在住)

[マテウス デ フレイタス ラモス「ブラジルからの大使」](#)・・・・・・・・ 1 0 1

(令和2年度任命・ブラジル出身・京都市在住)

イム フンジェ
[林 訓材「韓国の千年古都、慶州（キョンジュ）」](#)・・・・・・・・・・・・ 1 0 2

(令和2年度任命・韓国出身・京都市在住)

[エルフリダ デフィナ リマンティ「バンドンのおすすめ観光地」](#)・・・・ 1 0 6

(令和2年度任命・インドネシア出身・京都市在住)

[カン ジフィ「三大民族マレーシア」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 0 8

(令和2年度任命・マレーシア出身・京都市在住)

ト ジョウゲン
[涂 乘源「2020年度大使レポート」](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 0

(令和2年度任命・山東省出身・京都市在住)

ヨウ コウヨウ
[楊 光耀「出身地の人々から見た「京都」について」](#)・・・・・・・・ 1 1 2

(令和2年度任命・江蘇省出身・京都市在住)

[マリサ テチャマタワオン「タイとLGBTQ+」](#) 116

(令和2年度任命・タイ出身・京都市在住)

[^{オウ ソウソウ}王 壮壮「故郷新疆－和田」](#) 117

(令和2年度任命・新疆ウイグル自治区出身・京都市在住)

[マイ ティ ホン ニュン「ベトナムの文化」](#) 119

(令和2年度任命・ベトナム出身・京都市在住)

※居住地は令和3年3月現在

＜日本語科の新年度生＞

氏 名：修 徳健（シュウ デジエン）

任 命 年 度：平成5年度任命

出 身 地：中国青島市

在 住 地：中国青島市在住

小生が所属する青島にある中国海洋大学で、新一年生に＜専攻ナビゲート＞という時間を設けております。この時間では、専攻に関する諸事情を知って、専攻意識を高めてもらうことが目的とされています。この時間を担当する私にとっては、日本語科に入学してくる新入生の様子を知る機会でもあります。授業内容は、基本的に、これから学習する日本語という言語は、どのようなものか、どのように学習すればよいか、将来の進路などはどのようなものかといったようなものです。

今年は、全国から、36名の学生が難関の大学全国試験を合格して入ってきました。これに、他の専攻から編入してきた6名の在籍生を合わせると、全部で42名が2021年度生として在籍することになります。

授業では、「私と日本語との出会い」と題して、作文を書いてもらうことにしています。これを通じて、なぜ日本語科を専攻として選んだかを知ることができるかと思います。

学生の多くは、その作文で、日本語との出会いについて、日本のアニメを通じて日本語を知り、日本文化や社会に興味をもつようになったと書いてありました。アニメのほかに、日本文学の翻訳小説、日本映画、歌、日本への旅行体験もきっかけとして挙げられています。

アニメの場合は、字幕付きで見ている、登場人物の話す日本語の響きに心を打たれ、直接日本語で見られたらと日本語の勉強を決意した学生が結構多かったのです。その内の何人かが、日本語の面白い響きに引かれて、すぐに塾に通って、日本語を勉強し始めたといいます。アニメ作品として、「ウルトラマン」、「仮面ライダー」「名探偵コナン」「プラスチックメモリーズ」などが挙げられ、物語性や制作の良さ、色彩、音楽、セリフの平淡さ、余白のある会話などが評価されている。アニメは友達を作ったり、きつい受験勉強の合間に心身のリラックスなどの手段として利用されているという。『ヒカルの碁』

「恋文」という日本語の表現は、中国語の「情書」（ラブレター）より情緒があり恋人宛の手紙に使ったり、桜吹雪は、そのインパクトの強さに打たれて、日本のイメージを描いたりして好きだという人もいます。アニメ『ヒカルの碁』に出てくるセリフの「苦修」という言葉の発音は中国語での発音に似ており、これなら自分でも勉強できるのだ、またその言葉を高校の受験勉強の辛さを乗り換えるための糧にしたという人もいます。日本語はあいまいで、中国語から見

て文の大事な成分をよく省略する特徴を「加密通話」（暗証番号付きの通話みたい）という面白い表現で日本語の特徴をとらえたりする人もいる。

日本文学の場合は、アニメという形で『古事記』『源氏物語』のような古典文学に触れたり、翻訳の作品を通じて、夏目漱石や川端康成、芥川竜之介、太宰治などの近代文学の代表的な作家とその作品を知ったという学生も多い。その中には、中原中也の詩を読んでわからないため、日本語のわかる人に教えてもらったり、自分で日本語を勉強してその味を味わってみなさいと進められて日本語科を志願する理由として述べる人がいたり、漱石の『虞美人草』を読んで、日本語をしっかりと勉強して、京都に行ってみたいという人もいる。現代文学では、村上春樹の『ノルウェイの森』『海辺のカフカ』、東野圭吾の推理小説、島田庄司の小説などが好きだという人がいる。

以前に比べてみると、専攻は自分の趣味と結び付けて考える人が増え、2021年度生の場合は、皆、日本語が好きで、その背後にある文化や社会について詳しく知りたい、研究してみたい、中国と日本との違いをしっかりと対照して明らかにしてみたい、いわゆる精神面の充実を図る目的で志願してくるようになり、以前のように日本語がわかることで、いい会社に就職してお金を稼ぐという状況とは異なる様子がかがえ、将来は、中日両国の良き理解者になりたいと願う人が多い。実は、これは中国の現代若者の精神面での大きな変化だと思うのです。それぞれのもつ個性を大切にしながら、これからも長く付き合っていきたいと思っています。

<近況報告>

氏 名：単 寧（タン ネイ）
任 命 年 度：平成18年度任命
出 身 地：中国山東省
在 住 地：神奈川県厚木市在住



2020年は新型コロナウイルスのせいで世界中の人々にとって計画が狂ってしまった一年だったでしょう。まったく予想外のことでしたので、私も戸惑いましたが、時間が経つにつれ、慣れた部分もありました。今この状況ですので、いかにして時代とともに生きるか、考えさせられたことも多いですが、下記2点を紹介させていただきます。

1つ目は、ウイルス対策をしっかりすることです。目に見えないウイルスとの戦いですので、マスクの着用や消毒などは欠かせない日課です。私は外出を控え、どうしても外出しないといけないときにちゃんと人との距離を保つことを心掛けます。友達と会えないのは寂しいですが、自分と相手を守るために我慢も必要です。外食の場合、お店でマスクを外さないといけないのでやはりリスクが高いと思い、家で食事するのは一番です。

2つ目は、家での時間を楽しむことです。我が家の場合、小さい子どもがいるので、今まで土日の外出は多かったです。家にいても楽しく過ごすには工夫をしないとはいけません。そこで考えたのはオンライン学習です。ずっとテレビを見ても面白くないので、インターネットで何かを勉強しようと思いました。私は「アナウンス」に興味があるので、今週2回ネットで受講しています。子どもは毎日アニメを見る感覚で「英語」と「思考」の勉強をしています。いずれもアプリを使って簡単に学習できるので大変便利です。ストレスが溜まらないように、家で何か面白いことを始めることも悪くないと思いました。

やっと、新しい年になりました。今年こそ通常の生活に戻りたいですが、私が住んでいる神奈川県も「緊急事態宣言」の再発令の対象地域になりました。感染防止に気を緩めることができません。医療従事者の方に負担をかけないように頑張ります。まだまだ「三密」を避けないといけませんが、危機を乗り越え、また笑顔で親戚や友達と抱きしめ、再会の喜びを語りたと思います。

<待つという訓練>

氏 名：訾 彦閻（シ ゲンギン）
任 命 年 度：平成19年度任命
出 身 地：中国江蘇省蘇州市
在 住 地：東京都在住



2020年は私にとって試練の多い一年でした。仕事も私生活においても忍耐が必要でした。この一年、私は自我と戦いながら、生きてきました。

コロナのため、現職で運営している海外留学研修プログラムが中止になり、留学予定の学生が留学を延期しなければいけないことになりました。私は半年をかけて、海外の協定校と交渉し、学生の留学延期を何とか定着しようと行動しました。しかし、せっかく留学延期の許可をもらったのに、半年後にコロナが収束できず、派遣する学生を再度延期させることになりました。年末に私は自分の仕事業績を見ながら、今年は何のために働いたろうとため息をつき、多少虚しさを感じました。私生活においても、在宅勤務が続くと周りとの関係性が薄くなり、このような状況がいつまで続くだろうと悩んでいました。

「待つ」ということがかなり苦手な私がコロナによって、「これ以上我慢できない」という気持ちに何度も陥っていました。現代社会がファーストフードの文化に影響され、何でも早ければ早いほど良いと思われています。一方で、コロナを通して、私は「待つ」ということの意義を再発見することができました。

1. 待つことによって、人格が磨かれる。期待していることが早く起きることやほしいものを早く手に入れたいというような思いは誰でもあります。しかし、待っている間に私たちが磨かれ、期待していることが訪れるときにもっと成熟に管理することができるわけです。聖書ヤコブ書の1章2～5節に以下のようなことが書かれています。

わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

2. 待つことによって、自分の心をチェックすることができます。私はよく待たされているうちに、気持ちが切れてしまい、手段を選ばずに問題を解決しようとしています。しかし、聖書のヤコブ書3章13～18節には私たちが「上からの知恵」を求めるべきだと教えています。待てないという気持ちの背後には「競争心」「誇り高ぶる心」があるからです。

あなたがたのうちで、知恵があり物わかりのよい人は、だれであるか。その人は、知恵にかなう柔和な行いをしていることを、よい生活によって示すがよい。しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや党派心をいだいているのなら、誇り高ぶってはならない。また、真理にそむいて偽ってはならない。そのような知恵は、上から下ってきたものではなくて、地につくもの、肉に属するもの、悪魔的なものである。ねたみと党派心とのあるところには、混乱とあらゆる忌むべき行為とがある。しかし上からの知恵は、第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りが無い。義の実は、平和を造り出す人たちによって、平和のうちにまかれるものである。



2020. 10. 24@ロックハート城

このようにコロナ禍のシーズンを通して、未熟な私は忍耐という訓練を受け、もっと柔和な人になれたらいいなあと思っています。これこそコロナの禍を転じて福とする道でしょう。

<故郷の北海>

氏 名：蔡 梁燕（サイ リョウエン）
任 命 年 度：平成20年度任命
出 身 地：広西チワン族自治区
在 住 地：中国在住



2020年、誰にとっても考えたこともない一年だったと思う。私も例外ではない。1月19日、春節を迎える為に日本から里帰りし、予定は2週間後に戻るつもりだったが、23日コロナ禍で武漢がロックダウンされ、ついつい故郷での滞在時間が延ばされてしまった。どこにも行けず半年ほど故郷でじっとすごした。振り返ると、高校以後、大学、出国、段々、故郷から離れていく。故郷の印象はぼんやりしている。もちろん、毎年里帰りしたが、いつもバタバタして、故郷について余裕を持って、感じる事が殆どなかった。故郷のいいこともいつか忘れてしまったようだ。この長い間のおかげで、故郷のことに新たな認識が与えられた。自分もそうだが、よりもっと多くの人を知ってもらいたい。

私の故郷は北海というところだ。あまりにも小さい町で、しかも中国が広くて、北海の知名度が低かった。中国人同士でも知らない人は珍しくない。曾て日本に行った時のことだったが、出身地は北海だと自己紹介した時、北京の北海公園のことに誤解されたことがあった。だから、正式に北海のことを紹介したい。

まず、北海の場所はどこにあるのか？北海は中国の南方であり、広西チワン族自治区を属している一つの市である。広西チワン族自治区の最南端にある。広州から約500キロメートル、ベトナムから約200キロメートル離れているところにある。海はそばにある、海南島とベトナムのハノイと海望む。



(出所：<https://ditu.so.com/?t=map&src=onebox&new=1&k=北海市>)

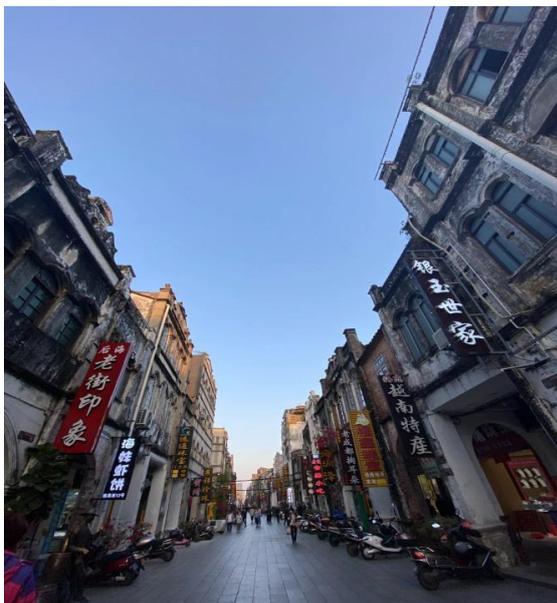
上の図のピンが付いているところが北海である。広い中国にとって、本当に小さい都市で、中国の心臓の北京からも約2600キロ離れているので、あまり知られていないとも考えられる。小さい町だが、面白い町でもあると思う。何かあるだろう。

次に、北海の人文歴史というのがあるのか？ご存知のように、中国文化の源は中部地域の河南省その辺である。北海まで大分距離がある。歴史の大河の中に、北海は砂みみたいな存在といっても過言ではない。古来、「南蛮の地」と言われて、官僚が左遷、追放されて、流された所であった。中国商の時代（紀元前1600年から紀元前1046年）、所謂3000年前、北海という所は中国の歴史舞台に登場し始まった。「漢書・地理誌」により、2000年前の漢時代から、北海は海のシルクロードの出発港の一つとなっていた。漢武帝の使者は北海の合浦というところの港から東南アジア、南アジア諸国を経て、インド、スリランカなどまで、シルクや陶磁器などの交換物として、瑠璃などの宝石を持ち帰った。だから、北海は歴史上に一定な役割を果たしていた。

海のシルクロードのおかげで、西洋の文化にも影響をもたらした。今、北海の観光名所として、「北海老街」と呼ばれている所がある、文字通り、古い街であるが、ただ約200年の歴史だったが、この小さい都市にまだ保存できていることに十分驚かされた。

19世紀20年代、英、ドイツ、仏諸国は北海で洋風な領事館を建てた、その影響で、この街の建築も中洋折中の建物が建てられた。老街というのは珠海路を中心とする中洋折中騎楼式の建築を形成した商店街だ。（下の図の風な建物は中洋折中騎楼式の建築という）。老街の最初は全長200メートル、幅4メー

トルだったが、今は全長 1.44 キロ、幅も 9 メートルになっている。海に近いので、老街は昔から、海鮮物の売店、釣具店、海鮮料理店が並んでいる。今は、地元風景を感じる、地元料理を味わう、地元生活を体験するという「趣」で、観光客が盛んで、人気町になっている。コロナ禍の影響で、観光客が減っているが、いつか回復して、賑わってくると考えられる。



(2020 年 11 月 22 日北海老街にて撮影)

北海には凄く有名な観光名所がない。今までは海、砂浜、海水浴場しかなかったと思う。大体、ここに来る観光客は海水浴と海鮮料理、この両方だけだろうと思っていた。だが、私もよく旅行に行って、ここに戻ったら、魅力のある町ではないかと感じさせた。

ここには、綺麗な海、真っ白な砂、純粋な民風があることはずっと魅力的だ。下の写真を見てのように、この港はほぼ毎朝、海鮮朝市をやっている。漁民

私たちは前日の夜、海鮮を捕りに行って、翌日の朝に戻っているから、この港で販売している海鮮が一番新鮮で、かつスーパーより安く、ポイントは値段の交渉ができるので、地元の人々に愛されている。年配の方はよく、朝散歩で、つい、海鮮物を買って帰るのが一日の幕を開くという生活スタイルだ。売買の声、船の音、海鮮の匂い、ここは地元生活の雰囲気が溢れる場所だ。



(2020年12月1日、北海外砂橋にて撮影)

最後に、北海の観光名所、「北海銀灘」という砂浜である。「天下第一灘」と名付けられた。海水はどれだけ綺麗とかはわからないが、北海の銀灘の砂は本当にここで独特な物だと思う。白くて、シルキーなので、銀灘の由来はその意味だ。白くて柔らかい、手で触ると、まるで小麦粉を掴む感じがする。靴を脱いで、足で砂を踏むことで非常に癒されている。この海、この砂、幾つかの人々が北海を好きになってくれる原因の一つではないだろうか。



(2020年12月2日北海銀灘の写真)

北海の紹介はここまでだが、人によって感じかたが違うこの綺麗な小さい町を一度でも体験してみませんか？

<近況報告>

氏 名：周 巍巍（シュウ ギギ）
任 命 年 度：平成23年度任命
出 身 地：中国・江蘇省
在 住 地：京都市在住



社会人になって、10年が経とうとしています。5年前に新卒で入社し、約5年間務めていた大手メーカーを退職し、京都の会社に入社することをきっかけに、家族と京都に住むことになりました(学生の際は、大阪から通学していました)。3年前に京都で会社を設立し、海外のお客様を中心に、不動産関係の仕事をしております。仕事や育児のことで精一杯となり、社会人になってから、あまり交流活動に参加出来ていないのが実情ですが、日常生活や仕事を通じて、京都と母国中国の架け橋の役割を果たせばと常に意識し行動しています。

仕事では、築年数70年を超える本格的な京町家を一棟貸しの宿泊施設にリノベーションし、プロデュース及び運営も担っております。世界中から京都に来られるお客様に「まるで京都で暮らすように」、よりディープな京都体験をして頂けるように旅のお手伝いをしております。

リノベーションの段階では、出格子、虫籠窓、坪庭、土間といった、町屋の特徴となる要素を可能な限り残し、土壁、唐紙、瓦葺きなど、日本らしい、京都らしい素材も積極的に採用しています。京都品質をお客様に体験して頂きたく、そして京都の地元の企業を応援する思いも込めて、京都の老舗から提灯や寝具を導入しております。

お客様が宿泊施設に来られた際に、京都の「一保堂煎茶」と「小川珈琲」でおもてなしし、朝食は京都の仕出しの老舗「泉仙」社から京都らしい懐石和朝食がお宿まで配達されます。夜は懐石料理のお店と提携し、お宿の中で和食料理人による出張懐石料理を楽しんで頂けます。着物を着た女将さんによる配膳や懐石料理の解説も好評です。



写真① 京都らしい懐石和朝食



写真② お宿で楽しんで頂ける本格的な京懐石料理

世界中のお客様に思う存分に京都を楽しんで頂くために、着物体験、茶道体験、華道体験、人力車体験などのようなたくさんの京都らしいアクティビティもご用意しております。

コロナによる影響で多くの地元の宿泊事業者、飲食事業者が大変な状況に陥っていると察します。コロナが一日でも早く終息し、再び世界中のお客様で賑う京都になることを期待します。ダメージを受けた宿泊事業者、飲食事業者には、中国のお客様に関する集客や受け入れ対応について、協力し、日中の架け橋的な役割を果たしてまいります。

以上

＜クアラルンプールのランドマーク＞

氏 名：ヒュー ズーシン
任 命 年 度：平成25年度任命
出 身 地：マレーシア、クアラルンプール
在 住 地：大阪市在住



マレーシアの首都クアラルンプールは、近代的で素晴らしい建造物と歴史的なスポットの魅力で溢れている賑やかな都会です。クアラルンプールに立つ世界的に知られたマレーシアの象徴、ペトロナス・ツインタワーについて紹介します。

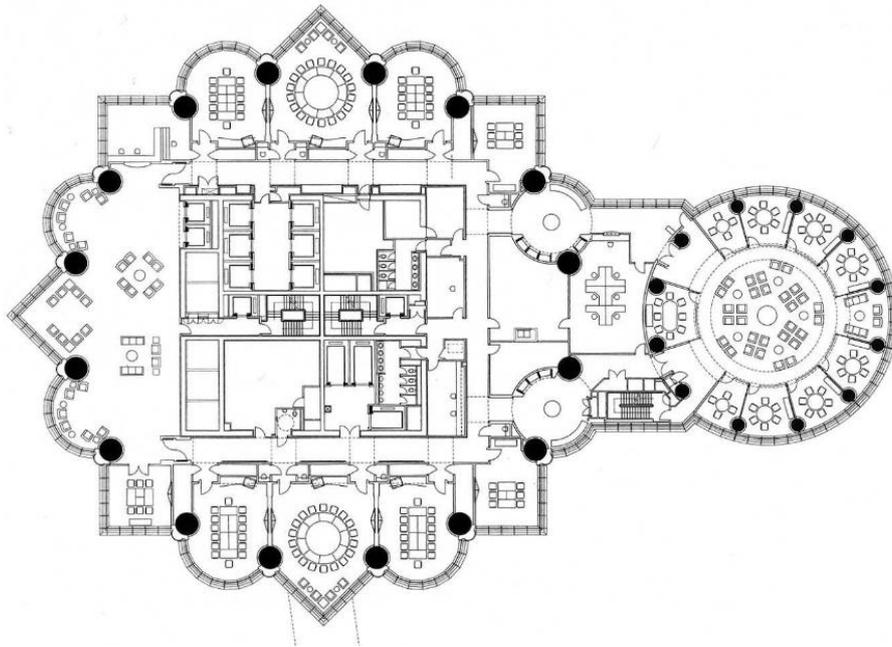


ペトロナス・ツインタワーの外観

ペトロナス・ツインタワーは451.9mの高さを誇り、完成された1998年から2004年まで、高さは世界一でした。塔の設計はマレーシアの国教であるイスラム教の様式に基づき、マレーシアのモスクに近似する特徴的な尖塔を有します。また、平面図の形状はイスラム様式の幾何学模様に基づきます。ツインタワーの41階部分を連結しているスカイブリッジと86階にある展望台デッキで立って、眺望を楽しむことがこの見どころです。41階のスカイブリッジは、非常時の避難経路としての役割を持っています。



塔の設計はモスクの尖塔に基づきます。



平面図の設計はイスラム様式の幾何学模様に基づきます。

このタワーの下にはショッピングなどの複合施設、スリア・クアラスンプール・シティ・センター(Suria KLCC)となっています。そこにはショッピングモールや高級ホテル、美しい公園、そして展示会場などが配されています。

クアラルンプールを訪れるとき、ペトロナス・ツインタワーに足を運んで都会の雰囲気と美しさを満喫してください。

<ニューススタート>

氏 名：陳 驍（チン ギョウ）
任命年度：平成25年度任命
出身地：中国遼寧省
在住地：東京都在住



2021年になり、大使に任命されてから速くもう8年目となりました。私自身も学生から社会人になり、30歳を迎えて節目の年になりました。

今、日本の代表的なデザイナーブランドに勤め、中国マーケティングを経て、2月から憧れのプレスに異動することも決まりました。

2年間中国と日本の間に立ち、架け橋として働いてきました。凄まじいスピードで変化する中国、古き良き伝統を守る日本、両方の思惑をお互いが理解し合うことに注力してきました。特殊の立場であるからこそその経験とも言えるかもしれません。

去年から始まったコロナ禍は世界をガラッと変えました。今まで毎月のように行われていた中国出張ができなくなり、在宅勤務が続く日々となりました。メールや、電話で仕事をやり遂げられますが、ニュアンス的な表情はインターネットを挟んで感じ取ることができませんでした。やはり直接に対面してコミュニケーションを取ることも重要だと改めて思いました。京都府名誉友好大使もそうです。今の時代ではより多くのことがインターネットを通じて実現できますが、直接に学校に行って母国を紹介したり、みんな一緒に助け合って料理を競ったり、直接合うことでよりお互いの国の違いを感じることは重要です。

2月から新しい職種になり、新しい挑戦も待っています。今まで、マーケットを区切って、全ての分野に携わってきましたが、これからより発信することに専念して、中国と日本の間だけではなく、人々の間のコミュニケーションに関して深く探究していきたいと思います。

コロナ禍によって、世界が大きく変わった時代、対面的なコミュニケーションが難しくなり、今後新しいコミュニケーションの方式を探り、仕事ではもちろん、また京都府名誉友好大使としても新たな価値を創出したいと考えています。

<私にとってソウルという都市は>

氏 名：南宮惠鎮（ナムグンヘジン）
任 命 年 度：平成25年度任命
出 身 地：韓国
在 住 地：韓国・ソウル



ソウルは韓国の首都であり、日本の東京都と似ているところがたくさんあります。圧倒的に人口が集中していて、家賃は高く、文化的に豊富で、憧れでもあれば、人込みにうんざりとしたりする、そのような生き生きとしている都市です。私の家族がソウルに引っ越したのは、私が高校生になる頃で、それからもう13年ぐらい経ちましたが、実際私がソウルの家で暮らしたのはたった3年ちょっとです。高校生の頃は学校の寮で暮らしていて、大学生活は京都で過ごして、大学院もそのまま京都で進学したからです。修士卒業してからやっと韓国のソウルに戻って、10年ぶりに家族と一緒にソウル生活を送っています。

今通っている会社はソウルの端っこに位置していて、家から通うにはとても便利です。友達もほとんど通勤や通学のためソウル周辺に住んでいます。コンサートや展示会、いろんなイベントに参加するにもソウルに住んでいた方がいいなと思います。最近では新型コロナウイルスのせいでどちらにしる、あまりできていませんが。

それを考えると、これから結婚したり、家から独立するにしてもずっとソウルに住みたいなと思いますね。しかし最近、天井知らずにソウルの家賃が値上がりしているのを見ると心配です。韓国全体の人口の半分ぐらいが首都圏に住んでいるのです。地域格差という社会問題に対して解決策を出すのはもちろん難しいことでしょうけれど、私はただ個人的にこう思います。住みたいところに住むだけのために、がつがつお金ためて、一生懸命がんばるしかないかと思うともう疲れてしまうなと。何で（私を含めて）みんながみんなソウルに住みたがるのだろうか。

韓国だけでなく、日本、中国を含めていろんな国でも似たような社会問題があると思います。いろんな地域出身の若者の声が聴きたいですね。お互い共感して、私たちなりの突破口を探していきたいです。

<コロナ禍の転職>

氏 名：ANTONIUS ANDRE ZAOPUTRA
（アントニウス アンドレ ザオプトラ）
任 命 年 度：平成26年度任命
出 身 地：インドネシア、ジャカルタ
在 住 地：神戸市在住



私ごとですが、今年（2020年）の6月に無事に転職しました。前の職場は、日本語学校で学生課の教員として、学生管理をしながら大学入試の受験対策授業を担当しました。正直、いろいろな意味で厳しい環境の中で就職していたからか、心の休養が上手くできず、体力も精神も蝕まれたことは事実です。これが、後々転職する最大の理由です。上司にその旨を伝え、退職まで残された2か月の間に日々の仕事をしつつ、新しい転職先を探さなければなりません。そのとき、4月で、コロナの第1波の真ん中でした。あらゆる転職サイトに登録して、ひたすら企業にメールを送る日々でした。いくら待っても、いつまでたっても返事が来ませんでした。コロナ禍の就活は大変だなと実感し始めました。

当時は、何を一番心配していたかという点、退職するまでに仕事が見つからないかではなく、本来の自分に向いている仕事は何だろうと悩んだ時期があった事でした。そもそも私は大学院まで化学を専攻して、なぜ研究職へ行かず日本語学校に飛び込んだかは、面接では突っ込まれるところです。そして、自分を見つめなおすとき、やはり自分が研究職に向いているか？それとも何が向いているのか？自分は何が好きか、何ができるか、そればかりを考えました。

5月に入り、ちょうどゴールデンウィークの後、大きな転機が訪れました。とある外資系企業から面接のオファーが直接来ました。全く異なるコーヒー業界の商社で、営業部配属とのオファーです。日本に住んで10年、営業マン・サラリーマンの印象はさほど良くないですが、大好物なコーヒーというキーワードだけで、心が引かれ、面接を受けました。その後、2週間弱内に、面接を合計3回受けて、すんなりと内定までもらいました（質問内容は本当に難しく、最終面接で落とされるかと思いました）。しかし、内定をもらった時は、ほっとした気分より、不安が大きかった。「そもそもなぜ、営業経験のない、ごっつい理系頭の外国人にわざわざスカウトしたのか。俺で大丈夫か」と思いました。転職カウンセラーに相談したときこういわれました「企業側もあなたを雇って教育する覚悟ができてから内定を出したのです。あなたが覚悟をしたのであれば心配は必要ありません」と。一見、強引に聞こえるかもしれませんが、冷静に考えたら確かにそうですね。結果、内定を受けて無事に6月から仕事をし始めました。

初めの1カ月は、未知の世界に飛び込んで、日々必死に勉強しました。出勤

の電車で株や先物相場、為替、ロジスティクス、コーヒーの品質などなど…今まで聞いたこともない業界ならではの専門用語ばかり。歓迎会の時、思い切って社長に私を採用した理由や経緯を聞きましたら、「理系の頭を持つ人が欲しい」とシンプルに答えたあと、自分の選考の話でいかに他の人を抜いたのかという話を聞かされました。今はまだ6か月目ですが、もうこの会社の一味になったような気がします。

正直、自分も驚きました。まさか、今は神戸まで飛んでコーヒーの仕事をしていることとは、大学生の時の自分は全く思いませんでした。しかし、自分でもよかったなと思ったのは、大学時代を含めて今までの人生に真剣に頑張ってきた自分を褒めたい。この厳しいコロナ禍で、一人で戦った自分にすでに様々な武器がそろっていたから、全く違う分野で戦っても、柔軟に対応でき、何とか乗り越えました。いろんな人に、「今転職したらきついよ、大丈夫か」と心配されましたが、こんな素敵な挑戦ができて頑張ったかいがあったと実感しました。

実は、ちょうど先日12月19日に大使の活動で、留学生ビジネス日本語研修交流会があって、少し就活の話をしました。そこで、当たり前の話になりますが、「自分はどんな仕事が好きか、自分は何がしたいか、自分は何ができるか」だけじゃなくて、雇っている会社の立場で考えてみて、「毎月数十万円を払う代わりにあなたは何が貢献できるか」を考えてみてください。そして、会社の根本的なニーズ（どういう人物が今必要とされているのか）がわからなければ、いくら素敵な自己PRを書いても、きっと響かないでしょうと話しました。

将来、あらゆる場面に対応できるような優秀な人材になって、私を含め、一緒にさらなる知識や経験を積んで、明日も頑張りましょう。そして、コロナが早く終わったら、外でまた一緒にワイワイできる日々が戻りますように。

<カナダのノヴァ・スコシア州の

ペギーズ・コーブ >



氏 名：ドウガール・アレクサンドリア
任 命 年 度：平成26年度任命
出 身 地：カナダ
在 住 地：カナダ在住

カナダのノヴァ・スコシア州のペギーズ・コーブ
(自分で撮った写真です)



皆さまにはカナダのノヴァ・スコシア州のペギーズ・コーブを紹介したいと思います。ノヴァ・スコシア州はカナダの東海岸にある小さい、どこに行っても海と湖が近い自然と緑のたくさんある州です。ノヴァ・スコシア州の首都のハリファックス市から車で45分ぐらい離れている海岸にあるペギーズ・コーブという場所は、ノヴァ・スコシア州の有名な観光地です。大西洋の海岸にあるので風がとても強くて波も高い場所です。それに風のせいでハリファックス市より寒く感じる可能性が高いです。そして安全のために一つ覚えのないことは海と近い石、そして濡れている石「ノヴァ・スコシア州の人々はそれを Black Rocks と言います」を必ず避けないとはいけません。泳ぐことも出来ませんが泳ぐことが出来なくても絶対に楽しめる場所だと思います。散歩、観光、撮影がとてもいい場所だと思います！それに、近くに小さいペギーズ・コーブという村があります。ペギーズ・コーブの周辺にはたくさんの小さい村、

ベッド・アンド・ブレックファスト「B&B」という小さいホテル、レストラン、そしてお土産の店がたくさんあります。特に晴れている夏の日々は冬より安全（そして暖かい！）なのでたくさんの観光者が来ています。ペギーズ・コーブの周辺ではカナダの東海岸の雰囲気と眺めを楽しむことができます。ハリファックス市から日帰り旅行でもよいので、カナダの東海岸までの旅をする際にはペギーズ・コーブはいかがでしょう？

< 中国人がみる京都——「知乎」を通じて >

氏 名：南 玉瓊（ナン ギョクケイ）
任命 年度：平成26年度任命
出身 地：中国黒竜江省
在住 地：東京都在住



本文では中国のインターネット上に書かれた文章から、中国人が見る京都について書く。その際、「知乎」というサイトの文章を例に見る。「知乎」とは、ユーザーコミュニティで作成、編集、運営を行う中国 Q&A サイトである。2011年1月26日にアメリカの Q&A サイト Quora の要素を倣って、ウェブサイトを立ち上げ、ユーザー数は2019年1月の時点で2.2億人を超えている¹。もちろん本文にまとめた内容や観点はすべての中国人を代表することはできないが、ネット上でリードされている一つの言論として位置付けられる。但し、一つの共通点として挙げられるのは、中国のインターネットで日本について書く人は、何らかの形で日本とかかわりのある人や日本に居住経験のある人である点だ。正に架け橋の役割をしているといえよう。

以下では、「京都が日本における位置付けはどうか？」という質問に対しての複数の答えから、もっとも多くの人々の賛同を得ている回答文章の内容を抽出して分析してみる。その文章は、40万回あまり見られており、1681人が賛同を示した2019年5月に書かれた回答文章である。

「**京都は北京に似ている**。蒸し暑い夏、観光客でいっぱいな道、分けられた都市区域、生活ハードルの高さなどの点で。観光客に見える京都、大学生の京都、京都人の目に映る京都は、**三つの異なる都市**のようだ。北京と違うのは、**京都は貧しい**んだ。大量の観光客が流れ込んで、もたらしたのは京都府の少しだけ上昇した財政数値とめっちゃくちゃになった公共施設だ。京都に来て遊ぶのはいい。留学で数年間いるのもいい。ただ、ここに住み続ける府民にとっては、生活はますます難しくなる。」

実際、北京以外に、西安や洛陽などの中国の都市構造と京都のそれが似ているという意見も中国人の中には多い。ただ、この文章のように、観光客、都市構造、生活ハードルなどの面で北京と京都を比較する視点があることが分かる。また、京都の住民と留学生、そして観光客の三つの側面から京都を見ており、観光によってもたらされたプラスとマイナスの側面を中国に伝えようとしていることが分かる。

「京都人は非常にこだわりがある。それは、まるで**北京**に何世代も住み続け

¹ https://www.sohu.com/a/310809463_202972

た人が、一年中バタバタしてやっと梨が一個余ったときに、それをわざわざ金糕梨²にして、他人とまた分けて食べることにように、必要以上にこだわりすぎる部分がある。(略) 京都人は万事をルールというものにこだわる。京大の学生など、大学生がチェック柄の Y シャツにスポーツウェアのパンツで下駄を引いて食事に行っても、みんなこれは大学生の普通の着付けだと思う。しかし、学校で上品ぶって渾身にブランド低価額単品を纏っている男（修士と博士に多い）は、人々に嫌がれる。」

食もそうだ。確かに上品そうなレストランには、味が薄く相当健康そうな料理が多いが、お肉が大好きな京都人だから……小さな店の醤油味の焼き肉とタケノコの組み合わせ、あるいはマコモダケと合わせても超美味しい、安い。

表面にある京都の住宅は高く、(略) 地域格差は非常に大きい。京都府は実際結構大きい。地域格差も大きく、これは非常に北京に似ている。京都の繁華街は観光客でにぎわっていて、元住民の多くは、新しいコミュニティをゼロから構築するために外側に引っ越している。インフラが貧弱な京都の田園地帯に住む非中央都市部の住民が増えているが、東京よりも高いかもしれない物価水準に応じることを余儀なくされている。京都駅から天橋立（京都府外ではない）まで、100キロの旅で、一番速い直通列車に乗っても2時間かかるって信じられるか？直通列車は観光車でかなり値段が高い。現地人の乗り方で、バスの乗り換え方式にすると、片道5時間かかる。これが京都府の都市交通水準だ。」

ここでも、京都をこだわりと地域格差の面で北京と類比していることが分かる。すなわち、京都をルールにこだわる地域として見ており、観光客の多い繁華街と観光客の少ない郊外とのインフラ面の格差を例に挙げている。

「多くの人が京都から逃げ出すが、また多くの人にはそれができない。地元の人々の多くは、表面的には脂っこいものを食べず、シンプルな服装をし、日常的にオンラインサーフィングをし、読書したり、結婚して子供を産んだり、昇進は神の意志に任せるように見える。関東の随所にみられるパチンコは京都では珍しい。

しかし、皆が想像しているのと違うところがあるかもしれない。京都は実は非常に左である。吉田寮は一つだけだが、一世代一世代吉田寮を容認してきた京都府民は、仏陀のように無欲そうに見えるが、心の中ではみんな戦士である。大学では、武力で解決できることは絶対に言葉で解決しない。道を歩いているパンクスタイルのおばあちゃんの中に、どれほど1968年の全学共闘と一緒に戦ってきた大物がいるかわからない。京都府、ここは日本共産党の投票率が3分の1を超えるところで、実際の投票率で計算すると、半分を超える可能性がある。京都の人々が狂うと、人々はどうしようもない。金閣寺も燃やせるし、内側の車線も追い越せるから、覚えておいてね。京都で運転する時は、京都のナンバープレートに近づかないでください。」

ここからわかるのは、一つ目は、政治的な傾向の側面で日本の他の地域と比

² 金糕梨とは、梨、サンザシ羊羹、金木製の花の砂糖煮を主な食材に作った食べ物である。

較をしながら京都を見ていることである。二つ目は、日常に現れている禁欲的なイメージと非常時の行動との間のギャップを、京都の人々の一つの特徴として見ていることが分かる。

「京都の**言葉**は、舞子さんのことば、商人の中京言葉、男女、農民、ビジネスマンなどそれぞれが独自の**ことば**体系を持っていて、**複雑で多様**である。観光客はしばしば舞子さんのことばを京都方言とみなすが、それは大間違いである！NO！ダメ！（略）」

ここでは、性別、職業、地域などにより話し方などが異なってくる点を京都の言葉の特徴の一つとして紹介している。

「近年、平安京の枠内にある**旧京都街並みは観光のために解体**され、昔ながらの町屋はなくなり、光沢のある五つ星ホテルの建物に取って代わられた。市内の中心部は外国語が多く、中国語、韓国語、イタリア語を話す人の数は京都方言を話す人の数をはるかに上回っている。

さて、京都は誰の京都で、皆さんが求めているのはどの京都だろうか...」

ここでは、グローバル化の世界的背景の下で、観光立国を掲げた日本・京都における街の変化について、思考を要請することがみられる。

以上、中国のネット上に書かれた一つの文章を用いて、中国人がみる京都の一角を描き出すことを試みた。ただ、千人の目には一千の京都の様子が現れ、さらにそれらが常に変わる可能性も否めない。そのため、今後も人間同士の繊細なコミュニケーションが必要になるだろう。

参考 URL

<https://www.zhihu.com/question/33545823>

＜マダガスカル薬用植物について＞

氏 名：ランドリアマナンツア ステファン オリヴィエ
任 命 年 度：平成26年度任命
出 身 地：マダガスカル共和国
在 住 地：大阪府寝屋川市在住



世界で4番目に大きい島というマダガスカルは昔から薬用植物が様々な病を治療する為に使われています。現在マダガスカルには12,000から14,000種類の薬用植物が存在するに対して、同じ面積であるフランスは4000種類しか見られません。その半分がマダガスカルでしか見られない種類とされています。マダガスカルで薬用植物が盛んな主な理由は、気候や土地などの多様性或いは大きい草食動物が生息していないからと考えられています。

多くのマダガスカルの人々は軽い病気である頭痛、腹痛、胃痛などに罹った時に、薬用植物の店へ行って、自分の病に合った薬を買い、病気を治していきます。特に最近、新型コロナウイルスの治療やワクチンなどが開発されている中、マダガスカル人に昔から知られていた風邪に強いラベンサラ、RAVINTSARA（学名：*Cinnamomum Camphora*）を使用して、免疫を向上させ、予防薬として使われてきました。良い薬という意味を持つラベンサラはマダガスカルやヨーロッパでは愛用される植物の精油です。

多種多様な薬用植物の中から、一番よく使われているカトラファイ（KATRAFAY、学名：*Cedrelopsis Grevei*）という植物の煎薬は頭痛や喉の痛みの治療方法として使われています。カトラファイは入浴剤としても用いられ、疲労を回復効果があると見られます。

マダガスカル人が使っているマダガスカルペルバンシュ（Pervenche de Madagascar、学名：*Caranthus Roseus*）、という植物が肝臓病、高血圧や糖尿病などの治療方法として使われています。その他は、抗菌特性を持つマンドラバサルチャ（Mandravasatrotra、学名：*Cinnamosma fragans*）という植物もよく使われています。マンドラバサルチャは悪いものを遠ざける植物と呼ばれています。効能としては、サロのエッセンシャルオイルは覚を蘇えさせ、身体と魂に活力を与え、免疫を向上させると言われています。

ヨーロッパの多くの国では、エッセンシャルオイルは医師から処方される薬の一種として薬局等で販売されます。その際、呼吸器の感染（風邪、インフルエンザ、気管支炎、扁桃炎等）、耳炎、副鼻腔炎、真菌症、尿路感染などの症状に効果的であるとされています。

最後に、薬用植物を用いて、病気を治療することはマダガスカル人にとって

新しいことではなく、昔から行われてきた方法です。祖先から受け継がれた知識のお陰で、今でも多くの人々の命が救われています。また、薬用植物から得た精油の輸出で国の経済を支えてくれることがマダガスカルの薬用植物の大きな役割の一つです。そのため、持続可能な開発ができるように森林破壊を巡り問題に直面するマダガスカルは自然保護政策に関して次第に強化しています。



【写真1】ラベンサラの木



【写真2】カトラファイの木



【写真3】マダガスカルペルバンシュ



【写真3】マンドラバサルチャの木

<引用>

<http://www.ethnopharmacologia.org/bibliotheque-ethnopharmacologie/plantes-medicinales-de-madagascar/>

<https://conseilsphytoaroma.com/2015/03/20/lacajou-blanc-de-madagascar-le-katrafay/>

<https://sooala.com/products/essential-oil-saro-mandravasarotra>

https://www.123rf.com/photo_13174188_aloe-vera-in-bloom-in-southern-madagascar.html

<https://ethnobiomed.biomedcentral.com/articles/10.1186/s13002-015-0046-y/tables/4>

<コロナ禍でも諦めない>



氏 名：辛 冠橋（シン カンキョウ）
任 命 年 度：平成26年度任命
出 身 地：中国山東省煙台
在 住 地：埼玉県志木市在住

コロナ禍で、生活スタイルが変化し続ける、世界で皆さんはそれぞれ元気に過ごされていますか？私の近状を報告させていただきます。私は仕事の関係で今年3月に東京に引っ越しました。来日はもう10年経ちました。最近いろいろ昔のことを思い出すようになりました。来日後の一番楽しい時期はやはり京都の留学生活でした。大使の皆さんと出会ってたくさんのイベントに参加させて頂いて、本当にいい思い出でした。私の人生の財産にもなります。今回はコロナ禍でいろいろ思ったことを述べさせていただきます。

コロナ禍で大使たちとの交流もなかなかできなくて、皆さんと会う機会も減りました。非常に寂しいと感じています。この間に、留学生ビジネス日本語の活動にオンラインの形で参加させていただきました。留学生たちの就職の悩みや質問もいろいろ聞かせて頂きました。その中では、自分には自信がない方も何人かいらっしゃいました。コロナ禍では留学生の就職だけではなくて、日本人の就職も難しくなりました。私の今いる会社では今年の採用人数も前年より少なくなりました。特に、インバウンドが減って、オリンピックも無観客で行い、外国人と関係ある仕事の訴求も減りますが、今就職している留学生に諦めないでほしいです。もし日本のことが大好きで日本で就職してみたいと思っている方がいらっしゃいましたら、自信を持って前に進んでほしいです。私たちは日本語が完璧ではないかもしれませんが、母国の言葉や多文化の理解などたくさんの日本人が持ってない武器を持っていますので、まず自分を信じてください。

実は私の今回の仕事の異動もコロナ禍で起きたことです。東京に異動する前に、周りの友達や同僚にコロナが危ないから、今止めたほうがいいとの言葉をたくさん頂いて感心しておりますが、コロナ禍での機会が少ないと思って、せっかく新しいチャレンジの機会が与えられましたので、東京に異動しました。ですので、今就職活動している留学生たちも是非自分に合う仕事を見つけるように祈ります。

最近是在宅テレワークが増えてきて、私は基本会社出勤ですが、会議はほぼZoomで行っております。回りの日本人の同僚ともそこまでコミュニケーションが取れないと感じました。前までは仕事後に一緒に居酒屋に行って、いろいろ喋って、お互いの関係ももっと近づけるようになりますが、今はそれは全くで

きないのも悲しいと感じました。後は仕事で長期の休みを取れない為、他国の旅にいけなくて、母国にも約 1 年間半帰ってないです。コロナが世界で一日も早く抑えられ、感染者の方々が一日も早く回復できるように心から祈ります。皆さんも自分の体調管理もしっかりして、諦めずに、一緒にがんばりましょう。また、京都で会えるのを楽しみにしております。

<中島敦『古譚』について（最近の研究状況）>

氏 名：BOVA Elio（ボヴァ エリオ）
任 命 年 度：平成27年度任命
出 身 地：イタリア
在 住 地：京都市在住



1. 執筆時期にまつわる問題提起

「狐憑」、「木乃伊」、「山月記」と「文字禍」は、短編集『古譚』の総題のもと、作品集『光と風と夢』（筑摩書房 一九四二・七・一五）に収録された作品である。最近、中島敦『古譚』を視野に入れているが、ここで『古譚』収録の二篇、「狐憑」と「木乃伊」の構想時期の再考に関する研究の一部の展開を簡潔に述べたい。

二篇が脱稿された正確な時期を示すものが残っていないが、これまでの先行研究では、1) 二篇が脱稿されたのは中島の南洋群島への出発時（一九四一年六月）より前、2) 『古譚』と題された作品は当初より四篇のみ、と推察されてきた。いずれも二篇の〈南洋行前脱稿論〉に至る推察には再検討を加える余地がある。

なお、四篇のうち、執筆時期が確定されているものから先に言及すると「山月記」と「文字禍」は、「狐憑」と「木乃伊」より先に、中島の南洋群島滞在中、中島の知らぬ間に雑誌『文学会』（一九四二年二月号）に初出する。「狐憑」と「木乃伊」は、先述の通り、明確な執筆時期が知りえないのだが、これまでの中島研究では、二篇の脱稿を一九三九～四〇年、また近年では一九四〇～四一年の間としてきた。いずれにせよ中島の南洋群島への出発時（一九四一年六月）より前と見るのが通説である。こうした見方を唱える中心に数年版の『中島敦全集』があり、これまでさして異議をはさまれることもなかった。以下、まずは二篇のそうした〈南洋行前脱稿論〉の拠り所をみていきたい。

筑摩書房刊『中島敦全集』の一九七六年版では、そもそも四篇の正確な制作年月は「全く不明である」とされつつも、南洋赴任前に、中島が深田久弥（一九〇三～一九七一）に自作品の発表斡旋を依頼し、氏の許に複数の原稿を託していったことから、四篇は「昭和十五年から昭和十六年前半の間に」、すなわち一九四〇から一九四一年前半にかけて脱稿されたと推察されている。この仮定と、「このことから深田氏の許に託していった『古譚』と題された作品は、この四篇のみである」、そして四篇が深田宅に預けられたのは一回限りであるとの見解も、『中島敦全集』の一九九三年版と二〇〇二年版に引き継がれている。

「狐憑」と「木乃伊」の構想時期が中島の南洋行前と推察される根拠は、主に深田久弥の記憶に基づくため、次に二篇に関する氏の言葉にクローズアップしよう。深田久弥の一九五四年の証言によれば「『古譚』は、シナ及び近東の

古い話を題材に採った四つの短篇から成っていた」（「中島敦の作品」一九五四）のだが、氏は後の一九五九年に、次の修正を施した。

「古譚」は、シナ及び近東の古い話を題材にした六つの短篇から成っていた。（中略）「古譚」六篇——全集第四巻では「古譚」「古俗」二篇に分けてあるが、私の確実な記憶では、初めは「古譚」六篇である。今度全集で「古俗」二篇、「牛人」と「盈虚」を活字で初めて読んだが、それは私が「古譚」の原稿で前に読んだものであることをハッキリ認識した。

（「中島敦君の作品」一九五九）

以上の深田の矛盾する二つの発言——「古譚」が「四つの短篇から成っていた」、「初めは「古譚」六篇である」——に加えて、〈古譚〉ものの原稿集の直筆資料の検討では、次に紹介する、〈古譚〉ものが五篇であったことを仄めかす、ほぼ同時期の深田による別の記述もある。〈古譚〉ものの原稿集の稿本題簽には、『古譚』の決定稿に収録された四篇のタイトルに加えて短篇「妖氛録」も含まれており、その備考として「稿本題簽：「古譚」（深田書 1959・10・1）」と記されている。とはいえ、一時的に〈古譚〉ものを五篇とする深田の記述も存在するといった補足をしたところで、〈古譚〉ものの原稿集に関する問題が解決するどころかさらに複雑化するだけである。少なくとも、「狐憑」と「木乃伊」の構想時期が中島の南洋行以前、またはそれらは本来「この四篇のみである」とする従来の説に留まる限り、深田の言における矛盾に考察が至らず、結果的に執筆時期の問題に疑問点が重なるのみとなる。

「狐憑」と「木乃伊」の構想時期をめぐる深田の発言と、先行研究がとるスタンスとの間にある主な撞着点を以下のようにまとめることができる。先行研究では、二篇の構想時期が中島の南洋行前とする説と、本来「『古譚』と題された作品は、この四篇のみである」とする説も、主に深田久弥の記憶の一部に依拠するが、一方、深田の言を通してみれば、「古譚」の作品は中島の南洋行前に脱稿されたとも、またはそれらはもとより『古譚』の決定稿収録の四篇のみであるとも断定されているわけではない。特に先行研究では、深田の証言に信をおきながらも、「四つの短篇から成っていた」との情報のみを採用する一方、「確実な記憶では」、「初めは「古譚」六篇である」とのちに強調して述べている事実と、左記の稿本題簽に関する記述を、無視する結果となる。以上から、二篇の脱稿時期の問題は、深田の複数の発言間の一貫性の欠如とそれに対する先行研究の捉え方（〈南洋行前脱稿論〉）、この二つの域の間に中核をなしているといえる。ここで問うべきことは、原稿集が深田宅に託されてから十数年経つとはいえ、深田が三回に渡り互いに異同ある証言をしていることを、単に時間の隔たりや深田の年齢および勘違いで説明してしまえるのかどうか、である。これは重大な問題であるにも関わらず、これまで十分な考察が為されずにきた。

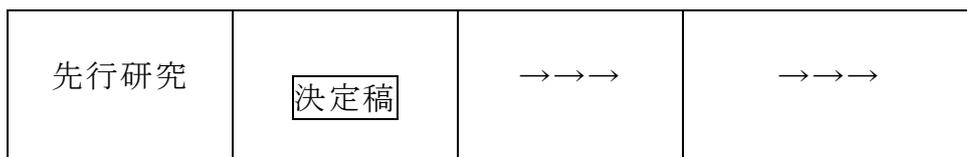
二篇の脱稿時期の問題を、〈南洋行前脱稿論〉と異なる視点に立脚するために、本章でひとまず〈南洋行前脱稿論〉における深田の証言の捉え方にまつわ

る主な疑問点——深田の「記憶違い」を認め、氏の関連諸発言における作品数とタイトルの不一致を保留し、深田に預けられた原稿が何本で何れとするかを突き詰めていない——に着目する必要がある。さて、中島の南洋出発前に当たる深田宅の訪問と原稿寄託に関する資料と情報を再び検討していこう。

一九四一年六月上旬、中島のパラオ行きが決定し、出発前、中島は深田久弥を訪ねた。氏は留守であったが、中島が深田の意見を仰ぐべく、〈古譚〉もの含みの「いくつかの原稿」を預けて帰ったと中島の深田久弥宛の六月上旬の手紙から知ることができる（「書簡 I」深田久弥宛、六月日不明、『中島敦全集』第三卷筑摩書房 一九七六・九を参照）。ここで注意すべき点が二つある。まずは、中島が南洋群島へ出発する前に深田宅を訪問したのが一度のみであるとするのが根拠のない推測であり、事実、南洋出発前の当時、深田宅に預けられた数々の原稿の量などからみて、一九四一年六月上旬の訪問の前に、中島の訪問が数度あった可能性も認められている（勝又浩「解題」『中島敦全集①』筑摩書房 一九九三・一を参照）。また、上記の手紙では、中島がどの原稿を深田宅に預けて行ったかについて触れていない。従って、先述の「山月記」と「文字禍」以外には、一九四一年六月上旬に中島が深田宅を訪問した際に、どの作品を計何本預けたか、残る資料から確実に把握できないが、いずれにしても上記の深田の発言から、〈古譚〉ものは段階ごとにかたちを変え、常に『古譚』の決定稿と同じ作品構成ではなかったと考えられる。ここで〈古譚〉ものの原稿集の寄託に関する問題を謎とする大きな要因は、深田宅に預けられた〈数篇〉の原稿が、現在我々に残る原稿以外にないとする先入観に見出せよう。深田の異同含みの発言が、単なる混乱として扱われて終わるのも、この偏見のためである。しかしながら、深田による三度の言及をそのように済ませてはならない。表1に示すように、深田が混乱する理由は、〈古譚〉ものの原稿全てを一度に預けられたからではなく、数回にわたり複数の〈古譚〉ものの原稿が預けられたからであり、そしてそのうちにいくつかの「原稿」（網かけは論者。以下も同様）は、新たに書き直された原稿に入れ替えられて廃棄されたからであると考えられる。こうした視点から、深田が強調する「初めは「古譚」六篇である」との証言を捉えてこそ、深田の「混乱」の要因が理解できる。

【表1】

→→時期 ↓ ↓ 見解	1941年 6月まで	(南洋行) ←間→	1942年3月以降 (7月の出版まで)
私見	原稿 深田→初め は六篇	→→→	決定稿 深田→四篇から 成っていた



以上の分析に続いて、「狐憑」と「木乃伊」の決定原稿の脱稿時期の問題を追求したい。現在残る「狐憑」と「木乃伊」の原稿は、決定版とほとんど変わらないため、決定稿とみることができる。

しかしながら、〈南洋行前脱稿論〉では、この決定稿を、中島の深田久弥宛の六月上旬の手紙に仄めかされる原稿（一読を請い寄託）と同定するには飛躍がある。繰り返しになるが、現在残る資料がもとより全てだったとは限らない。先行研究で二篇が中島の南洋行前に脱稿されたと捉えられているのは、現在、中島の南洋行前、六月上旬に、不特定の原稿の一読の願いについて仄めかされる手紙がただ一通残るがため、そして二篇の（決定版）原稿がそれぞれただ一つ残るがためである。こうして現存する二篇の決定稿が、中島の南洋行前の六月上旬の手紙で触れられている原稿と同一視されてしまう。二篇の〈南洋行前脱稿論〉においては、それに、〈古譚〉と題された原稿は決定版の「この四篇のみである」とされる。それは、そもそも短篇集『古譚』が出版される時（一九四二・七）に四篇（「狐憑」、「木乃伊」、「山月記」、「文字禍」）で構成されたという後の事実を元に、南洋行前に深田宅に預けられた〈古譚〉ものも同じく四篇で構成されていたと後天的にみなしてしまっているからである。

ここまで第一章では、深田の発言と、〈南洋行前脱稿論〉での発言理解から生じる問題を明らかにすることを試みた。最後に、「狐憑」と「木乃伊」の脱稿が、一九四二年初期にこそ、すなわち中島が南洋群島から帰国した後にこそ位置づけられるべきとの説がいかに妥当であるか見ていきたい。

2. 執筆のタイミング

「狐憑」と「木乃伊」の構想過程では、古代ギリシアの歴史家ヘロドトス（紀元前四八五年頃～紀元前四二〇年頃）の『歴史』が、物語の典拠とされた。『歴史』の最初の日本語訳は、青木巖訳の『歴史：古代東西争闘史』（㊦）であり、生活社より「上」は一九四〇年八月に、そして「下」は一九四一年三月に出版された。中島はこの上下巻二冊とも所有していた（購入時期が不明である。田鍋幸信「中島敦 蔵書目録」『梶井基次郎・中島敦〈日本文学研究資料叢書〉』所収、有精堂出版 一九七八・二・二〇）。しかし、中島は「狐憑」と「木乃伊」の構想過程において『歴史』の日本語訳の他に、『歴史』の英語訳、*The History of Herodotus* も創作の素材としている（『歴史』のどの英語版を使用したか不明であるが、George Rawlinson 訳 *The History of Herodotus, Everyman's Library 1910* と推定する）。次に、順番に「狐憑」と「木乃伊」をめぐる『歴史』の日英語版からのメモ箇所を簡潔に整理していこう。

「狐憑」と『歴史』の日本語版との類似箇所は、主にネウリ部落、スキュティア人とその慣習に関わる部分である。素材とされた箇所は『歴史』の「上」の第四巻の二章、一七章、四二章、六四章、一〇五章であると考えられる。これらの類似箇所は、「狐憑」の原稿と決定版のみに表れ、中島の「ノート」、

「断片」、「手帳」などにはその〈メモ〉の跡が見られない。その理由は、当該箇所参照時には、おそらく中島が既に先述の青木巖訳『歴史:古代東西争闘史』を購入済みでメモをとる必要がなかったためと考えられる。

一方、「狐憑」に関わる『歴史』の英語版からの〈メモ箇所〉は残っている。「ノート第六」（制作時不明）として登録された資料にはこうある。

◎Mount Pangaeum
Country of Doberes
Agrianian
Odomantian
Lake Parasias (not conquered by Magabazus)
Orbelus 兵から伐出した村木
魚→paprax
Tilon

右のメモ箇所は、『歴史』（英語版）の「下」第五卷一六章による。作者の「ノート」のみにメモされた箇所であり、それに相当する内容は「狐憑」の原稿と決定版には見られない。「ノート」に『歴史』の英語版のメモ箇所のみが残っているのは、中島が『歴史』の英語版を所有しないため「ノート」にメモをとる必要があったことに起因していると考えられる。

他方、「木乃伊」の素材は、ほとんど『歴史』の英語版からとられているようである。以下の「ノート第八」には、「木乃伊」の語りの歴史背景的な部分がメモされている（傍線は中島敦による）。

Cambuses, son of Cyrus and Cassadané, (daughter of Pharnaspes)
○Psammenitus, son of Amasis, was forced to drink bull' s blood
Rainfall at Thebe
Sais / Body of Amasis / scourge, prick, pluck hair, burn
Prexaspes
Smerdis 重臣 Archaemenids / Agbatana (Media, Syria)

この箇所は、『歴史』（英語版）の「上」第一巻の六章、一五章、一六章、三〇章、六四章からメモされたものである。

以上の検討から、二篇のためのメモは、『歴史』の英語版を主な典拠としていると言える。中島が参照したのは、最初『歴史』の英語版、のちに『歴史』の日本語版の順であると、次の二点から推定できる。まず、作者は最初から『歴史』の日本語版を購入し、手元においていたならば同書の英語版から、しかも別紙にメモする必要がない。次に、「狐憑」及び「木乃伊」での様々な名前が『歴史』日本語版によるものではなく、明らかに英語版にある表記に準じてい

る。例えば「狐憑」での「ネウリ」は、『歴史』日本語版での「ネウリス」の表記ではなく、英語版での「Neuri」の表記にもとづく。

以上から、素材とされた『歴史』の日本語版と英語版それぞれの参考の程度を把握できるが、以下に明らかにするように「狐憑」と「木乃伊」の脱稿の期間も相当に狭めることができる。

以下の表2では、二篇の執筆過程を整理し、また本稿と先行研究の見解の相違をなるべくわかりやすく記すよう試みた（左段に時期、中断に事柄、右段に各々の見解を記し、先行研究は波線、論者は太線で区別し、強調点は太文字とした）。表2から、「狐憑」と「木乃伊」の構想時期、つまり二篇が一九三九～四〇年、あるいは一九四〇～四一年の間に脱稿されたとする従来の中島研究での推察との食い違いを次のように整理できる。中島が先に（購入できなかった）『歴史』の英語版を図書館といった未確定の場所で参考としメモする、そののちに『歴史』の日本語版を手に入れた際に、そこから得た情報を、新たなメモを取らずに、以前取った英語版からの断片メモと総合し、直接作品原稿に書きとめたと考えられるのである。「狐憑」と「木乃伊」の執筆を終えるまでに中島は『歴史』の日英版両方とも使ったが、『歴史』日本語版の上下巻の購入可能な時期は（早くとも）一九四一年三月以降であることに注意すべきである。このことが先行研究では看過されてきたが、『歴史』の日本語版の購入時期までみれば、なおも二篇の決定原稿が一九四一年三月前に脱稿されたとはいえないのである。

それどころか、中島の『歴史』日本語版の購入時期を、最も早く見積もって一九四一年三月上旬としても、中島の当時の生活や仕事の状況を鑑みると、同年三月から出発の六月までの三ヶ月弱の短い間に二篇を書き上げるのは到底不可能と考えられる。この時期は「山月記」、「文字禍」などの作品の構想期でもあるが、仮に「狐憑」と「木乃伊」に集中していても、中島が六月の南洋行の出発時までに『歴史』日本語版の上下巻を刊行から即時購入し、長くとも三ヶ月の間にそれらを読み、内容を整理しメモを抽出し、二篇とも完成させ得たとは考え難い。

【表2】

時期 ↓	事柄 ↓	見解 ↓ (先行研究・私見)
1941年3月前 -----	『歴史』英語版参考 メモあり -----	<u>二篇が一九三九～四〇年、あるいは一九四〇～四一年の間に脱稿</u>
1941年3月後	『歴史』日本語版購入・参考 メモなし	
↑ 間 ↓	深田久弥を訪ねるが、氏は留守。数々の原稿を預けて行く。どの原稿かは不明。 (この時期は、二編の他に「山月記」、「文字禍」や他	<u>この時期に二篇の決定稿として採用される最終原稿が深田に委託</u> <u>この時期に、二篇の最終原稿では</u>

	篇の構想時期でもある)	<u>ない、現存しない原稿を深田に委託（故に深田の記憶の混乱）</u>
1941年6月28日	南洋群島へ出発	
↑ 間 ↓	1942年2月→『文学界』に「山月記」と「文字禍」のみが掲載	<u>出発前に深田に預けられた二篇の原稿が掲載されなかったため、中島は二篇の改良へ</u>
1942年3月17日	南洋群島から帰国	<u>二篇の改稿作業が続く。決定稿に採用された現存の二編の原稿がこの時期から『光と風と夢』の出版時にかけての間に深田に委託</u>
1942年7月	作品の決定版	<u>改めて二篇を投稿</u>

ところで、中島の帰国までの間に「狐憑」と「木乃伊」が文芸誌に未掲載のまま出版されず、「山月記」と「文字禍」のみが公表されたという先述の事実も見逃してはならない。そこで、二篇の発表の機会を失くし、深田から「四篇のうち二篇だけ載せたのは、あの二篇がすぐれてみたから」（「来簡抄」三月三十一日付、『中島敦全集①』筑摩書房 一九九三・一）率直に言われた中島——「臆病な自尊心と、尊大な羞恥心」（「山月記」）の主、中島——が、『光と風と夢』を出版する一九四二年七月までの一年間余の時間に、未掲載の「狐憑」と「木乃伊」に手を加えずにいられたとみることこそ、かなりの論証が必要とされる。中島は、一度不採用となった二篇の改良に取り組み、翌年の一九四二年三月一七日に南洋群島から帰国して『光と風と夢』の出版時にかけて、改めて二篇を投稿したと考えられる。

以上から、現在残る「狐憑」と「木乃伊」の決定稿が、一九四一年六月という時点で深田宅に預けられた〈数篇〉の原稿の中にあつたとみるのは、かなりの論拠がない限り納得できない説である。南洋群島に渡る前、一九四一年六月に、深田宅に預けられた〈数篇〉の中の「狐憑」と「木乃伊」の原稿は決定稿ではなく、現存せず、出版に至らなかった初期段階の「原稿」（表1）であつたと考えられる。そうした「原稿」はのちに、一九四二年に中島が帰国したのちに決定稿と入れ換えられ、廃棄されたものであるとみなして、改めて深田の原稿に関する記憶の「混乱」も故あるものと思ひ至るようになる。

以上の内容は発表者の最近の論考——BOVA Elio「中島敦『古譚』ものの研究——「狐憑」・「木乃伊」の構想期再考から南洋行との連続性の指摘へ——」（『日本近現代文芸研究』第三号、日本近現代文芸研究会第三回、一七～三七頁、二〇二〇・一二）——の一部を切り離して整理したものである。この短い文章では、まずは二篇の構想時期の確定に混乱をもたらした主な要因である、二篇に関する深田久弥の回想文に表れる矛盾の理由を探り、現存する資料から得られる情報を再整理した。ここで、二篇の構想時期を中島の南洋行以前とするこれまでの説に垣間見られる主な問題点を照らし合わせた。そして、「狐憑」

と「木乃伊」の典拠とされたヘロドトス『歴史』の日本語版と英語版からのメモを対比したうえで、二篇の脱稿時期を一九四一年三月と四月より前とみることが出来ない理由を明らかにし、二篇の〈南洋行前脱稿論〉が成り立たない理由を論じた。

「狐憑」と「木乃伊」の引用は全て『中島敦全集①』（筑摩書房刊 二〇〇一・一〇）による。

< 「山の奥にもしかぞなくなる」 >

氏 名：Károlyi Orsolya（カーロイ・オルシヨヤ）
任 命 年 度：平成28年度任命
出 身 地：ハンガリー
在 住 地：京都市在住



『百人一首』に次の和歌が選ばれています。
世の中よ道こそなけれ思ひいる山の奥にも鹿ぞなくなる

（千載集・雑中・1151番）

「世の中というのは逃げれる道はないのですね。深く思っ分け入った山の奥にも憂きことがあるらしく、鹿がもの悲しく鳴いているようです。」³という意味で、藤原俊成によるものです。この歌が詠まれたのは俊成の若いころで、戦乱が迫り、大変な時期だったので、俊成が出家を考えていたらしいです。だが、出家して、山の奥に入っても救われない、世の中の大変なことから逃げきれないと悟ったとのこと。

最近この歌をよく思い出します。コロナウイルスで行動が制限されて、一時帰国はもちろんできませんし、今まで普通に行けた様々な場所にも行けなくなりました。仕事終わりにどこかの居酒屋などに寄って、隣に座っている人たちと何気ない会話をして楽しく過ごせたのは遠い時代のようにです。中はだめなら、じゃ、外に行こう！と考えている人が多いようで、2020年から全世界でアウトドアブームが始まりました。



比叡山からみた京都

出家をする予定もないし、俊成と同じく、奥山にはいったからと言って、今の厳しい世の中の問題は解決しないと思いながらも、私も少しずつ京都の山に登るようになりました。

気づけば、近所の山をどんどんクリアして行って、京都のあらゆるところにバスではなく、自分の足でい

きました。京都の山を歩いて、平安時代はこの辺きっともっとワイルドな自然だったなとか、熊さんに出会ったらどうしようとか、色々物思いをしながら、

³ 吉海直人『読んで楽しむ百人一首』角川書店 2017年 214頁

少しずつ山が心の支えになってきました。京都に住んでいて6年間毎日見上げていた山たちへ親近感がわいてきて、天気の良い日に気持ちよさそうに日向ぼっこしているように見えたり、雲がかかっている日に眠っているようにみえたり、京都を囲んでいる山たちをすごく意識するようになりました。大変な世の中ではありますが、この大変な時期を山がいっぱいある京都に過ごせてよかったなど毎日思います。コロナが収まったら、他の大使と京都府民の皆さまと一緒に京都の山の知識を深めたいとおもいます。その日まで、毎日の中で小さな喜びをみつけて、乗り切りましょう！



雪が積もった朝日峰

<2020年を振り返って>

氏 名：ガラス セゲル ハビエラ クリスティナ
任 命 年 度：平成28年度任命
出 身 地：チリ
在 住 地：京都市在住



2020年はみんなにとって特別な年でした。C o v i d - 1 9で生活は大きく変化しました。ある人は家で働いたり、友達と話したいときにZOOMでしたり、どこでもソーシャルディスタンスをしたりします。

2019年12月にお母さんになりました。双子を出産しました。ですから、2020年は特別に生活が変化しました。国へ帰れませんでした。お仕事を休みました。残念ながら名誉友好大使の活動もできませんでした。しかし、京都のきれいで知らなかったところへ行って、どこでも親切な人と会いました。

春に双子ちゃんと高雄にハイキングをしました。美しい景色と新鮮な空気を楽しみました。夏に京都の北の方の高野川で遊びました。秋に、東山や嵐を散歩しました。冬に寒いけど、ちょっと雪あそびをしました。そして、いろいろな公園へ行きました。たぶん、双子ちゃんが一番好きだったのは子供の楽園と家の近くの公園です。スライドもあるし、広いし、他の子どもと遊べるし、よく歩けます！

それだけではなくて、いつも公園へ行って、他の子どものお母さんとお父さんと会って、子どものことをたくさん教えてもらいました。私も友達ができました。

2020年はみんなのために大変だったようですが、私は京都で住んでいるので、本当にラッキーだと思います。



2月、双子ちゃん初めての嵐山散歩



4月、地元の花見



11月、高台寺訪問

＜華人とスマトラ島における

プランテーション経済の隆起＞

氏 名：DEVIN（デフィン）
任 命 年 度：平成29年度任命
出 身 地：インドネシア・メダン市
在 住 地：京都市在住



スマトラ島といえば、大概の日本人は2004年に起きたスマトラ沖地震や津波のことを思い浮かべるだろう。実際、筆者も大使活動で自己紹介をするたびに、必ずあの悲惨な災害や動植物の多様性についての反応をもらうことが多い。確かにジャワ島と比べて、スマトラ島は「森」や「未開拓地」の印象が強いかもしれない。オランダ植民地時代のスマトラ島が「外島」という地理的・政治的位置づけにされたことも、後々スマトラ島の印象づくりに大きな影響を与えたといえよう。しかし、昨春大学院（東南アジア専攻）に進学した筆者は故郷の北スマトラ州メダン市の歴史について研究を始め、スマトラ島、特にその北部は、単なる政治の中心地から離れた未開拓地だけでなく、19世紀末期に盛んになった一次産品経済の重要な拠点として発展した地域であることを再発見した。本稿はさらに、地域の発展における「華人」とよばれる中国に祖籍をもつ臣民の役割に着眼し、インドネシア北スマトラ州（かつてはスマトラ島東海岸と称す）の忘れるべからざる存在、そしてその地域が生み出した多文化共生の意味を明らかにしたい。

19世紀の半ばまで、オランダ領東インド（のちにインドネシアという国を形づくる政治的領域）のスマトラ島には大規模な貿易・経済拠点としての機能はなかった。1819年に開港したシンガポール港や既存のバタヴィア港といった、英・蘭植民地政庁のそれぞれの中心地があったため、マレー世界における貿易の要衝は主にスマトラ島南部周辺に集中していた。時代が19世紀の60年代になると、奴隷制度廃止やスエズ運河の開通を背景に、欧州諸国では工業化が加速化した。工業化競争により、産業プロセスに必要な原料の需要が高まり、欧州諸国は次第に新たな一次産品の生産地を求めようになった。かつて経済の周縁地としてみられていたスマトラ島東海岸は、工業化競争に参戦したオランダ植民地政庁の新たなフロンティアとして開拓された。1860年代中葉にはタバコの栽培が始まり、その後も天然ゴムやお茶の栽培が加わり、スマトラ島東海岸の農園は一気に拡大した。このように「未開地」としてみられ

ていたスマトラ島東海岸では、20世紀の始まりを迎えるころにはすでに新たな資本主義経済の基盤が構築され、「未開」を感じ取れないほどの経済の奇跡（独：Wirtschaftswunder）が出現した。

スマトラ島東海岸およびその商業都市のメダンは、このような歴史的な好条件のおかげで発展を成し遂げたというふうに語られる傾向が強い。プランテーションや商業都市の歴史はしばしばロマン化され、限られたパイオニアにのみ焦点があたるのが、もはや通史の常識になってしまっている。スマトラ島東海岸におけるタバコ農園が急速に拡大した19世紀末を下支えしたのは、冒頭で紹介した中国に祖籍をもつ華人の労働者である。国民国家という概念が発生していなかった当時の華人の移動は比較的自由的なものであり、内戦や飢餓から逃れる人がほとんどであった。そのような華人がスマトラ島東海岸のタバコやゴム農園の苦力（クーリー）として徴集されていた。農園労働者として渡来した華人苦力もしばしば農園経営者による非人間的な虐待を受けていた。ゆえに、スマトラ島東海岸の経済発展は苦力が流した血と汗で実現したといっても過言ではないだろう。しかし、労働契約から解放された苦力はやがてメダンのような商業都市に流入し、小売業や流通業の職に従事することになる。都市部における華人人口の増加により、やがて華人社団と呼ばれる、同姓・同郷・同業に基づいた組織が形成される。この華人社団がメダンのような商業都市に住む華人コミュニティへ社会的秩序を与え、閉鎖的な商業ネットワーク形成を助長している。

この華人による、華人のための商業ネットワークは次第に部外者から「排他的」な印象を持たれるようになる。華人は排他的で狡猾な商人に等しいというステレオタイプも、もしやこの時代に形成されたのではと考えられる。歴史的な文脈から冷静に考えると、スマトラ島東海岸の社会における民族分断は「棲み分け制度（居住区指定制度、蘭：Wijkenstelsel）」のような、当時の政庁が執行した分割統治政策の結果でもあった。しかし、今も存在しているエスニック集団間に生じる不和の責任を宗主国に丸投げしては、いつまでたっても解決の糸口は見つからないだろう。スマトラ島東海岸やメダンの地方史からわれわれは何を学べるか。作家プラムディア A. トゥールのことばを借りると、土着民であれ、華人であれ、インド人であれ、アラブ人であれ、オランダ人であれ、この地域、この国家の建設過程においては、「すべての民族の子」が貢献していることを示唆したい。前述した苦力の歴史を深く掘り下げると、どの民族もみな同様に苦楽を共有していることが読み取れるのではないかと思う。インドネシア華人に対する排斥的な感情や懐疑的な見方が消え去ったと言いがたい今だからこそ、歴史から新たな理解や発見を得て、多文化共生を考え直すべきではないかと思料する。

< 韓国の代表的な軽食について >

氏 名：宋 旻星(ソン ミンソン)
任 命 年 度：平成29年度任命
出 身 地：韓国・ソウル
在 住 地：神奈川県川崎市在住



本レポートでは韓国の軽食（ブンシク）の種類について調べることを目的にする。ブンシクとは日本語に直訳すると粉物である。元々は「小麦粉を使用した食べ物」という意味だったが、現在は主に韓国の屋台で販売している軽食を指す意味に変わっている。店や地域によるが、一品あたり約200円～300円と、誰でも気軽に楽しめる食事文化である。

① トッポギ



< 出所：CookPad >

餅とその他具材（おでん、ネギ、卵など）をソースで煮詰める料理。トッポギは「餅を炒める」という意味だが、現代では餅を炒めたトッポギはメジャーではない。

② トッコチ（餅串）



< 出所 : CookPad >

串にトッポギ用の餅を刺し、油で揚げ、ソースを絡めた食べ物。
地域によっては衣をつけて揚げる。

③ スンデ



< 出所 : <http://www.tmon.co.kr/deal/2673858246> >

豚の腸に野菜、米、春雨を入れ、湯でて味付けした食べ物。（写真の右下）
スンデを食べる際は、豚の肝・肺などを一緒に食べる。（写真の左）

④ キムマリ (海苔卷)



< 出所 : CookPad >

胡椒と味付けされた春雨を海苔で巻き、揚げた食べ物。
海苔の風味と春雨の食感、胡椒の香りが抜群。

韓国の軽食は味とコストパフォーマンスは優れているが、屋台に対して衛生管理という懸念がある。屋台を訪問する際には衛生と調理環境の清潔を確認する必要がある。

<WE DO KYOTO! 宣言からの学び>

氏 名：李 少岩（リ ショウガン）
任 命 年 度：平成29年度任命
出 身 地：中国山東省
在 住 地：東京都在住



2017年に京都府国際課のご紹介で京都府主催の「We Do Kyoto!宣言」活動にボランティアとして参加させて頂いた。京都府地球温暖化対策課の職員の方と一緒に府民の皆様実践中又は実践予定のエコアクション（環境行動）を宣言して頂くことを呼び掛けていた。当時の私、地球温暖化はまだ先な話との先入観を持っていたが、活動を通して、地球温暖化は私たち身近のことで当面のエコアクションは将来の生活につながっていると認識できた。その後、地球温暖化対策課職員様と一緒に京都府の事業者への訪問も同行させて頂いた。京都府は地球温暖化防止対策に注力していることが分かった。



(We Do Kyoto!宣言 HP *1)

その後、社会人になりしばらくは地球温暖化関連のことと離れていたが、今年の転職に伴って職務関係で環境省の地球温暖化対策関連事業に携わるようになった。特に、当時のボランティアの経験を生かして、環境省の情報発信などに活用できた。また、地球温暖化防止活動において、京都府のような先進的な自治体の取り組みを全国、全世界に発信していく必要性を強く感じた。なぜこのような発想があるかを以下で説明させて頂く。

今年のG20リヤド・サミットで菅義偉内閣総理大臣は、2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指す決意を改めて表明し、国際公約とした。それ以外、海外において、2020年12月時点で2050年までのカーボンニュートラルにコミットする国は123カ国にも至った。国内において、東京都・京都市・横浜市を始めとする191自治体（27都道府県、106市、2特別区、46町、10村）もカーボンニュートラルの表明をした*2。こ

うした温暖化対策は国内、海外ともトレンドになる中、その出発点とも言える京都議定書を思い出す必要がある。



(2050年カーボンニュートラルにコミットしている国^{*2})

1997年に策定した京都議定書は、参加している先進国全体に対して次「温室効果ガスを2008年から2012年の間に、1990年比で約5%削減すること」加えて、国ごとにも温室効果ガス排出量の削減目標を定めている。その後、各国政府はもちろんだが、京都府も地球温暖化対策に向けて多く対策を取り組んできた。特に、We Do Kyoto!プロジェクトなど一般市民向けの普及活動は地球温暖化の注意喚起に果たすと考えられる。それに加え、全世界がカーボンニュートラルを目標としている中、全世界からの観光客が多い京都でさらなる地球温暖化の普及活動を進んでいくことは全世界の模範になると期待している。

私自身も京都名誉友好大使の一員として、母国中国だけではなく全世界への京都の地球温暖化の取り組みを含めた京都の魅力を発信していく所存である。コロナが落ち着いていない中、活動が難しい境地でもあるが、また京都府の方と他の大使の方と連携して活動できればと存じる。

参考：

1. We Do Kyoto!宣言 HP
<https://www.pref.kyoto.jp/tikyuu/wedokyotosengen.html> (2020年12月27日にアクセス)
2. 経済産業省 「2050年カーボンニュートラルを巡る国内外の動き」
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/chikyuu_kankyo/ondanka_wg/pdf/002_03_00.pdf (2020年12月27日にアクセス)

＜サウジアラビアでの

新型コロナウイルスの予防対策＞



氏 名：アッスガイル アシール
任 命 年 度：平成30年度任命
出 身 地：サウジアラビア・アルアフサー
在 住 地：さいたま市在住

京都名誉友好大使に任命されてから3年です。去年冬明けごろに友達の結婚式をきっかけに帰国しました。二週間の期間を予定しましたが、それが新型コロナウイルスの影響で予想以上に伸びてしまいました。

毎日目にするコロナのニュースはもうお疲れと思いますが、今年のリポートを考えた時に私が実際に体験したサウジアラビアで行われた新型コロナウイルスへの予防対策についてご紹介できたらと思います。

政府が3月14日、新型コロナウイルスの感染拡大への対応策として、すべての国際線の航空便を2週間運航停止すると発表した。もちろん状況によりまして、その2週間は数ヶ月伸びてしまいました。

3月22日に午後7時から翌午前6時までの夜間外出禁止令を発令されました。その後、宴会場や結婚式場、キャンプ場における結婚式、企業会合および累次の会合を含む全てのパーティー、催しものを停止。全ての娯楽活動およびイベントを停止となり。映画館や屋内の娯楽施設、レストランやモール、ショッピングセンターに併設する施設も含めた屋内の遊び場、ジム、スポーツセンターの閉鎖。レストラン、カフェにおける飲食の提供を停止し、店外へのサービス提供（テイクアウト、デリバリー等）のみとし、注文による人だかりは認められない。

学校も期末試験の時期でして、卒業の成績はその時までのクラスへの参加と試験や宿題で決められました。大学への入学試験もオンラインで行われていて、受験生のみんなはパソコンのカメラを開けながら試験を受けました。

全て国へ入国された国民は14日間の隔離が必要でした。当時は用意されたホテルで過ごせるようで、検査結果を確かめた上で家に行かされます。

そしてラマダン（断食）期間中（4月24日～5月22日）の特別措置として外出制限を一部緩和させてきたが、5月23～27日までの5日間は、例外となる業種を除いて全土で24時間の完全ロックダウンが続いており、異例の

イード（ラマダン明け）休暇となった。

地域によって時間の制限に違いがありました。また、感染者数と人々の協力によって外出禁止の時間が決められました。

（5月31日～6月20日）段々とレストラン、カフェ内でのオーダーをすることに許可が下り、一部のモスクで金曜礼拝を含むモスク内での礼拝を許可になりました。国内線の運航停止も解除。もちろん全ての外出にマスク着用、消毒、デスタンスを守ることは義務でした。ルールの違反には罰金が発生されます。

引き続き感染拡大予防策を最大限に講じつつ、外出禁止措置を解除。外出禁止以前と同様の活動を行うことが可能となりました。



レジに並ぶ案内ステッカー

できるだけ安全に出かけるように、無料のドライブスルーPCR検査センターが設置されました。アプリを使っての予約は可能です。結果も最短翌日にアプリやショートメッセージで届けます。

7月にこれまで5%だった日本の消費税に当たる付加価値税（VAT）を1日から15%に引き上げました。新型コロナウイルスの感染拡大と原油価格下落を受けた歳入拡大策の一環です。

8月に始まる新年度は、学校の対面授業当分行わず、完全オンラインスクールシステムになり、全ての授業はオンラインで行われました。（現在も続けています。）

9月に内務省から許可下りる方のみ出国できるようになりました。

このような対策は世界中に色んな形で行われております。正解などはないと

思います。1日でも早く世の中が落ち着けますようにと願います。



ロックダウン中にラマダン明けのイードお祝いに町を回りました、イスラァーセンター (King Abdulaziz Center for World Culture) のパレード「ithra Eid」
<https://www.spa.gov.sa/viewfullstory.php?lang=ar&newsid=2093369>

＜ラオスのお正月とその時で食べる料理＞

氏 名：AMITH PHETSADA（ペッサダー アミット）
任 命 年 度：平成30年度任命
出 身 地：ラオス
在 住 地：京都市在住



お正月（1月）になって様々な知り合いに「お正月は、お国に帰っていませんか」とよく聞かれたため、今回のレポートでは母国のお正月について書きたいと思います。新型コロナウイルス感染拡大で帰国できないのと、新暦の正月にはラオス人は、あまり帰省しないのです。よく帰省するのは、4月です。帰省し祖父母や両親に敬意を払いながら幸福を祈ってもらいます。

東南アジアに位置するラオス、タイ、ミャンマー、カンボジアこれらの国ではお正月は、4月の半ば(だいたい14日～16日まで)に行われます。いわゆる小乗佛教(Theravada Buddhism)を信仰している国々です。お正月のことをラオス語では、Pee mai(ピーマイ)、タイ語では Songkran(ソングラン)、ミャンマー語では Hnit Thit (ニッティット)、カンボジア語では chhnam thmey (チュナム トメイ)と言います。ラオスやタイでは、お正月の時、若い人々は道沿いで酒を呑んだり、お互いや道を通る人々に水をかけます。当時の気温は、30度以上なので全然寒くありません。むしろ、ちょうど良い感じですが。しかし、もしその時にラオスかタイに居たら、お出かけする際、パスポートやお財布が濡れないように防水のかばんに入れたほうが良いです。東南アジアのお正月については、下の参考文献をご確認ください。

お正月によく食べる料理ですが、日本では、お節料理という料理がお正月に食べられますが、ラオスでは Laab (ラーブ) という料理がよく食べられています。ラーブは「福」「幸」「富」「財産」と言う意味が含まれており、お正月のみならず、結婚式や新築祝い等あらゆるめでたい時に食べられます。ラーブの種類は、色々あります。鶏、鳥、合鴨、地鶏、牛、魚、豚、海老、水牛などです。簡単に説明するとラーブは、肉をミンチにしてミントやパクチーなどの香辛料や調味料と混ぜる料理です。生で作る場合も多いです。よく生食べるのは、水牛肉、牛肉、魚です。豚肉は、たまに生で食べます。参考は下記の写真をご覧ください。ラーブに関するより詳しい説明は下のリンクまでご確認ください。ラーブとよく食べるのはもちろんラオスの主食であるもち米です。

ラオスを訪れる機会があればどうぞラオスの料理の代表のラーブを召し上げてみてください。その時、作ってくれる人にあまり辛くしないように頼んでくださいね。ラオスのほとんどの料理は辛いからです。



写真：筆者撮影

1. https://note.com/laoshokudo/n/nbc0891b15a2c?fbclid=IwAR0majjhj_S45VbPJkA2sGEcFgZXomZAoYx3zUXsDzKzbxE2rP3pK0xQib0
2. https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/j_mekong_k/koryu_ak3.html

＜能力を持つより鉄の意志を

持つほうが成功への道 >



氏 名：アサド・マリーナ
任 命 年 度：平成30年度任命
出 身 地：エジプト
在 住 地：京都市在住

「能力を持つより鉄の意志を持つほうが成功への道」これは、私が実際に体験した後、信じるようになってきたことなのである。

小学校の時、私には勉強する能力があまりなくて、いつもクラスメイトより低い点数を取っていたので、大変恥ずかしかった。そのとき、満点を取っていた友達に対する回り人の喜びや誇りの感じを見た瞬間が私をすっかり変えた。というのは、私はそのときから今の大学院生の私になってまで、全く悪い点数を一度も取らなかったということである。私がある時に変わったのは、成功のすばらしさへの強い意識に対して、鉄の意志を持つようになったからである。その時から、中学生のときから高校生の時にかけて、どンドンクラスの第五番目、その次第三番目、一番目の学生という優秀なレベルまで至ることができたのである。

話を進めていく前、確認させていただきたいところがある。いくら成功への強い意志があっても、一人でがんばるのが全く意味のないことだと思ったことである。それで、私はまわりのクラスメイトが成功するのを応援したり、友達にもいろいろ手伝ってあげたのである。それは私が偉いな一と思わせるために言うのではなく、次のことこそ、みんなにはっきりと理解してほしいからである。

自分の持つ能力と知識を使って困っている相手を助けてあげることにより、相手に嫉妬の目で見られる危険性がある、という考えがある。このような考えはエジプト人の多くにあって、エジプト人の自己中心性の文化背景の影響によって発生したことだと考えられる。しかし、ずっと私が信じてきた聖書の話の「人からしてほしいと思うことを、そのとおりにもしてあげなさい」〔ルカ6：31〕の影響を受けて、協調性の社会を目指していた。

次に、大学生になってからの段階のことである。全然社交的ではなかった私には、ずっと入るのが夢だった外国語学部の入学は大変なチャレンジだった。なぜかという、その時までテストで良い成績を取ってきた私は、話すことのうまさ最低条件である外国語学部に入ってはじめて、その能力が全く私にな

いことがわかったからである。ただし、その大変な道に行き、その道を進まなかったら、今の社会的になった私はいなかったことが後でわかった。

日本語の勉強の最初の段階は大変難しかったが、一生懸命頑張って、少しずつ日本語が上手になってきているにつれて、いつも生まれつき言語能力が高い人と比べると、まだまだとがっかりしてばかりだった。しかし、いつも応援してくれたお母さんのおかげで、意志を強くもって精一杯で努力しようと決心した結果、ずっと叶え難いと思った日本語の先生になる夢が叶った。以上のように、成功は能力だけに頼る物ではなく、成功への強い意志の方に頼るものだとよく考えられる。

<中国語的日本語>

氏 名:王 靚(オウ リョウ)

任 命 年 度:平成30年度

出 身 地:中国山東省青島市

在 住 地:京都市在住



日本在住の中国人として、日本語と中国語の違いについて考える（あるいはせざるを得ない）機会は常にあります。例えば、気まずいシチュエーションに遭遇してしまった時、どういう風に話しかけたら嫌な思いをさせないで済むのか、というのはしょっちゅうあります。言葉選びのセンスを問われるし、日本語の微妙なニュアンスの違いにも気を配らなくてはならないので、喋るだけなのに大変な作業です。さらに逆のパターンもあって、中国人らしき人が変な日本語を使っているのを耳にすると、中国語に直訳するとこういう意味で、なるほどそれを伝えたかったのね、だったら日本語に何て訳せば伝わるのかと、考え込むこともあります。こうしてニュアンスの違いで誤解が生じてしまうものがたくさんありますが、筆者なりにまとめたものを一部お見せします。

・中国語は喜んでいられるつもりでもあえてきつく言う

いわゆる照れ隠しです。嬉しくて仕方がない時に、あえてバカと言うのと似ています。ただ、この類の NG ワードは中国語の方が圧倒的に多いです。「バカ」一つでも、話し手の工夫によって数えきれないバリエーションを生み出すことができます。列挙しきれませんが、「消えろ!」「黙れ!」といった優しめのものから、命に関わるきつめの表現(?)まで、全部「嬉しいよ、ありがとう」と訳すことが可能です。

・中国語は「しなければならない」系の表現が多い

これはまさに考え方の違いを表しているところだと思っています。中国語で会話していると、本気を出していなくても、「あなたは努力しなければならない」、「明日は病院に行かなければならない」、「私は痩せなければならぬ」といった言葉を口にします。日本語的に訳すと、おそらく「〇〇の方がいいかもしれません」の方がいいかもしれません。

文化が違えば、使っている言葉や表現も異なってくるというのは、当たり前の話です。ただ、理屈として理解しているつもりでも、いざ外国語的な母国語（例えば中国語的な日本語）に出会うと、戸惑ってしまうし、場合によって大

きな誤解が生じてしまうこともあります。ただ、正しく使わないと誤解されやすいというのは悪いというわけではなく、それだけ日本語は繊細で表情豊かなものだと思っています。外国人的な日本語に理解の心を持っていただければ、日本語は日本人で守るものだけではなく、世界中の人たちと一緒に作っていくものになれるかも？

大きなことを言ってしまうえば、ヒトの移動が制限されている今こそ、日中間の文化交流を途絶えて欲しくないというのが筆者の切実な思いです。この文章を読んでいる方々に言葉の面白さを共有することしかできませんが、これをきっかけに中国のことを知ってもらう機会になればと期待しています。

<コロナで新たに考えたこと>

氏 名：劉 泓子（リュウ ヒロコ）
任 命 年 度：平成30年度任命
出 身 地：中国上海市
在 住 地：大阪市在住



まずは簡単な近況報告ですが、私は2019年の4月から大阪大学の経済学研究科に入学し、今年(2021年)の3月に修士課程を卒業し、その後の4月に同研究科の博士課程に進学する予定です。昨年は緊急事態宣言を経て、学校がほぼ全面的にオンライン授業となり、同級生たちと十分に情報交換などができない中、なんとか修士論文を仕上げました。研究がうまくいかず、1人で家で悶々とする日々も多くありましたが、このご時世できっとみんな大変な思いをしているのだなとなんとか乗り越えました。

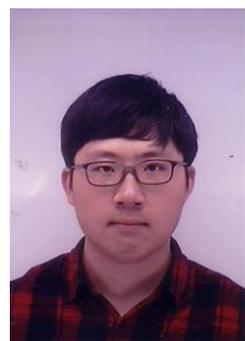
コロナが脅威を奮っている中、私は毎日、新聞を読むようにしています。最初は単にコロナの情報が知りたくて、いつになったらこの窮屈な生活から抜け出せるかという思いでしたが、次第に世の中の今後の流れに興味を持つようになりました。

日経新聞の電子版を購読していて、コロナで名前の知られている世界中の大手企業まで倒産や営業中止になるケースが多くみられています。一方この大変な社会情勢の中においても、栄え続ける従来の大手企業や、新興産業などもあります。2020年1月の今でも緊急事態宣言の中、今後の見通しもわからない中、どのような企業が時代の波に乗り生き残り、今後の社会はどのように変わっていくかについて自分なりに考えるようになりました。その時々々の生活様式にあるものが栄えるというのは当たり前聞こえますが、経済学思想史においても同じことが言えます。社会の波に従い、資本主義思想、社会主義思想などが生まれ、良し悪しはともかく、その時代に合わないものは必ずいずれ廃れていきます。今の社会も同じように、従来の対面型を必要とする企業は業績が落ち、素早くオンラインビジネスを取り掛かる企業は早く立ち直り、またオンラインに関わる新興産業はこれから栄えていくでしょう。典型的な例は、zoomという企業だと思います。コロナの前はあまり知名度がないのに、今では知らない、使わない人がいないくらいでしょう。またIT産業は、新薬開発などもコンピュータのAIや機械学習を使っているらしく、今後さらに急速的に成長していくように思われます。

このように、深いところまでは至っていませんが、毎日20分ほど日経新聞を読んで少し考えることによって、視野が広がり、コロナで不便な生活の中でも自分自身の無力さが少しばかり軽減されました。

＜学校訪問で考えた事＞

氏 名：許 俊暉（キョ シュンイ）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：香港
在 住 地：京都市在住



京都府名誉友好大使になってから、様々な活動に参加しましたが、一番よく行っているのは学校訪問でしょう。学校訪問を通じて私は色んなことを学びましたので他の友好大使や学校訪問に興味がある方に自分の考えと経験をシェアしたいと思います。

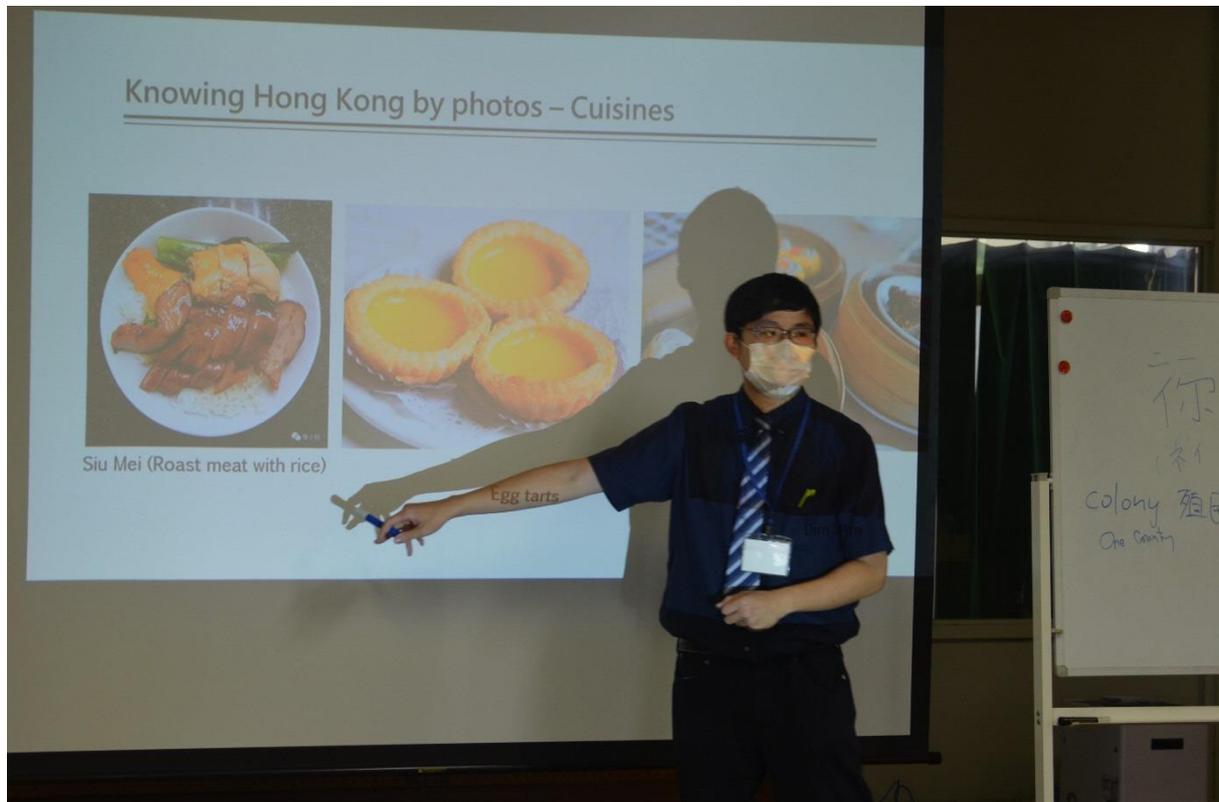
学校訪問は、ほとんど国際理解講座の形式で行います。事前にスライド資料を用意し、学生たちに香港の文化や飲食、習慣について15分間ぐらい話します。その後、学生からの質問に答える感じです。最初、私はいつも自分が言いたい事を準備しますが、発表している時に学生たちの顔を見ると、どのトピックが受けるのかまたはどのトピックが受けないのかが段々分かるようになって、今は学生の角度から考えてスライドを準備します。

例えば、2019年の夏から香港は逃亡犯条例のデモで世界中の注目を集めました。その時、毎回学校訪問に行っている時に学生たちは必ず香港の政治状況に関する質問を挙げます。これは複雑な問題なので、いっぱい聞かれることを予測して、事前に資料を用意します。学生たちは、香港人である私がどういう風に考えているのかを知りたいので、よく気持ちを伝えるのが大事だと思います。これをきっかけに学生たちの好奇心を刺激し、今後も国際のニュースに関心をもつようになるのは私の目標です。

それから時間を経て、デモ事件のトピックが一件落ち着いたら今度は別の話題を用意します。友達の意見を参考にして、私は広東語を紹介することに決めました。京都府では、中国語や韓国語、英語などの言語を学ぶチャンスは多いですが、広東語は珍しいと思います。それは香港人とマカオ人、広東語を母語にする人の割合が少ないからです。学生たちは特に自分の名前の広東語での発音が気になるみたいです。15分間だけでは「こんにちは」（ネイ ホウ）とか「ありがとう」（ドーツェ）見たいな簡単な言葉しか教えませんが、常に受け入れてもらえとても嬉しかったです。

最近ではコロナの時代でなかなか外に出られないですが、学生の中で海外留学に興味を持っている人も少なくないと思います。自分は何回も高校生と留学相談をしました。一番多く聞かれたのは、留学するために英語力はどれぐらい

必要なのか、それと英語の勉強法です。母国の魅力をアピールして、もし将来誰かが自分の講義のおかげで香港に興味持つようになり、留学しに来たらこれこそ京都府名誉友好大使の役割である「かけ橋」として見事に使命を果たしたと思います。



(2020年7月、西乙訓高校で国際理解講座をしている時の写真です。)

<紹興市>

氏 名：宋 円夢（ソウ エンム）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：中国浙江省紹興市
在 住 地：京都市在住



2020年はコロナで、大変な一年でした。このような状況が続いているなかで、大使の活動がずいぶん減りました。去年は高校の学生とのオンラインのコミュニケーションに参加しました。大変な時期の中で、皆がしっかりと生活していることに感心しました。

今年度のレポートで、筆者の出身地の紹興市（中国）を紹介したいと思います。紹興酒は日本でかなり有名ですが、その発祥地は中国の浙江省の紹興市です。現在日本で販売されている紹興酒はほぼ全てが紹興市で生産されています。筆者が参加している日中友好連盟などの団体のイベントで、日本のおじいさんたちが紹興酒を飲んでいるイメージがあります。紹興市においても同じように、紹興酒がおじいさんたちのなかでとても人気で、ほぼ毎食飲んでいるおじいさんもいます。紹興酒は5年、10年などの保存された期間の長さにより、味と香りがかなり違います。そのため、年数が長いほど味が濃厚で、値段が高いです。また、地域によって、娘が生まれた時、お酒を買って保存して、娘が結婚する時出して飲む習慣があります。

紹興市は「水の都市（水郷）」と呼ばれ、様々な川は都市を貫いています。紹興市といえば、独特な船（「烏篷船」と呼ばれ）に乗り、紹興酒を飲み、水の都市の風景を満喫するという長閑なイメージがあります。また、たまに川のなかでは、中国の伝統的な演劇の1つである「梅花烙」を演じるための舞台が設置されています。昔の人々はいつも「烏篷船」で「梅花烙」を見ています。



紹興市の川



梅花烙の舞台

(URL : <https://699pic.com/tupian/shaoxingwupengchuan.html>)

紹興市出身の有名人が多くいますが、中国のみならず、日本でもご周知のような魯迅先生がその1人です。魯迅先生は日本の仙台で留学したことがあります。また、魯迅先生の有名な文章の「故郷」が日本のテキストで載せられているようです。現在魯迅先生が生まれ育った場所が有名な観光地になりました。そこに行けば、魯迅先生の文章のなかで書かれた風景を身近に感じることができます。

もし機会があれば、ぜひこのような独特な都市にお越しください。

＜大使の活動及び近況報告＞

氏 名：劉 弋鋒（リュウ イホウ）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：中国
在 住 地：宇治市在住



年末に宇治市立木幡中学校で中国のことについて、学生たちとコミュニケーションを取りました。講義の資料をまとめている間に、今まで気づいていなかった細かい情報を取り入れたことで、より具体的に伝えることができた実感しました。学生の皆さんと交流している時、「どうして日本に来ましたか」、「好きな食べ物は何か」など幅広く聞かれました。将来海外で活躍しようと考えている人たちを少しでも後押しするような答えができれば幸いです。2021年にコロナが収まって、定期的に大使活動ができる年になればいいなと願っています。

また、近況報告について、大学での研究が進んでいながら、在宅の時間が増えて心の整理とともに自分で作った音楽をネットにアップしました。ずっと前から音楽は聞かずに生活できないくらい大好きなため、初めての試みとして90年代初期の頃に日本社会に浸透していたらしいJ-POPのテイストを取り入れて、なおかつ眠れない夜に一人で聞くようなバラード曲が作りたいという考えのもと、心が穏やかになるようなメロディー制作に勤しんでいました。いざやり始めると無我夢中になって、気づいたら昼夜逆転の生活を一ヶ月くらい送っていました。にもかかわらず、夜中にインスピレーションが湧き上がることが多かったのも、楽曲を作る意味では最高だったのかもしれませんが。歌詞に関しては中国語と日本語を両方作りました。また、アレンジでは、ZARD、T-BOLAN、WANDSの楽曲提供をされていた明石昌夫さんにアドバイスをいただきつつ、同時進行で作っていました。結果として、友人や初めてこの曲を聞いた人たちから沢山コメントをもらって、もちろん「会えなくても、音楽で思いを届けよう」という気持ちで作ったこの曲に対して、家族もとても喜んでくれました。大使の皆さん及び国際課の方たちに曲を紹介する日が早く来ることを心待ちしています。

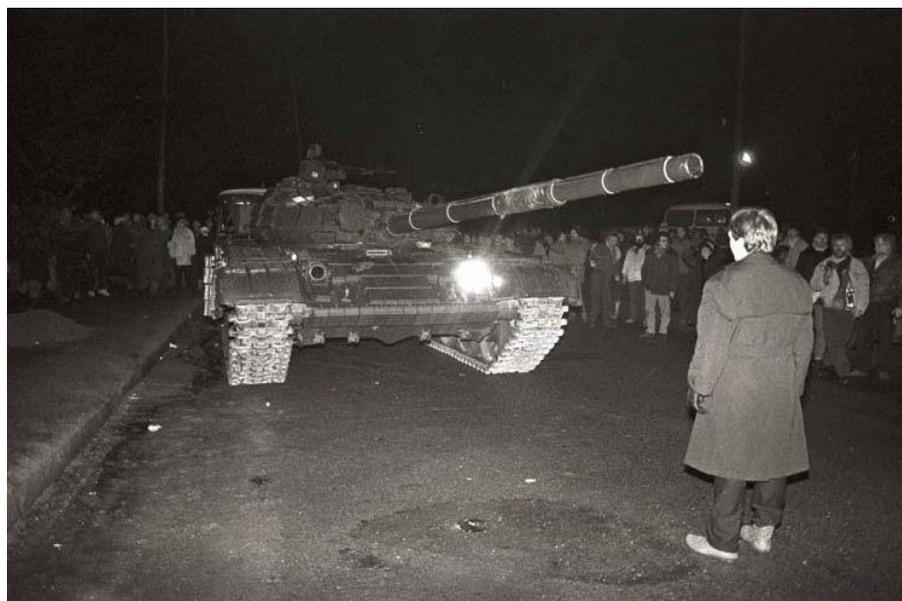
<リトアニアの真の友になった日本人>

氏 名：サブーナス アウドリユース
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：リトアニア
在 住 地：宇治市在住



まさかの時の友は真の友。リトアニア語でも全く同じことわざがあり、使い方も幅広い。今回はこのことわざに当てはまる、つまり、リトアニアの真の友となった日本人について書くことにした。

今年の1月13日にリトアニアで血の日曜日の30周年記念式典が行われた。1991年1月13日に独立宣言を発表したリトアニアで再び権力を取り戻すため、ソ連軍の部隊はリトアニアの首都で重要拠点を攻めて、リトアニア共和国の政権を転覆しようとしていた。一方、テレビ塔や議会庁舎を守るために数万人の非武装の人々が周囲に「人間の盾」を作った。被害者数は14人を数えたが、リトアニアの庶民が独立を勝ち取った。日本にもリトアニアの独立を支援してくれた日本人がいたので、この記事が当時大変お世話になった（リトアニアの視点から見た）外国人に捧げたいと思う。



戦車の前に立つ「人間の盾」の参加者の一人⁴

⁴ アンドリユース・ペトルレビチュス撮影

1991年1月にソ連軍によって重要拠点が侵略され始めたリトアニアについて報道するため、わざわざリトアニアに来てくれた大胆な外国人の記者もいた。その記者の中に日本人もいたようで、彼らのお陰でこの当時の暴力的な事件が日本でも報道された。特に当時ソ連圏で勤務していた日本の方々、他の欧米国の記者や外交官に先んじてこの事件に関する詳細な情報を入手することが出来、この事件を最初に世界に向けて発信できたと考えられている。また、記者だけではなく、モスクワの大使館に勤めており、リトアニアを助ける為に尽力した日本人もいたという。

独立を回復したリトアニアにとっては少なくとも14名の日本人が誠の友となった。行動を起こしてくれた人物を忘れないように、僅かな資料を用いて彼らがどんな役割を果たしてくれたのか調べ、一覧でまとめた。

- 久慈義昭。元久慈市長。リトアニアに対するソ連の武力介入に対し、ゴルバチョフ大統領に抗議電報を送った人物。元市長はこの支援の他に、特に私の地元のクライペダ市と岩手県久慈市との関係に注力したので、2003年2月にリトアニア共和国からヴィータウタス大公将校十字勲章という名誉ある勲章を授与された。
- 中山良夫。日本テレビ放送網の係員、またプロデューサーとして、中山氏の貢献は貴重であった。その結果、彼も1992年に勲章を授与された一人となった。
- 佐藤優。京都市にある同志社大学神学部で学び、1988年から95年までモスクワで外交官として勤めていた方。その後、外交官時代の貴重な経験を元に活発な著述活動を続けられている。彼の著作のお陰で、当時生まれていない私も体験し得なかった血の日曜日事件について、イメージする事が容易になった。
- 谷口一郎。技術者として、報道の際に技術面からのサポートを担当したと考えられている。1991年、三菱電機の取締役となり電子システム事業本部の副本部長に就任した⁵。京都大学理学部卒業。1993年に勲章を授与された人物。
- 名越健郎。時事通信のモスクワ支局特派員として勤めた記者。1993年に勲章を授与された人物。
- 1993年に勲章を授与された3名の読売新聞の記者：布施裕之氏と浜崎紘一氏、伊熊幹雄氏。
- 1993年に勲章を授与された4名の共同通信の記者：山崎博康氏、吉田茂之氏、松島芳彦氏、瀬川清茂氏。

残念ながら、新見広重氏（1992年勲章授与）と岩下武史氏（1993年勲章授与）について、現時点で見つける事の出来た情報が本当に少ないので、漢字表記に誤りがある可能性をご了承頂きたい。以上の記者について教えて下さっただけでなく、当時取材でリトアニアを訪れて下さった齋藤勉氏に感謝を表

⁵ [谷口一郎 - Wikipedia](#)

明したい。

一人ずつ貢献の仕方は異なるとも言えるが、基本的に現地の事情を一早く掴んで報道網に載せることは、まだ世界中にその存在すら知られておらず、アイスランドとデンマークにしか独立国家として承認されていなかったリトアニアにとって、実に貴重だった。当時この事件を世界に向けて最も早く発信できたのは、日本人の記者やマスコミの代表者だったと考えられている。このように、日本をはじめとする西側社会に報道を通じて、鉄のカーテンの外に現地からの生の情報を伝えてくれた外国人の存在は、恐ろしい1月13日にとって掛け替えのないものだった。

また、2006年に出版された佐藤優による著作『自壊する帝国』には、当時モスクワで外交官として勤務していた彼によって経験された1月13日の夜の記憶が描かれている。当時リトアニアのテレビ塔等はソ連の支配下に置かれており、報道管制が敷かれていたので、正しい情報を伝えるためにリトアニアの外にいる友の活動がとても大切であった。彼は外交官として西側の報道にも直接アクセス出来たため、リトアニアに西側の最新ニュースを伝えるという貴重な役割を果たした。危急存亡の時、「二日間、私は大使館に泊まり込み、一、二時間に一回、ビリニユスのリトアニア外務省とモスクワのリトアニア全権代表部に電話をして、欧米や日本の報道について連絡した。」⁶ その後、彼は邦人保護を理由に敢えてビリニユスを訪れ、リトアニアで武力によって権力を取り戻そうとしていたソ連について情報収集しながらリトアニア政府を大変助けてくれた。

因みに、1月13日事件にあたり、日本国の外務省はルドヴィツヒ・チジョフ在日ソ連大使を呼び出し、バルト三国で武力を利用しないように提言していた。一方、大使は外部からの圧力は事態を複雑にするだけだと応じている。当時世界中から注目を集めていたイラクによる湾岸戦争中であつたにも関わらず、日本からの公式反応はとても有難かった。ビリニユスで活躍した記者や外交官のお陰で、東京の日本政府も情報を掴み、このような対応をした可能性もある。

1991年8月にソ連共産党の守旧派（ゴルバチョフソ連大統領の改革を中止したい一派）によるクーデターが未遂に終わり失敗してから、バルト三国に寛容なロシアの新民主主義の指導者（ロシアの最初の大統領であるエリツィン）がモスクワで権力を掌握して以降、リトアニアにとってはより安心出来る時代が訪れた。また、当年の12月にソ連が公式にも崩壊した。波乱の年の1月に大国に襲われたリトアニアを支援していただいた日本人の名前を決して忘れないようにし、心より感謝申し上げたい。

（あれから30年が経過し、日本とリトアニアとの架け橋になった人物はますます増え、2021年1月までに30名の日本人がリトアニアから勲章を貰い、また、12名のリトアニア人が日本から勲章をもらったという事実がある。今後もリトアニアと日本がより親しく関わり続けることを祈ります。）

⁶ 佐藤優『自壊する帝国』（新潮社、2006年、285頁）

＜留学生活の体験から

パンデミックを見る_100年前と今＞

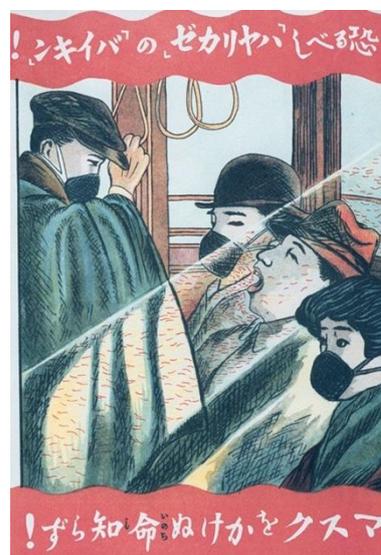
氏 名：CHHIV Exthai (チウ エッタイ)
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：カンボジア・プノンペン首都
在 住 地：京都市在住



新歴史教科書は2020年を「新型コロナの感染は安定生活と価値観に激変をもたらし、歴史の転換期である」と刻むのであろう。21世紀のインターネットによる「つながり」時代をさらなる促進したのである。今までの空間共有や物理的な関わりを危険とされ、密集しているつながりから距離あるつながりへ転換した。対面的な出来事はオンラインに代わられた。そして、今日の2021年の年初に新型コロナ変異類が次々と現れ、ワクチン開発・接種の競争、いわば、人類と病の戦いである。東京の2020+1オリンピック中止すべきかどうか、議論がたたかわされている。思いさせたのは、ちょうど100年前にベルギーのオリンピック開始とスペイン風邪感染拡大、世界は全く同じ問題を抱えていたことである。古代ローマ歴史家クルティウス・ルフス (Curtius Rufus 紀元1世紀) の名言「歴史は繰り返す」の通りであった。

価値観や知識が心や世界を眺める目に歪めることができる。同じパンデミックであったとしても個人体験は千差万別。おそらく社会階級や健康状態によって違うものを見ているはずである。日本が初めて緊急事態宣言発令したのはちょうど学生が春休みから学校に戻るはずの時期であった。当時大学もどう対応すべきか分からなかった。学生ならば同じ不安感を抱えていたはずだろう。しかし、自粛の学生生活に時間により余裕ができ、文学に触れたり、人類の歴史を振り替えたりする機会があった。

言えるのはコロナ時代の大変さは、同時期の100年前の第一次世界大戦(1914-1918年)、スペイン風邪パンデミック(1920年-1922年)に比べるものにならない。我々は進歩した。政治的な正当化のために私は比較しているわけではないもなければ、慰撫するつもりもない。過去の出来事や歴史の知恵に目を向けば、我々は現状の時空を超えてより広い視野で整理することができる。そして、より強く心構えできるようになるのである。そんなことが昨年の不安定な学生生活の中から学べたことである。



大正時代(1912~1926)マスクマナーのポスタ、国立保健医療科学院より(japantime.com)

<インドネシアのお正月>

氏 名：Galih Nurcahyo Pangeran Jati
(ガリー ヌルチャヨ パンゲラン ジャティ)
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：インドネシア、バンドン
在 住 地：京都市在住



お正月をお祝いするにあたって、日本とインドネシアとの間では少しニュアンスが違ふと感じる。日本では、西暦カレンダーに従ってお正月をお祝いし、大晦日のとき家族や仲間と集まり年越しそばのような年末らしい食べ物を食べながらテレビを見て、また元日のとき神社へ初詣をしに行ったりおせち料理を食べたりすることのイメージが強い。一方母国のインドネシアでは、お正月のお祝いは宗教によって異なり、これは宗教で使用されるカレンダーシステムがそれぞれ違ふからである。また、宗教の文化によってお祝いの仕方や過ごし方が異なっていく。さらに、ある地域では昔から使われてきたカレンダーでお正月をお祝いすることもある。

現在インドネシアでは5つの宗教が認められている。それは、イスラム教、キリスト教、ヒンズー教、仏教、また儒教であり、これらの宗教はそれぞれのカレンダーシステムを持っている。例えば、イスラム教はイスラム歴を使用し、ヒンズー教はサカ歴を使用する。要するに、インドネシアでは5つ以上もカレンダーシステムを持っているが、一般的に西暦を使用している。そのため、1月1日は一応お正月になっており一般的に祝日となるが、自分の宗教のお正月の方がよりお祝いされると思う。

上で記述したように、インドネシアでは宗教によってお祝いの仕方や過ごし方が少し異なる。例えば、イスラム教ではイスラム歴のお正月には日本に似たものがあり、去年よりもいい年になりますように祈っている。お正月よりも大きい日のことをイードアルフィトルと呼び、この日の前日は断食期間の最後の日となり夜ではモスクへ行きお祈りし、当日の朝は家族みんなでもスクへ行きお祈りし、その後イードアルフィトルでしか作らない豪華なご馳走を食べるのが一般的な過ごし方である。また、イードアルフィトルの時は故郷へ帰るという習慣があり、大きい家族で集まること有名である。さらに、自分の家で作った料理は自分だけで食べるのではなく、近所の人にも振る舞い一緒に食べるのが習慣であり、もちろん近所の人自分たちにご馳走を振る舞ってくれる。その他、キリスト教の人が西暦の1月1日でお正月をお祝いするが、その過ごし方がイスラム教の人とほぼ似ている。一方、ヒンズー教のお正月のことは「ニュピ」といい、沈黙の日または隔離の日を意味する。この日では、普段・いつものような生活がなく、病院以外の全ての公共サービスが使用できない。

バリ島にはほとんどの人々がヒンズー教なので、このようなことがあると知ってもらって、失礼のないようにバリ島へ行こう！

＜日本酒の代表——月桂冠＞

氏 名:金 亦衛(キン エキエイ)
任 命 年 度:令和元年度任命
出 身 地:中国・上海市
在 住 地:京都市在住



2020年11月、私は日本を代表する老舗日本酒メーカーの月桂冠株式会社に入社し、京都本社の貿易部に配属されました。

近年、日本食ブームの背景に私のような多くの外国人が日本酒を飲むようになりました。私にとって日本酒はお酒ではなく日本文化そのものです。日本と中国の習慣や文化は異なりますが、私は今後伸びしろが大きい中国の日本酒市場をさらに拡大すると考えています。

現在コロナウイルス大変の中、私は月桂冠の一員として、一刻も早く会社、社会に貢献できますよう、力を尽くしていきたいと思えます。今後、日本酒文化を世界に広めていくことが出来れば幸いです。



月桂冠京都本社（本人撮影）

今回は京都・伏見にある「月桂冠大倉記念館」を紹介したいと思います。



月桂冠大倉記念館（本人撮影）

京都の南に位置する伏見は、桃山丘陵からの豊富な地下水脈に恵まれた水の都である。古くからこの街では良質な水を生かした酒造りが盛んに行なわれ、日本を代表する酒どころとしてもその名を轟かせている。白壁土蔵の酒蔵が軒並み連ね、歩いているとフワリとお酒の香りが漂ってくる、そんな風情ある街である。

伏見には現在24の酒蔵が存在するが、その中でも特に有名な酒蔵が、月桂冠だ。お酒を飲まない人でも名前を聞いたことがあるだろう酒蔵である。

その月桂冠が、所有する貴重な酒造道具を展示・公開しながら、伏見の酒造りの歴史と工程について学べる資料館として1982年に設立したのが、月桂冠大倉記念館。会社名であり酒銘でもある月桂冠と、創業者の姓である大倉の

名を付けたこの資料館を訪れてみた。

玄関の格子戸を入ると、復元された昔の帳場や高い天井が目飛び込み、まるで昔の酒屋にタイムスリップしたかのよう。エントランスを抜けて展示室へと向かう前に井戸がある。ここでは「さかみづ」と呼ばれ、地下50メートルから汲み上げ伏見の酒造りに実際に使われている水を飲むことが出来る。口に含むと、その水は非常にまろやかでやわらかい。多くのミネラルを含んだこの清らかな水こそが、伏見の酒の命と言える。

通常、一般公開されているのは、酒造り用具と月桂冠の歴史資料を集めた2つの展示室である。まずは、用具類を集めた展示室Ⅰを見学。酒がどのようにして作られているのか、実際に使われていた昔ながらの桶や樽、甑（こしき、現在でいう蒸し器）などの用具400点あまりが、酒造りの工程の説明が描かれた絵図パネルと共に展示されている。ただ道具を見るだけではなく、説明を読んでからその用具を見ると、使用していたであろう職人たちの姿が思い浮かぶ。館内には、「酒造りの唄」が流れている。この唄は蔵の中で杜氏たちが作業をしながら歌っていたもので、杜氏の出身地によりいくつもの唄、そして何十番もあったとのこと。まだ時計が無かった時代に、気温や湿度からその日の作業をどこまで行なうかを蔵元が決め、何番まで歌うという形で時間を決めていたそう。

展示室Ⅱでは、時代とともに変わっていく月桂冠の変遷を示す資料が数多く展示されている。創業当時の屋号「かさぎや（笠置屋）」の名入りの徳利や、びん詰め酒のボトル、看板やレトロなポスターまで、展示資料一つ一つに、月桂冠という酒蔵のストーリーが語られていく。明治期の小びんの一つには、当時詰めた酒がそのまま残っており、見る者を驚かせる。

月桂冠はなぜ、広く世に知られるようになったのか。1905（明治38）年、11代目の当主が勝利と栄光のシンボルである「月桂冠」を酒銘として商標登録し、ハイカラな名前として注目を浴びた。そして、酒造りに科学技術を導入し、びん詰め酒に特に力を注ぎ、どこでも飲める「コップ付き小びん」を開発。キャップをひっくり返すとそのままお猪口になる斬新なアイデアは、鉄道での旅のお供にぴったりとのことで、全国300箇所販売されるとともに月桂冠の名を全国に広めるのに一役買った。また、ラベルデザインに力を入れたり、防腐剤なしの酒を売り出したりと、画期的な商品を次々に世に打ち出した。現在も、このチャレンジ精神と酒造りへの情熱は、今日の月桂冠の職人たちに受け継がれ多くの商品を世に出し続けている。



月桂冠の樽（本人撮影）

事前予約制のオプションツアーであるが、資料館に併設する月桂冠酒香房も、可能であれば是非見ておきたい。ここでは、もろみの発酵など実際の酒造りをガラス越しに見学することができる。通常、酒造りは冬場に行なわれるものだが、ここでは室内気温を調節し、年間通じて酒造りを行なっている。ここで作

られた作りたての原酒を後ほど売店で購入できるのも、酒蔵ツアーならではの特別感だろう。

二つの展示室を抜けたら、きき酒処で月桂冠の酒を試飲してみよう。ここでは、月桂冠レトロボトルの吟醸酒、玉の泉 大吟醸、プラムワインの3種を味わうことができる。また、これらは併設の売店で購入することも可能。レトロボトルと玉の泉は、ここでしか買えない限定品。スイングするキャップが特徴の美しく透き通ったレトロボトルは、飲み終わったあとにインテリアとしても飾ることもできる一番人気の品である。売店では、酒蔵ならではの原酒や限定販売の日本酒のほかに、酒粕を使用したクッキーや飴、珍しいドレッシングなども。ついつい買い過ぎてしまいそうになるほどの充実したラインナップで、全館通して満足できる内容になっている。

見て、聞いて、嗅いで、味わい、触れてみる。五感をフルに使って伏見の酒造りと一つの酒蔵の歴史を楽しめる、それがこの資料館の醍醐味だ。ここで知識を得ることで、日頃飲んでいる日本酒に対する見方も変わってくるだろう。

是非、京都に行く際は、月桂冠の酒造りを体感してください。

【Link:】 <http://www.gekkeikan.co.jp/enjoy/museum/index.html>

＜ベトナムの尊師重道の文化：先生の日＞

氏 名：ニュエン ティ トウ ジャン
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：ベトナム・ビンフック市
在 住 地：京都市在住



ベトナムの年中行事の中には「先生の日」(Ngày Nhà giáo Việt Nam) というものがあります。この行事は毎年11月20日で行われます。学校の先生たちに感謝の気持ちを伝えたいということで、全国の各学校で授業が休み、式が行われています。そして、この行事を機会に一年の教育活動を見直し、新たな方針を決める学校が多くあります。

1. ベトナムの「尊師重道」文化

昔、ベトナムも日本と同じように中国の儒教の影響を強く受けました。ベトナムの封建社会において絶対に敬わないといけない3人がいます。その中で先生は2番目になっています：君 (quân - 王様)、師 (sư - 先生)、父 (phụ - 父親) です。それほどベトナムの文化で先生を大事にしているということです。この精神は様々な昔話、慣用句やことわざに託され、学校の道徳の授業に必ず教えられます。例えば「尊師重道」(Tôn sư trọng đạo)、「一文字を教えてくれる人は先生であり、半文字を教えてくれた人も先生である。」(Một chữ cũng là thầy, nửa chữ cũng là thầy)。そして、「1日は父方、2日は母方、3日は先生方」という教えもあり、旧正月の3日には先生のお宅に訪問するのも当たり前になっています。さらに近年では、学校の先生だけでなく、「自分の中の先生」、つまり様々なことを教えてくれた人にも感謝の気持ちを伝えるようになりました。

2. ベトナムの先生の日

そのようにベトナム文化に尊師重道の精神が深く根付いていますが、先生の日が正式に行われたのが1958年11月20日でした。1946年、フランスのパリで世界教員組合連盟 (FISE : Fédération Internationale Syndicale de l'Enseignement) が成立し、1953年にベトナムが加盟しました。そして、ポーランドで行われた会議で毎年11月20日を「先生の日」と決められました。次の年、独立となったベトナムの北部の全学校で式が行われました。1975年以降、ベトナム全国が独立し、毎年全国で「先生の日」が行われるようになり、国の伝統行事になりました。

3. 学校における「先生の日」

ベトナム人にとって「先生の日」は非常に大事な行事です。この行事を迎え

るために、各学校（大学も含め）で色々な準備がされています（ステージ、台本など）。

私が学んだ高校では毎年先生の日に向けて様々なコンペティション（スポーツ、各クラスの成績など）を実施しています。もちろん、11月20日は授業が休みになり、教師と学生全員が学校で集まり、式を行います。（写真1）



写真 1 「先生の日」の式の様子（母校）

当日の流れは学校によって違いますが、私の母校では次の通りです。校長による開式の挨拶、「先生の日」の歴史を振り返り、コンペティションの結果発表と表彰、教師や学生が準備したエンターテインメント（歌、踊り、劇など）、校長による閉式の挨拶です。エンターテインメントのテーマはもちろん先生たちに感謝の気持ちを伝えるテーマが最も多いが、最近は K-pop のダンスや若者の中ではやっている歌なども多く演出されています。（写真2）



写真 2 生徒の踊り（母校）

式が終わった後は自由タイムとなり、生徒が先生たちと記念写真を撮ったり、話したりすることができます。この時間には在學生だけではなく、先生たちを会いに帰ってきた卒業生の姿も多くみられます。私のクラスのメンバーも毎年母校に帰り先生たちに花束を渡します。私は卒業してからすぐに日本に来てしまったので行けませんが毎年ビデオ通話で参加しています。

4. 「先生の日」は式だけで終わらない

式は午前中に行われるが、午後には各クラスの数名が代表に先生たちのお宅に訪問します。先生たちに花束やプレゼントを渡し、感謝の気持ちを伝えます。先生たちも生徒たちのためにお菓子、果物、ジュースなどを準備してくださいます。みんなで食べながら話したり、遊んだりしてとても盛り上がっています。さらに非常に面白いことがあります。教師一人が複数のクラスを担当することが多いので各クラスが同じタイミングに来たら、先生の家の前で並んで待つか、一緒に入って盛り上がる場合もあります。このパーティーは小さいですが、学校時代の大事な思い出になります。（写真3）



写真 3 先生のお宅の訪問（母校）

しかし、近年「先生の日」にこのような活動が少なくなっています。それは尊師重道文化が薄まってしまったわけではなく、年々式を行うのは費用がかかりすぎると文科省から指摘されたからです。また、同日の午後に先生のお宅に訪問することは、交通安全などが不安という意見もあるため、控えられる傾向もみられます。

その現状を見て国の尊師重道の文化が減びてしまうと心配している人も多いです。しかし私はそう思いません。なぜなら毎年式がなくても、先生のお宅に訪問しなくても先生たちにプレゼントを渡し、感謝の言葉を伝える事は相変わらず行われているからです。様式が地味になったとしても「先生の日」は大事な行事であり、「尊師重道」精神が薄まることはないと思っています。

参考文献

ウェブサイト

コトバンク 《FISE とは - コトバンク (kotobank.jp)》

(参照日 2021年1月23日)

Bệnh viện Nhi Đồng Thành Phố (2020) 「Nguồn gốc, ý nghĩa ngày Nhà giáo Việt Nam」

《<https://bvndtp.org.vn/nguon-goc-y-nghia-ngay-nha-giao-viet-nam/>》

(参照日 2021年1月23日)

Wikipedia (2021) 「Ngày Nhà giáo Việt Nam」

《https://vi.wikipedia.org/wiki/Ng%C3%A0y_Nh%C3%A0_gi%C3%A1o_Vi%E1%BB%87t_Nam#L%E1%BB%8Bch_s%E1%BB%AD》 (参照日：2021年1月23日)

<京旅館の将来について>

氏 名：黄 媚陽（コウ ビヨウ）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：中国天津市
在 住 地：京都市在住



旅館業は日本伝統的な宿泊業の一形態であると言われている。今の時代の旅館は減少を続けていると指摘されていて、日本の伝統産業を代表している京都でも例外ではない。外国人観光客に愛されている京都では旅館業の現状はどのようになっているのかについては京旅館と女将の授業を受けて、女将さんの話を聞いて、実際に旅館まで見学しに行ってきた疑問を持ちながらいろいろ調べた上にまとめてみた。また京旅館の将来について、これからどうすることが望ましいかを私なりに考えてみた。

まず、京旅館の現状について。授業では一回だけ若女将の話聞く機会があった。30歳前後の若女将さんが非常に元気で明るくて話し方が面白い人で、普通の旅館の女将さんや若女将さんのイメージとは全く違って、印象に残った。若女将さんの話によると、所属の旅館では一番忙しい時期は年末年始の期間、他の時期はそれほど忙しくなく、一番暇な時期は2月。旅館に泊まるお客様の日本人と外国人観光客数の比率は半分半分くらい。初めて泊まりに来てくれるお客様と常連さんの数も半分半分。その中外国人観光客数の第一位は韓国、二番目はアメリカ、三番目は中国。修学旅行生に歓迎している旅館でもあり、毎年修学旅行の季節になっていたら全国各地からの修学旅行生がたくさん泊まりに来てくれる。お客様と旅館の人は交流する機会が多く、長年連絡も続いている。旅館はホテルと違って、和式の構造及び設備を主とする施設である。お客様が旅館に入って、最初は女将もしくは若女将が迎えに来てくれて、それからずっと仲居さんが面倒を見てくれる。朝、夜は和食のご飯が付いている。こう見ると、特に問題ないが、なぜ旅館数が減少している、実際に現代社会が旅館に求めているのはなんだろう。

また、京旅館の問題点について。京旅館では日本の伝統産業を味わうことができる。茶道、華道、和室の客室、和食など。一回だけは非常にいい体験かもしれないが、遠くから来てくれた外国人観光客にとっては和室と和食は慣れかもしれないし、旅館の中で食事をするよりは街を観光しながらインスタ映えるもの、人気のあるもの、自分の味に合うものを選んだ方が楽だと思っている。そちらの方が安いし、観光もできるし、時間ももっと合理的に分配できる。実際に私自身は和食あまり好きではない方で、床に寝ても大丈夫だが、やはり旅

行しに行くなら 1 日いろいろな観光名所を回ってきて全身疲れが溜まっている状態でベッドの方が気持ち的にいいと思う。たくさんの外国人観光客も和室の寝具に慣れていないのではないかと思う。さらに、基本旅館はホテルより一泊の料金が安い。お金持ちはまた別として、普通の観光客は一泊何万円の旅館は現実的には難しい。この点については外国人観光客だけでなく、私みたいな大学生にとってはもっといけなくなるのだ。実際に日本人の友達と旅行しに行く計画を立てるときに、日本人の友達が旅館の温泉がいいと言ったが、結局料金や和食などの原因で諦めた。あと温泉については、確かに温泉が好きな人が非常に多いと思うが、皆で同じ浴場の場合は恥ずかしいと感じている外国人観光客もいる。私もそうである。温泉自体は嫌いではないが、多くの人と一緒に入るのは少し恥ずかしく感じる。それは中国の南の文化であり、個人の性格でもある。周りのフランス人の女の子もそういう点には非常に恥ずかしく感じている人だ。またいろいろな問題点があると思うが、私が自らの体験で見えてきた問題点をあげてみた。

最後に、京旅館の将来について、これからどうすることが望ましいかを私なりに考えてまとめてみた。京旅館は京都もしくは日本の伝統的な文化を味わえる存在である。日本にとっても、観光客にとっても非常に重要な、欠かせない存在だと思う。旅館の中の和の精神を保留し、現代的のものと融合し、古い伝統のあり、現代社会の便利さもある、柔軟性のある存在が今の時代の人々が望ましい形なのではないかと思う。例えば、若者に向けて、一泊の料金を下げて、和の精神をそのままではなく、もっと現代的な文化と融合して消費者の好きな形に変わるとか、全部和室ではなく洋室も用意しておくとか、温泉については好きな人が大浴場を利用すればいい。慣れていない人は個別シャワー室で風呂に入れる。朝、夜についてくる和食のご飯については、選択できるようになった方がもっといいと思う。こうなると、お客様も気楽に選択できるし、満足しやすい。現状では、ホテルの方が人気で、便利、安い。どこかに旅行に行く時はやはり皆はホテルの方を選ぶ。旅館は不景気で減少を続けている。こういう現状を変えるために、伝統的な文化と現代的な便利さと融合する柔軟な考え方が重要だと思う。これが一番期待されている将来の京旅館のあり方ではないかと思う。

<疫病時代の読書—カレル・チャペックを読む>

氏 名：Tomsu Adam（トムシュー・アダム）

任 命 年 度：令和元年度任命

出 身 地：チェコ共和国

在 住 地：チェコ共和国在住



—全世界に新しい感染症が流行っています。感染後、症状が出るまでの潜伏期間があるため、自分が感染していることに気づかないうちに、感染が次から次へと広がっていく危険性があります。しかし、この感染症は、皆を同等に扱うものではなく、若い世代よりも高齢者の命を奪っている病気です。各国の政府は、不況や失業を防ぎ、経済成長を維持するための政策を取るか、それとも不況が深刻化するとしても感染をできるだけ抑えるための措置を取るか、という選択をしなければならない状況にあります。

以上が新型コロナウイルス感染症のパンデミックの現状を語る文章と思われそうですが、実は、1937年にチェコの作家カレル・チャペック (Karel Čapek) が発表した『白い病』という戯曲の設定です。2020年にその新訳が出版されたことをきっかけに、この場をお借りして『白い病』をご紹介したいと思います。



カレル・チャペック（1936年か）
<https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/b/bd/Karel-capek.jpg>

1890年生まれのカレル・チャペックは、大戦間のチェコスロヴァキアの最も著名な作家とジャーナリストであると言っても過言ではありません。スペイン風邪のパンデミックをくぐり抜けたという背景もあり、『白い病』の疫病の描写がリアルに感じますが、チャペックがこの作品で何よりも表現しているのは、ファシズムと新たな戦争が起こる可能性に対する不安、そして平和への強い願いです。戯曲のあらすじは、次のようになります。

世界に中国発の「白い病」が流行っています。肌に白い斑点ができ、体が悪臭を放ちながら腐敗して死に至る病気ですが、50代以上の人が発病することがその特徴の一つです。戦争前夜のある独裁国に、町医者ガレーン博士が治療法を開発しますが、お金持ちを拒否して貧しい患者たちにしか治療を施さないのです。ガレーン博士は、「二度と戦争を起こしてほしくない」ということを要求し、兵器の廃棄や世界各

国が平和条約を締結することを治療法の公開の条件とする、という。戯曲は、ヒトラーをモデルとした、国の統治者である元帥を登場させているのですが、彼は、大衆を熱狂させ、他国への侵略に支持を得ています。しかし、元帥自身が胸に白い斑点を発見するとしたら、どう反応するのでしょうか。その答えがお気になる方は、『白い病』を読んでみてはいかがでしょうか。今回の新訳は、既に多くのチェコの文学作品を訳している、東京大学の阿部賢一先生が発表しました。『白い病』の翻訳のきっかけとなったのは、コロナ過だったとのこと。『白い病』は、多くのチャペックの作品と同様に、やや単純な、白黒の世界を描いている戯曲であり、作者の無邪気なほどの理想主義が本作品の短所と評価されることもあります。しかし、それは、チャペックが提示しているあらゆる問題を際立たせている要素でもあり、コロナ過の今に改めて読んでみると、色あせることなく新鮮に感じるところが多いことに気づきます。世代の対立という普遍的なテーマも取り上げられています。コロナの場合も、若者が感染しても症状が出ない場合がほとんどのようで、感染予防に抵抗がある人が少なくありません。また、日本では、改憲が以前から話題になっており、更にごく最近の発展として、核兵器禁止条約が発効され、被爆国である日本がそれに参加しないこととなりました。オリンピック開催をめぐる、議論が続いています。GoTo キャンペーンに関しても、賛否両論がありました。そして、ワクチンの配布の問題も、注目を集めています。『白い病』のガレーン博士は、治療法を貧しい人々にしか施していなかったのですが、新型コロナウイルスワクチンは、まず富裕な先進国が買い取ったことになり、比較的「貧しい」グローバルサウスの国々にワクチン接種が遅くなることを、世界保健機関が強く批判しています。国際情勢も緊迫しており、大衆迎合主義の政治家も世界中に現れています。人間は、どう生きるべきか。人間らしくならないために、どうすればいいのか。コロナ過の時にこそ、問い直すべき問題です。『白い病』は、その解決策を提示していないのですが、ぜひ読んでみていただきたい作品です。



『白い病』岩波書店、2020年
<https://www.iwanami.co.jp/images/book/515909.jpg>

<変化の中に感じた小確幸>

氏 名：張 逸然（チョウ イツゼン）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：中国遼寧省
在 住 地：兵庫県西脇市在住



2020年3月から私は兵庫の西脇市で生活を始めました。初めて西脇市に来た時は2019年でした。三年間住んでいた京都と違って、都市感が少ない気がします。周囲は山に囲まれて自然が豊かなところですよ。調べてみると経緯度で日本列島の中心点に位置していますから、西脇は「日本のへそ」としてアピールしています。そういえば、西脇市民は日々日本の中心に立つ喜びを感じているかもしれないです。

2020年の4月から、西脇市のある会社に勤め始めました。職場は今の住所から徒歩で10分以内の所にあります。毎日歩いて出勤しています。自転車を持っていますが、通勤する時に周囲の景色をゆっくり楽しむことができますから、今でもずっと毎日歩いています。交通手段を利用しないため、今の時期なら逆に安心感があります。

2020年は沢山の出来事がありました。私自身だけではなく、世界でも大きく変わりました。その変化は今でも続いています。個人としては、2020年、学生から社会人になりました。身分の変換ができました。身分の変化とともに、心境にも変化がありました。学生の時には、自分のことばかりを考える場合が多かったようです。社会人になると仕事をするとき、自分のことを考えるばかりでしたら、物事がうまく進まなくなります。他人との協力の大事さがわかりました。また、知識を覚えるだけでは役に立たないです。実践しないと意味がありません。なぜなら、理論と実践は一致しない時が多いです。経験すればするほど仕事が上手にできます。ですから、積極的に活動することは欠かせないです。

仕事面以外に、生活面にも変化があります。学校の寮に住んでいた時と違って、今は完全に一人暮らしするようになりました。1人でいる時間が増えました。最初は少し不慣れでしたが、最近は徐々に落ち着いてきました。平凡な毎日を過ごしていますが、それも一種の幸せだと思います。一旦、当たり前前はそんなに当たり前ではなくなった時に、環境に速やかに慣れる能力がなければ、今の時代には追いつかないかもしれません。変化があつてこそ、人に成長させられます。

あっという間に2021年に入りました。正直に言うと実感はまだ湧いていな

いです。2020年の変化が想像より多かったです。2021年の私にも引き続き影響を与えています。その影響は人々に様々な変化を持ってきました。いい変化にしても、よくない変化にしても、私達は2020年を乗り越えました。2021年には落ち込んでも、がっかりしても、日常にあふれる「小確幸」を感じることさえできれば、最後まで乗り切れると思います。

<私の故郷 青島>

氏 名:李 侑(リ ショウ)
任命年度:令和元年度任命
出身地:山東省青島市
居住地:京都市在住



私の故郷は青島です。青島は山東半島の南海岸の膠州湾の東側に小さく突き出た半島の先端に位置します。北東は煙台市、西は濰坊市、南西は日照市とそれぞれ接します。市街は比較的平坦で、すぐ側に丘が並んでいます。今回は青島のおすすめの観光スポットを紹介します。

最初にご紹介する青島のおすすめ観光スポットは青島ビール博物館です。青島ビールは中国で最も古いビールの一つであり、1903年にドイツのビール醸造技術を用いて生産が始まりました。「嶗山（ラオシャン）」という青島市内にある道教の聖地が、ビール製造で使用する水の水源地として適していたのです。「青島ビール博物館」は、青島ビール創業の地にある博物館であり、1903年に建てられた煉瓦造りの工場内で、青島ビールの歴史や生産工程を見学できます。第一次世界大戦後から第二次世界大戦終結までは、日本の大日本麦酒（アサヒビールやサッポロビールの前身）が青島ビールを買収して経営しており、博物館では日本とのつながりも学ぶことができます。

続いてご紹介する青島のおすすめ観光スポットは「栈橋」です。1892年に造られた青島初の港である「栈橋」は青島のシンボルです。青島湾内にあります。長さは440メートルで、栈橋の先端には二階建ての「回瀾閣（かいらんかく）」という八角亭があり、夏だけではなく冬でも多くの人でにぎわっています。

回瀾閣とは別の青島のシンボルが、「五四広場」にある「5月の風」という赤いオブジェです。夜に行くとライトアップが美しいです。こちらも多くの人で賑わっています。五四広場の周りの海面は北京オリンピックのヨットレースの競技場として使われた場所であったり、青島ビール祭りの際にはこの広場でイベントが開催されたりするなど、五四広場は青島にとって重要な広場となっています。五四広場の東部は青島の新しい商業圏で、高層ビルが立ち並んでいます。北側には青島市政府があります。五四広場周辺のライトアップも中華圏らしく煌びやかです。

最後にご紹介する青島のおすすめ観光スポットは八大関景区です。「八大関景区」は、1930年代に青島に住んでいた外交官や資本家が建てた別荘が集まっている地区です。中国では「世界建築博物館」と称されており、様々な建物

を見ることができます。そんな八大関景区を代表する建物は「花石楼」という名前で、ロシアの亡命貴族がロシア人設計士に建てさせたものです。花崗岩を使った優美な建物なので、「花石楼」と呼ばれています。後に、国民党総統・蒋介石の別荘として使われました。八大関景区では、花石楼以外にも「公主楼」や「元帥楼」といったオシャレな建物が多く、散策しているだけでも楽しいです。

青島には様々な魅力があり、旅のしがいがある街です。機会があれば、ぜひ遊びに来てください。

<京都は人情町やで>

氏 名：呂 勇（ロ ユウ）
任 命 年 度：令和元年度任命
出 身 地：中国遼寧省
在 住 地：京都市在住



2020年は世界中の人々がコロナに対する不安を持っていますが、頑張っ
て日々を過ごしています。

2020年9月24日に学生時代にお世話になったバイト先に誘っていただき、琵琶湖バーベキューに参加しました。もう社会人になった私は誘われて、とても感動しました。学生時代のバイト先は四条高倉にある京都の老舗居酒屋でした。最初は面接を受けた時、私は中国人だと知られた後、オーナーは笑いながら、うちは外国人の学生は大歓迎よって言われました。その後、留学時代はずっとその店でアルバイトしておりました。仕事では私に厳しく要求してく

ださいましたが、仕事が終わった時、「最近勉強と生活はどうか、何かあったら教えてね。」等と言われて、心細かった留学生の私はだんだん心強くなりました。特に印象に残ったのは、まかないを食べた時、日本人のスタッフたちは中国の文化に興味があり、私に聞いてきたのです。私は嬉しく中国の文化を紹介し、みんな好奇心を持って聴いてくれた。



いよいよバーベキューの日になりました。私はワクワクして早起きしました。朝10時に集合し、11時半に琵琶湖につきました。着いた後、ほかの2店舗も一緒にバーベキューするのが分かりました。この機会を通じて、お互いに自己紹介し、親睦を深めました。オーストラリア出身のポールさんとマレーシア出身のマリエさんといろいろしゃべりました。国境なく楽しい場でした。

人が集まったら、バーベキューが始まりました。正直に言いますと、これは日本に来た後、はじめてのバーベキューでした。火をつけたら、みんな肉と野菜、海鮮など炭台にのせました。焼きものをしながら、自分の好きなお酒を自分で作ったり、他人に作ったりして、親睦を更に深めました。



4時になりました。みんな集合写真を撮り、バーベキューを終えました。楽しかったです。今回の活動に通じまして、京都は「つながり」を重視するのが分かりました。人と人のつながり、人と地域のつながり、京都と世界のつながり等しみじみと感じました。人情にあふれる古都京都がよりよく好きになりました。



これからも京都府名誉友好大使として、いろいろな交流活動に参加しようと思います。中日の親睦を深めるだけでなく、世界と京都のつながりを深めるよう、微力ながら、頑張りたいと思います。新型コロナ早く収束しますよう祈っております。晴れる日を待っています。

<分散型金融—Decentralized Finance (DeFi) >



氏 名：賈 思雨（カ シウ）
任 命 年 度：平成元年度任命
出 身 地：中国遼寧省
在 住 地：神奈川県在住

第一章 はじめに

本稿は、分散型金融 (Defi) のメリットとデメリットを検討したうえで、Defi の概念と特徴から Defi を紹介する。第三章では、今までの金融システムと分散型金融のシステムを比較して、Defi の真の価値を検討する。

第二章 DeFi の概要と具体的な応用

DeFi は、分散型ファイナンスの略で、オープンファイナンスとも呼ばれる。これは実際には、オープンな金融システムを構築するために使用される分散型プロトコルを指す。これは、世界中の誰もがいつでもどこでも金融活動を行えるようにすることを目的としている。

既存の金融システムでは、金融サービスは、それが最も基本的な預け入れと引き出し、ローンまたはデリバティブ取引であるかどうかにかかわらず、主に中央システムによって制御および規制されている。DeFi は、分散型オープンソース契約を通じて、透明性が高く、アクセスしやすく、包括的なピアツーピア金融システムを確立し、信頼リスクを最小限に抑え、参加者がより簡単かつ便利に資金を調達できるようにしたいとされている。

従来の集中型金融システムと比較して、これらの DeFi プラットフォームには 3 つの大きな利点がある。

- a 金融サービスを利用する際に仲介機関がいない。
- b アカウントを持ったら、誰でも金融サービスを利用できる。
- c すべての契約はオープンソースである。

DeFi は、通貨発行、通貨取引、貸付、資産取引、投資および資金調達などを含む比較的広い概念である。現在 Defi の市場は 3 つの種類のサービスがあり、貸付、分散型取引所 (DEX)、デリバティブ (オプション先物市場) である。

第三章 Defi の価値

ブロックチェーンに基づいて開発された Defi は、今までの金融システムと本質的な相違点がある。その相違点を説明するために、今までの金融システムの問題点から検討していく。

今までの中央集権型金融システムが分散型金融に変わる意味は重大だと考えている。今まで我々は金融仲介機関を信用しなければならない。銀行や保険会社に預金を預けることはすなわち、銀行が倒産しないと信用している。しかし、その信用の背後は何の根拠があるか。政府がその会社の背後にいない限り、我々はその会社を完全に信用することはできない。例えば、政府が会社を支持としても、政府が潰れたこともあり得る。その時、政府が発行した法定通貨ですら信用を失う可能性がある。しかし、現在我々が一番信頼する米ドルはどうだろうか。米国の財務赤字は毎年増加しており、米国政府と米国民衆はその債務を返済できるかどうかについて誰でも答えられないだろう。米 FRB が金融政策によりドルを追加供給できるため、理論的に債務不履行の可能性はない。しかし、債務を返済するために、ドルが供給過多になれば、ドルの絶対的価値は下がるだろう。そうなれば、ドルの「世界通貨」の地位を維持できないだろう。もしドルの価値がどんどん下がるなら、我々がドルに資金を委ねる意味もなくなる。これはドルだけではなく、すべての法定通貨が迎える未来である。その点、総発行量が一定の暗号通貨は金と似ているように、価値を維持できると考えられている。さらに、暗号通貨は金と違い、現実のものではなく、保管、移転などが簡単にできるので、通貨としての利便性は高いと言えるだろう。

暗号通貨そのものはブロックチェーン技術の応用の第一歩だが、Defi はブロックチェーン技術の応用の第二歩である。暗号通貨はただ価値があるものだが、それを金融サービスとして提供することはブロックチェーン技術の真の価値を引き出す最初の一步である。

我々が今まで銀行からお金を借りたいなら、まず自ら銀行に行かなければならない。その後、銀行に様々な証明材料を提出しなければならない。その材料は我々の債務返済能力を示している。そして、我々は銀行のシステムに格付けされる。格付けに応じて、我々は銀行から一定の額のお金を借りることができる。問題は、その格付けは本当に正しいのかという点だ。その格付けは間違える可能性もあるので、銀行に対する債務不履行が発生している。その債務不履行が多ければ多いほど、銀行が破綻する可能性も高くなる。債務者は必ずしも債務を返済できるとは限らない。また、審査の時点で 100 万価値があった担保の不動産が特手の時点で 100 万円で売れるとは限らない。こういったリスクが銀行にあるため、金融機関では債務不履行が発生する。原因は、銀行は債務人の状況と資産の価値の変動をリアルタイムで把握できないことであろう。言い換えれば、仮に貸出人はリアルタイムで債務人の状況と資産価値の変動を把握できれば、返済できなくなる前に瞬時に資産の試算が可能であれば、債務不履行が理論的に避けやすくなる。Defi は上記の機能をアルゴリズムで実現する結果である。

その他にも、Defi の平等性が徹底されているという点が挙げられる。従来の銀行の審査モデルは社会地位が高い人に高い格付けをして、社会地位が低い人に低い格付けをする。当然ながら、社会地位が高い人の債務不履行率が低いということである。しかし、この原因は、各国の社会状況、異なる時期の経済状況など様々な要素に影響されている。債務不履行に対して、一番直接かつ有効

な対策はいつでも換金できる資産が差し押さえていることである。仮にこの原則を徹底できれば、社会地位などの要素に影響せず、人々はお金を借りることができる。今まで、銀行が債務不履行をどう対応するか。会社または個人の資産を整理して、強制競売をして、そのお金を一部の債務を返済する。ほかの部分は、返済できないままにする。または、返済できない債権とほかの金融資産をポートフォリオに組み合わせる。リスクを分散するため、そのポートフォリオを証券化して、投資者を募集する。ゆえに、その返済できない債務は我々投資者が負担されている。

第四章 Defi の問題点

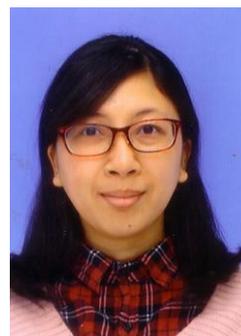
手数料が高い以外、アルゴリズムのバグを利用するハッキング問題もある。Uniswap はあるハッキング攻撃で約 220,000 米ドル相当の 1,278 ETH を失った。さらに、0x3195c3 と 0x17559a で始まる 2 人が約 18.37imBTC の低価格で全部の資産を取得した。監査の結果から鑑み、攻撃者は Uniswap の脆弱性を利用して、元のトランザクションと同様の「偽のトランザクション（プール）」を作った。そこから、攻撃者は Uniswap を操作して、元の取引プールの資産を非常に安い価格で取得することができる。これにより、攻撃者は実際の市場価値よりはるかに低い価格で暗号通貨を取得できる。

過去数カ月を見ても、ユーザーが DeFi プロトコルのバグを利用して莫大な利益を獲得することは初めてではない。今年の 2 月、bZx プロトコルは 2 回の攻撃を受け、2 回の攻撃の間の時間はわずか数日でした。2 つの攻撃は完全に同じではないが、やり方は多少似ている。ユーザーは bZx から大量の ETH「フラッシュローン」を取得した。フラッシュローンとは、同じトランザクションで貸し出された資金を借りたり返還したりするユーザーを指す。ETH は、別の ETH ベースの資産を購入するために使用される。ユーザーは、ETH ベース資産の他プロトコルの価格基準を変更するように操作し、それによって、間違った価格予測を登録することによって利益を得ることができる。これらの攻撃により、bZx ユーザーはそれぞれ 300,000 米ドルと 650,000 米ドルを失い、合計で 100 万米ドル近くの損失を被った。以上の点から、ハッキングされる可能性が依然に高いと言える。

第五章 おわりに

中国の DCEP（デジタル人民元）の計画の推進により、EU、日本等の国もデジタル法定通貨のプロジェクトを推進している。デジタル通貨は現行の紙幣と比べて、破損しにくい、管理しやすい、コスト低い、流通しやすい等メリットがある。将来的に、すべての紙幣からデジタル通貨に変わるだろう。そういう状況を鑑み、伝統的な金融サービスのデメリットがますます多くなる。Defi のような分散型金融は必ず将来の金融サービスの中に重要な一部になる。

<日本とインドネシアの学校を比べて>



氏名: Bena Noviandari Dwi Rahayu
(ベナ ノビアンダリ デュイ ラハユ)

任命年度: 令和元年度任命

出身地: インドネシア

居住地: ジャカルタ市在住

私は令和元年度に名誉友好大使として任命された。その後、様々な活動に参加させていただいた。一番多いのは学校の生徒たちと文化交流をしたこと。母国のインドネシアの文化を紹介しながら、私も日本の学校の状況を直接見た。数がまだ少ないが、京都市の中にある学校から京都府の遠いところにある学校まで見たことがある。様々な交流を体験した。本当にありがたいことである。

日本の学校を見て、つい自分の国の学校と比べることになった。日本の学校の建物は立派できれいである。校庭が大きくて安全そうに見える。生徒たちが安心して校庭に遊びことができる。それを見たら、ちょっと羨ましい。雨が降ったら、みんなが教育で安心して、勉強することができる。インドネシアでは、都会にある学校の建物はほとんど立派ですが、田舎へ行けば学校の建物と言えないぐらいの学校もある。雨が降ったら、時々漏れ屋根や洪水などが起こるから、勉強できない。校庭でも砂利が多くて、安心して遊びすることができない。

日本の学校の図書館も立派である。様々な本のジャンルがあって、生徒たちが好きな本を借りられる。それを見たら、本当に羨ましい。なぜかという、インドネシアでは本が高いである。そういう図書館があれば、良かったと思っている。しかし、残念ながらインドネシアではそうではない。良い学校で図書館がありますが、ほとんどの学校で図書館があまりなかった。あっても、本の状況があまりよくない。諸読は贅沢とずっと思っている。

しかし、日本の学校を見学するとき（文化交流しながら）、一番羨ましいことは学校給食である。インドネシアではそういうことがないです。宇治市立笠取第二小学校で文化交流したとき、学校給食を体験したことがある。正直、本当に楽しかった。食事の前に担当の生徒たちが机をアレンジして、食べ物を配った。生徒たちは先生がみんな一緒に同じ食べ物と食べて、話しながら食事した。本当にいい経験である。

その時、小学校の時代の経験を思い出した。私の学校では学校給食がなかった。昼ご飯を食べたいならお弁当を持つか、学校でパンを買うしかない。ある

時、お金を持つことも忘れ、お弁当も持っていなかった。結局ご飯を食べられなかった。勉強したとき、お腹が空いて集中出来なかった。もし学校給食があれば、そういう事件がなかったと思っている。

その上、日本の学校では生徒たちが教室や廊下などの掃除もします。みんなが協力して、学校を使った後に自分できれいにする。それを目撃するのは非常に興味深かった。生徒たちは幼いころから自分の責任について学んでいる。インドネシアの学校ではそういう活動はあまりなかった。それは残念だと思う。

それらは日本の学校で文化交流をした多く数の中から、数少ない記憶で一番印象に残っていることです。まだいっぱいたくさんいい経験がある。そして、その経験から、自分の頭の中に考えていることがあります。将来、インドネシアでは日本の学校みたいに、そういう教育活動が可能でしょうか。もし可能であれば、何年がかかるでしょう？そして、何が準備に必要であるかも考えないといけないと思っている。正直、日本の学校みたいになるまではまだ長い時間かかると思っている。しかし、その時を来ることを楽しみにしている。

＜中国新疆について＞

氏 名：張 順哲（チョウ ジュンテツ）
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：中国新疆ウイグル自治区
在 住 地：東京都在住



日本で暮らし始めて5年経ち、ここの生活に馴染んできました。性格が定着する年齢で留学したからかもしれませんが、出身地の人より日本人の考え方が身についたと思います。2021年に入り、新疆に久しぶりに帰省しました。静かな冬に、再びこの「世界の海に遠い」自治区を巡り、友達に会いながら親に親孝行、いろいろな視点から新たに感じるがありました。

新疆は、歴史上は西域と呼ばれ、西暦220年から中国民族大融合によりたくさんの民族が定住しました。1995年新疆ウイグル自治区が正式に成立し、その後、テロ問題に引き出された複数の暴力事件が発生しました。安心な暮らしを確保するために、近年政府が様々に動き出しています。この十何年の新疆はテロ事件がゼロになり、コロナ禍では週一回スピードPCR検査を行い、世界で一番安全な社会だと言っても過言ではありません。しかし、安保に過大な財力をつぎ込んだせいか、経済の発展が中国他の省分より大幅に遅くなっています。石油・ガスなどの資源は豊富で中東に近い、古来貿易の場所でもあるので、現在の経済は資源主導になり、国家政府が戦略的な貿易を重要視しています。

中国面積の六分の一である新疆は、人々の心も広いと思います。外食をする際にはよく合席で食べます。みんなは、知らない人でも話しかけやすく、留学生の私は経歴を雑談しながら京都のことも慣れるほど紹介してきました。京都の住みやすさや、ラーメンの違い、都市計画など、自分の生活を話しているとみんな興味深い顔をしました。京都より4000km以上離れた町にも京都の魅力を感じさせることと、去年京都府の中学校で新疆を紹介したことで、私はかけ橋として役に立っている実感がわいてきました。

ちなみに、父が働いている企業は、古代で「シルクロード」と呼ばれる主要な道路にあります。砂漠に近いので昔、駱駝は主要な交通ツールとして使われ、貿易を行っていました。写真にある駱駝のスカulptチャーが今の季節で非常に違和感がありますが、夏のときは旅人に評価されています。



图：本人摄影

<私の故郷—漢中市>

氏 名：余 丹妮（ヨ タンニ）
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：中国陝西省漢中市
在 住 地：京都市在住



こんにちは！私は中国出身の余です。今回は私の故郷を紹介させていただきます。

私の生まれ育ちは、中国陝西省の漢中市です。漢中市は中国の真ん中よりやや南にあって、四川省との境界に近く、雨の多いねっとりとした気候の町です。乾燥した陝西省にあるのに、気候をはじめ、食文化、方言は四川省そのものです。市内には漢水が流れ、四川省と境界を接する山地は自然豊かでパンダやトキなど世界的にも希少な生物が生息しています。

漢中市には漢と三国時代の文化が色濃く残っています。紀元前200年代、項羽率いる楚軍と対立した劉邦がこの地に封ぜられた時のことです。劉邦には、もともと項羽から秦の都だった咸陽を含めた関中地方を与えられる約束でしたが、これを反故にされ、漢中を含めた巴蜀地方を与えられたのであります。これは「左遷」の語源にもなっています。劉邦はこの地を天下統一への足がかりとし、やがて項羽を破り天下を手中にすると、国名を「漢」と決めました。現在では中国人の使用する文字、中華民族の名称にもこの「漢」の文字は用いられています。

三国志に関する興味深い物語のほかに、漢中市は独特の美しい自然があり、中国西北地域で初めて、ユネスコより「世界人与自然生物圏」を授与されました。また、漢中市には中国初の野外ジャイアントパンダ繁殖研究拠点の仏坪自然保護区、四大国宝と称されるトキ、ジャイアントパンダ、ゴールデンモンキー（キンシコウ）、ターキンが生息する長青自然保護区、水上庭園の南湖風景區などがあり、風光明媚の地です。三国志にまつわる歴史的遺産や美しい景色が広がる漢中市は、歴史好きにも自然が好きな人にもぴったりの観光地です。ここでの有名な観光スポットを紹介していきます。

まずは漢中博物館です。漢中博物館は、1958年に設立された漢中市の総合歴史博物館であり、多くの展示があることで知られています。例えば、曹操（三国志）の記した石刻。文人としても才能を発揮した曹操の一面を知ることができます。他にも、宗教関係の作品や漢中の近代化とゆかりのある文物が展示されています。

漢中博物館のすぐ近くにある古漢台は、漢の皇帝であった劉邦の宮廷遺跡です。高さは、1mほどで南向きに建てられ、台は三つに分かれています。建物は一般的な秦漢宮廷方式です。

また、中国の國務院が国家重点文物とした「褒斜道石門と摩崖石刻」も人気

の観光スポットです。「褒斜道」は山をくり抜いて造られた道。三国時代に蜀へ向かう人の多くが、この道を通りました。

そして、「石門」と呼ばれる漢の時代に開通したトンネル。人工トンネルとしては、世界最古のトンネルです。中国のドラマや映画などで、漢中の場面になると必ずといっていいほど映し出されます。また、ダム湖の崖の周囲に栈道が造られており、湖の風景を眺めながら歩くことができます。高いところを歩くので、スリルを味わえます。同じような道を劉邦や諸葛孔明も通ったと思うと、ロマンを感じます。三国志の漢中攻防戦が描かれた大きな絵があります。魏の夏侯淵など勇ましい武将の姿を見て物語を理解すると、より観光を楽しめます。そして、劉邦や韓信、諸葛公明の大きな像も見えますので、ぜひ訪れてほしいです。中国古代史のファンには、たまらない観光スポットです。

漢中市は秦嶺山脈や巴山に囲まれ、漢水という川が流れる盆地であり、気候が温暖で湿潤であるため、農業が盛んで、豊かな地域です。そんな漢中の魅力を感じることができるのが、「百万ムーの菜の花」と呼ばれる菜の花畑。ムーは中国伝統的な面積の単位で、6000平方尺にあたります。百万ムーはかなり広いです。一面黄色に広がる様子が見られるのは、4月ごろです。

また、漢中の名物グルメといえば、熱米皮(ルーミーピー)です。お米で作った生地をラー油で味付けしたもので、柔らかくてやみつきです。漢中市は四川省と近いので、辛口の食べ物が数多くあります。

毎年の秋になったら、みかんが収穫されます。自然の恵みをたっぷり受け、皮が薄く、味が濃くて甘みの強いみかんです。生産量が多いので、毎年多くの国に輸出されています。

私の故郷漢中市は、美しく歴史が長い町ですので、もし皆さんが中国に来た際には、よければ是非漢中市へ行ってみてください。

<写真家が捉えた香港の空間と住宅>

氏 名：林 穎汶（ラム ウィンマン）
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：香港
在 住 地：大阪市在住



香港を訪れたら、どの世代でも特別な思い出が作れると思います。夜の街に輝くネオンサイン、人々を囲む超高層ビル群、ヴィクトリア・ピークで見る110万ドルの夜景……様々な景色がダイナミックな香港を構成する。年上世代でしたら、「悪の巣窟」と呼ばれる九龍城砦や、啓徳空港に向かってビルの上に低く飛ぶ飛行機などを懐かしく思うでしょう。1950年代から、香港は既に活気あふれる街として、何藩（HO Fan, 1931-2016）などの写真家の注目を集めています。そのカメラは当時、庶民たちの生活と、西洋と東洋の文化が混在する香港の街並みを鮮明に捉えました。



写真4：「Market Promenade 開門七件事」
何藩撮影。

近年、ハリウッド映画やドラマのロケ地として知られる超密集アパート「モンスターマンシ



写真3：
彩虹邨。Alex Jiang 撮影。

ョン（海山樓）」やカラフルでノスタルジックな「レインボー団地（彩虹邨）」など、植民地時代に建設された香港の旧型団地やマンションに対し、地元から海外の方まで、様々な人たちの関心が高まっています。例えば、若手写真家が撮った彩虹邨の写真は、2019年にナショナルジオグラフィックが主催したフォトコンテストで準優勝を受賞しました。パステルカラーの団地とヤシの木が、住民の憩いの場を彩り豊かな場所にします。

また、マンション群が林立する香港の姿を捉え、巨大都市での住宅問題を提起する人もいます。香港在住歴10年、ドイツ出身の写真家マイケル・ウルフはまさにその一人です。ウルフは香港の超高層マンションを題材にし、『アーキテクチュラル・デンシティ』（2012）という写真集を製作しました。彼の写真には空や地面などが写っておらず、ただ超高層ビルだけが無限に伸びていき、まるで逃げ場のないような過密状態が表現されています。

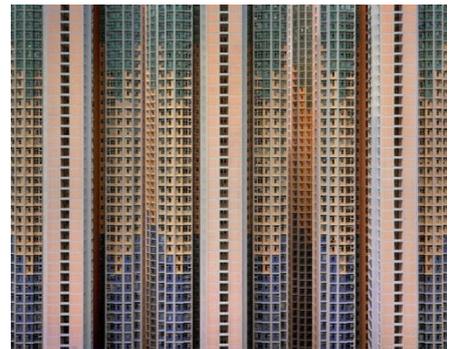


写真4：香港の超密集住宅。
マイケル・ウルフ撮影。

写真家たちが撮影した香港の空間と住宅は、時に可愛らしく、時に恐ろしく、多様な姿で現れます。彼らは鋭い視点、感性与美的感覚で、日常の風景や街並みを観察します。もし彼らが京都を訪れたら、どのような作品を仕上げるのでしょうか？

参考サイト

Fan Ho Photography
<https://fanho-forgetmenot.com/>

Rainbow Village, National Geographic
<https://www.nationalgeographic.com/photography/photo-of-the-day/2017/12/hong-kong-choi-hung-apartments/>

Architecture of Density
<https://www.lensculture.com/articles/michael-wolf-architecture-of-density>

<トライバルタトゥーと入場禁止>

氏 名：康 皓雨（コウ コウウ）
 任 命 度：令和2年度任命
 出 身 地：中国雲南省
 在 住 地：中国在住

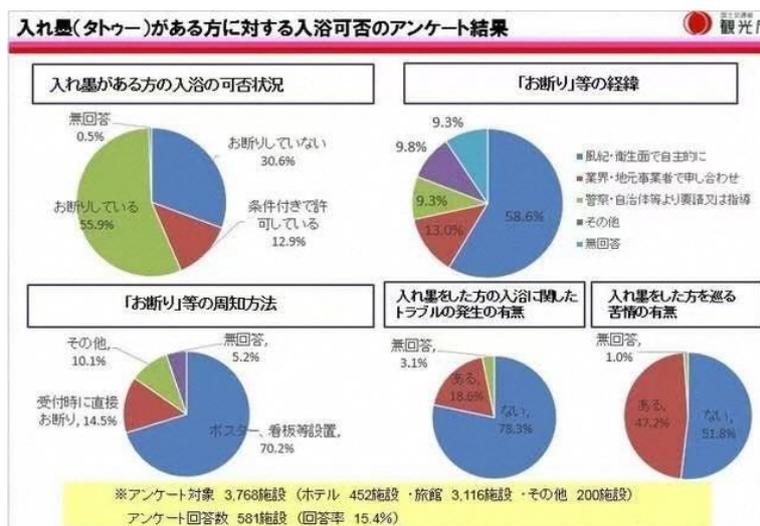


はじめに

温泉、海水浴場、プール、全てではないが、タトゥーや刺青を持つ方たちにとっては縁のない場所である。

私もその一人である。2017年に来日してから、一度も温泉に行ったことがない。私と同じ体験をしている方たちも多いだと思います。私は「タトゥーと刺青のある方は入場・利用禁止」と書いている看板を見たことがあるので利用しようと思ったこともないですが、それを知らず、温泉、プールに行った外国人の方々は恐らく寂しい思いをした。実は、2年前、大学に来た女性教員研修生は家族を連れてプールに行こうとしたが、入る前に断われ、諦めようとしたが、プールを楽しみにしている子どもの気持ちも大事にしたい、結局彼女一人外で待つことになった。

日本観光庁はタトゥーのある方に対する入浴可否について調べて結果(2019)は下記図で表したように、日本浴場の半分以上タトゥーを断っていると分かった。

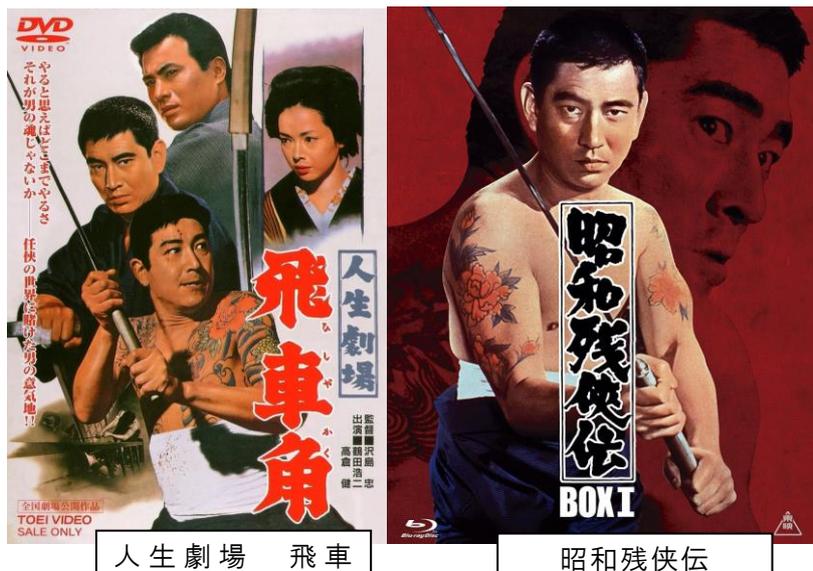


なぜタトゥー・刺青はNG？

ヤクザ映画などの映像表現を通じて、ヤクザ＝彫り物という固定概念があると思います。

1960～70年代には、銭湯で加賀鳶や職人さんら普通の人たちがイレズミを入れているのを、頻繁に目にする環境にあった。後の世代は銭湯に行かなくなり、映像のなかでしかイレズミを見なくなった。

そのため、刺青やタトゥーはまだアウトローなイメージが残っている。



トライバルタトゥーも断られるのは果たして公平でしょうか？

トライバルタトゥーとは、タトゥーのスタイルのひとつです。黒を基調とした直線・曲線を組み合わせたお洒落な模様が特徴的なデザインになります。

トライバル (Tribal) とは、英語で「部族の～」を意味する形容詞です。その言葉通り、元々はポリネシア地域などに存在する部族間で伝承されてきた、土着信仰に基づいた身体装飾でした。

現代ではトライバルタトゥーを一種のタトゥーの様式として認識されていますが、昔、日本ではアイヌ族、海外ではマオリ族などは体だけではなく顔にも彫っている、タトゥーを彫ることにより、自分達の信仰、文化を表している。⁷この場合、アウトローと関係なく、個人の象徴として存在するタトゥーは本当に疎されなければならないのか？

⁷ トライバルタトゥーとは？- 種類とデザインまとめ



これからの展望

入浴施設のタトゥーNGは法的根拠がなく、あくまでもハウスルールである。現実、海外では三分の一の人がタトゥーがあるという国もある。

刺青やタトゥーだけで人の「人柄」を判断することは見た目で人のことを決めつけることと同じ。

そこを見直す必要はあると、私は思う。

引用文献

トライバルタトゥーとは？- 種類とデザインまとめ

<https://mtattoo.jp/design/tribal-tattoo>

参考文献

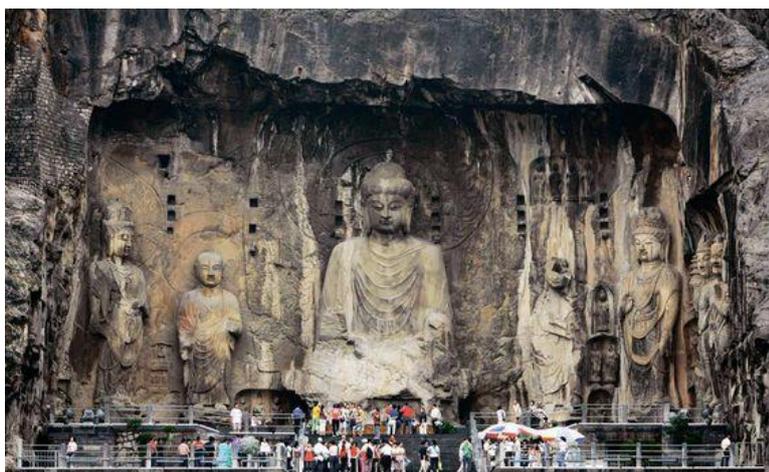
- 1、入れ墨(タトゥー)がある方に対する入浴可否のアンケート結果について
| 2015年 | トピックス | 報道・会見 | 観光庁 (mlit.go.jp)
- 2、『イレズミと日本人』(平凡社) 山本芳美

<洛陽——龍門石窟と京都>

氏 名：石 珂鳴（セキ カメイ）
任命年度：令和2年度任命
出身地：中国河南省
在 住 地：京都市在住



私の出身地は中国の河南省洛陽市である。洛陽は中国で「洛邑」、「洛京」と別の名前と呼ばれることも多い。その名前通り、洛陽は昔の中国の都城、首都でもあった。4000年の都市史と1500年以上の首都史を持ち、10以上の時代の首都が洛陽に設置された。長い歴史を持つ故、二里头遺跡、偃師商城遺跡、東周王城遺跡、漢魏洛陽城遺跡、隋唐洛陽城遺跡など様々な歴史の遺跡が残っており、その中で、北魏の時代（494年）に建設された龍門石窟は世界文化遺産に登録されている。



龍門石窟（百度）

龍門石窟の建設は北魏から始まり、10代以上の歴史を経て、1400年以上にわたって建設され、洞窟の建設時間としては世界最長となっている。建設中に色とりどりの絵がたくさん使われたと言われるが、今日ではほとんど色あせている。仏像が配置される洞窟は伊川の東西の山々の崖に密集しており、長さはなんと南北1 kmにわたる。その中で、2,345の既存の洞窟ニッチと11万を超える彫像がある。モガオ洞窟、ユンガン洞窟と合わせて、中国で3大洞窟と呼ばれている。

数多くの仏像の中で、一番大きいのは盧舎那仏である。その容姿は、中国史上唯一の女帝武則天が自分の顔に依じて彫ったという説がある。龍門石窟と同時に武則天は洛陽で天堂（天を祀る施設）を建設する。このニュースが日本に伝わった後、聖武天皇は「朕亦奉造」と誓い、奈良に東大寺を建てた。面白いのは東大寺の大仏は、龍門石窟の盧舎那仏をモデルにしたと言われている、その源流は武則天にあるかもしれない。

また京都を歩いていると随所「洛陽」と関連する言葉が目に入る。洛陽

病院、洛陽高校、洛北、洛南などの地名だけじゃなく、上洛、京洛、洛中、洛外、関屏風など、普段の勉強と生活の中で様々な「洛」から生まれた言葉と出会い、最初はとても不思議だった。調べてみると、中国はその昔、東西の都をそれぞれ「洛陽」と「長安」と呼んでいたが、日本でもかつては京都の東の京（左京）を洛陽、西の京（右京）を長安と呼んでいたことがあった。しかし、京都で「洛陽」という言葉はよく見かけるが、なぜ「長安」は聞くことが少ないのだろうか。そのことに疑問を持ってさらに調べると、京都の平安時代に分けられた左京と右京は、地形と地質の違いによって、居住地としては適していないため、住宅や道路の開発の進みが遅く、徐々に荒廃し、農村化の方向へと進んでいった。平安中期の頃になると、次第に右京が衰退し始め、平安京そのものの解体が始まって、洛陽城と名付けられた左京は右京より栄え、「洛陽」という呼び名が定着していったそう。



平安京の復元模型（平安京創生館の展示物）（写真：名古屋太郎）

京都と洛陽は両方とも長い歴史を誇る古都であるが、今、中国では古代洛陽の風景は今の京都にあるという話はよく聞く。京都市の伝統建築や景観の保存制度がよく整えられていて素晴らしいと思う一方、今4つの地下鉄を建設しようとする洛陽の都市計画は、京都に参考とすべきところがまだまだあるのではないかと強く感じた。昔の建築、街並みはその時代の技術と文化を代表しているので、それらを後世の人に残ることはとても有意義なことである。これから洛陽、そして洛陽と関係深い京都、両都市の間のさらなる交流を期待し、自分の力で貢献したいと思う。

参考サイト：

https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina_20200203045/

[https://baike.baidu.com/item/%E6%B4%9B%E9%98%B3/125712?fr=aladdin#reference-\[3\]-19675183-wrap](https://baike.baidu.com/item/%E6%B4%9B%E9%98%B3/125712?fr=aladdin#reference-[3]-19675183-wrap)

<https://narashikanko.or.jp/feature/daibutsu/>

＜ブラジルからの大使＞

氏 名：マテウス・デ・フレイタス・ラモス
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：ブラジル、ブラジリア市
在 住 地：京都市在住



私はブラジルから来ました。ブラジルはとても広いですから、地域によって気候や文化が全く異なります。そのため、ブラジルの文化を一言で表現することはとても難しいです。「ブラジル」というと多くの方はサンバやサッカーのことを思い浮かべるとと思いますが、この二つ以外にも音楽や料理、開拓の歴史など興味深い特徴がブラジルには存在します。

私は京都府名誉友好大使のメンバーの一人として、これらのブラジルの豊かな文化を日本人に紹介したいと考えています。ブラジルの人々は優しく陽気な性質を持っています。さらに、多くの民族から成り立っていますが、民族間のトラブルもなく、みんなが気さくで誠実です。さらに、一年中温暖でアマゾンに代表されるように豊かな自然も有しています。是非ブラジルの事をもっと知ってほしいと思いますし、そのお役に立てればうれしいです。

< 韓国の千年古都、慶州（ギョンジュ） >

氏 名：林 訓材（イム フンジュ）
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：大韓民国、慶州市
在 住 地：京都市在住



出身地について（紹介したいもの、場所、文化など）

韓国の歴史の都市、慶州市は韓国の慶尚北道（キョンサンブクト）の南東部にある市である。1千年間、新羅（シンラ）の建国初期（紀元前57年）から滅亡（935年）まで首都であった。現在の名前である慶州（ギョンジュ）と呼ばれたのは935年である。その後、東京、鶏林府（ゲリンブ）などに変わり、朝鮮時代に再び慶州に変わった。

慶州は大韓民国の主な観光地で、都市のあちこちに遺跡や古代遺物が散在している。昔の文化の精髓が込められた寺院、石仏など多くの史跡地と遺物があちこちに散在しており、輝かしい古代の文化と芸術に接することができる。最近、国際会議やエキスポを開催し、歴史的に有名なイメージだけでなく、国際的な地位まで引き上げることができた。

生産人口のうち「農業」と「サービス部門」に従事する人口が多いが、これは農業都市としての性格と観光地としての地位が高いことを示している。耕地面積は全体面積の19%と少ないが、農業と畜産が発達している。そして、観光都市のため、観光収入が多い部分を占めている。



写真：ファンリダンキルにあるパン屋「기와양과점(ギワヤンガ)」、
慶州文化観光局

過去には多くの文化財と静的な雰囲気で人気を集めたが、最近は慶州ワールド、カリフォルニアビーチなど夏に楽しめる遊園地とウォーターパーク、個性的な食堂と独特な雰囲気 of 皇理団キル（ファンリダンキル）がホットプレイスに挙げられている。ファンリダンキルは黄南洞（ファンナムドン）交差点の西側から約 1km の道で、個性豊かな店を見物する楽しみがある。割れた電球を金網にかけたホットドッグの店やエッフェル塔の模型を立てたアイスクリーム店、実際の鉄道を入りに敷いた洋服店、さらに飲食店やカフェ、書店、占い館などが立ち並んでいる。



写真：ファンリダンキルにある韓屋民宿「소설재(ソサルゼ)」、
慶州文化観光局

ファンリダンキルがくれる若い活気と独特な雰囲気です。Facebook、Twitter、InstagramなどのSNSでは、1日に数百件ずつ「#항리단길(ファンリダンキル)」のタグをつけた写真がアップロードされている。その中でも一番人気なのは、やはり飲食店とカフェである。慶州の特色ある食べ物を売る飲食店やトレンドイカフェに立ち寄り、記念写真を残すことが20代～30代に流行のように広まっている。

息苦しかった日常の中で、枯渇していたエネルギーと感性を充電しながらも、生活に不便のない施設が取り揃えている慶州。今のように在宅勤務が多く行われる状況では、勤務環境まで整っていればヒーリングと業務が同時にできるだろう。慶州市はこのようなニーズを満たすため、「慶州で一週間暮らし」、「慶州で起業」などのイベントを設け、インターネット、印刷機、コーヒー、お茶などを備えたリゾート施設で観光客と在宅勤務者を誘致している。一人暮らしだけでなく家族も一緒に利用できるこのイベントは、周辺の飲み物やベーカリー20%割引、ランチバイキング20%割引などの特典も提供する。

京都と慶州は観光業が主要産業である点、文化財が多く散在している点など、

類似点が多い都市である。新型コロナウイルスによる観光業と宿泊業が大きな打撃を受けている現在、慶州は個人QRコードの入力、カフェ内の飲食時間制限、午後10時以降テイクアウトなど徹底的に感染対策をし、ファンリダンキルを中心とした観光業の復興に努めている。そして、在宅勤務と旅行を兼ね備えたリゾートイベントなどをCM、SMSなどで知らせ、宿泊業も徐々に元の姿に戻ってきているようである。

コロナの危機の長期化に伴い、新たな観光コンテンツの開発、多様な観光商品の発売、観光事業の育成など、観光活性化に向けた方策を活発に進め、観光事業全般にわたる低迷の沼を回復するため、京都と慶州に新たな場が開かれることを期待する。

【抜粋】

慶州文化観光局、<https://www.gyeongju.go.kr/tour/index.do> (2021.02.07 閲覧)

ナムウィキ、<https://namu.wiki/w/%EA%B2%BD%EC%A3%BC%EC%8B%9C>

(2021.02.07 閲覧)

＜バンドンのおすすめ観光地＞

氏 名： エルフリダ デフィナ リマンティ
年 度： 令和2年度任命
出身地： インドネシア・バンドン市
在住地： 京都市在住



私は、インドネシアのバンドンから来ましたので、出身地で二箇所おすすめの魅力的な観光地を紹介したいと思います。

はじめに、バンドンという町は都会のジャカルタと同じジャワ島にあり、ジャカルタ島から約 151.1 km 離れています。車で行けば 2 時間 15 分ぐらいです。まだ近い距離だと言われているので、週末になるとジャカルタ人達はバンドンに行き、リフレッシュをする場所と呼ばれています。バンドンは一つの伝統的な町であり、歴史的な町とも言われています。

一番有名なところは「タンクバンプラフ山」で、毎年観光客がどんどん訪れ、いつも賑やかな感じですが。タンクバンプラフ山の由来は、昔話から取られたそうです。「サンクリアン伝承」というタイトルで、サンクリアンという名の主人公が、自分の母と結婚したいため、鬼の力を借りて大きい船を作ろうとします。しかし、母の出した条件は難しく、その船は一晩だけでは作る事ができません。サンクリアンの船がそろそろ出来上がる頃に太陽がのぼり、約束通りにできなかったため、彼はものすごく怒って船を蹴ってしまい、さかさまになって、「タンクバンプラフ山」になってしまいました。実際の話はともかく、自然な感じが魅力的だと言われています。美しい自然の風景だけでなく、タンクバンプラフ山のクレーターも見られます。このクレーターは非常に大きく、硫黄分を放出しています。そして、山路ではたくさんアングルンの演奏があつて、一つのエンターテインメントになると思います。

二番目にバンドンでおすすめの場所は「サウン アングルン ウッジョ」です。そこではアングルンを習うことができます。また、演奏も見ることができます。アングルンはインドネシア人にとって誇りの楽器であり、2010 年には世界遺産にも入っています。左右にふるえることで音を出します。習い方は難しくありませんが、慣れる時間が必要です。現代音楽と違って竹から作られて、高さによって音声が違います。高ければ高いほど高い音声が鳴ります。竹の音声がとても聞きやすく、独特な雰囲気です。アングルンは私にとって、素晴らしい楽器だと思います。なぜかという、伝統な雰囲気であっても現代の音楽をカバーできるぐらいだから、面白いと思います。



アンクルン1オクターブ

[Sejarah Alat Musik Angklung Jawa Barat - Sejarah Lengkap](#)



「サウン アンクルン ウッジヨ」—子供の演奏

[saung-angklung.png \(775x514\) \(airpaz.com\)](#)

参考文献

- 「Bandung, Destinasi Kekinian Yang Jadi Favorit Wisatawan」、 「Fera Hioe - Oktober 25, 2018」、 [Bandung, Destinasi Kekinian Yang Jadi Favorit Wisatawan | Airpaz Blog](#)、 閲覧 2021 年 1 月 27 日。
- 「keunikan Angklung」、 「Minggu, 23 Februari 2014」、 「[Indonesiaku: Keunikan Angklung \(bintangyangpalingterang.blogspot.com\)](#)」、 閲覧 2021 年 1 月 27 日。

＜三大民族マレーシア＞

氏 名：カン ジフィ
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：マレーシア
在 住 地：京都市在住



東南アジアの中心に位置するアジアの玄関口、マレーシアはマレー半島とボルネオ半島の一部に含め、13州と3つの連邦特別区から成り立っている。実は多民族国家マレーシアは単一民族の日本と違い、マレー系・中華系・インド系、そして多数の先住民族がともに暮らす多民族・多文化社会である。それぞれの民族の文化や宗教、言語が共存し、多様性を受け入れてお互いに尊重し合いながら、文字通り「グローバル社会」を構成している。

昔からのマレーシアは東西交易の中継点という地理的特性があり、アジアだけでなくヨーロッパの各国がマレーシアを拠点に貿易や布教活動を押しすすめた。その結果、キリスト教をはじめとするヨーロッパの文化までもが根付き、多文化が共生する国になったと言われている。

14世紀末最初の王国が築かれた。インドネシア・スマトラ島により建国されたマラッカ王国は商港として大きく発展し、ペルシャやアラブからやってきたイスラム教徒の影響を受け、イスラム教を積極的に受け入れていた。その後、16世紀には、マラッカを香辛料の交易およびキリスト教の布教の拠点として重視したポルトガルが占領、17世紀には、オランダがポルトガルを駆逐し、マラッカはオランダ領となる。

19世紀になると、アジアに進出していたイギリスがオランダと協定を結び、マラッカ海峡をはさみ東側（現：マレーシア）をイギリス領、そして西側（現：インドネシア）がオランダ領となった。太平洋戦争後はイギリス領に復帰するも、マレー民族の反乱がおこり、1963年にマレーシア連邦が成立。1965年にはシンガポールが独立し、現在のマレーシアが形成された。

このような歴史的背景からも、マレーシアは、複数の異なる宗教や文化の影響を受けながら今に至った。しかしながら、それは、文化がミックスされているというよりかは、異なる文化が共存しているという方が相応しい。

現在のマレーシアは一般的にイスラムの国という印象で、それぞれの信仰が認められている。実際にさまざまな人種や宗教、文化などが重なり合う奥深さがあるように、一つの国の中に複数の民族がいることで、休日も民族、宗教ごとに異なった多民族国家特有の文化形態を持っている。それぞれの暦があるため、新年とされる日も異なる上で、全てが国民の祝日となり派手にお祝いする。このことから「マレーシアにはお正月が3回ある」と言われている。

実は三大民族のほか先住民族、混血グループも存在している。マレー系の中には、サバ州のカダザン族、サラワク州のイバン族、ビダユ族、西マレーシアのオラン・アスリなどの先住民も含まれている。他にも、民族間における混血グループが複数存在する。華人系とマレー系の混血（ババ・ニョニヤ、またはプラナカン）やインド系とマレー系（チッティ）、ヨーロッパ系移民とアジア系（ユーラシアン）などが少数民族集団を形成している。

多民族が同じ国内で平和と安定の生活をするために、それぞれの宗教のタブーや知識などを勉強し、お互いの宗教を尊重し合いながら楽しく生活をする。豚は汚い動物と思っているイスラム教徒は豚肉を食べないのだが、牛を神様にしているヒンドゥー教徒は牛肉を食べない。お酒、タバコ、肉を食べ、ナイトライフを楽しむのは華人系だけである。

マレーシアとひとことで言っても、歴史や文化などがそれぞれに交錯して織りなされる、さまざまな背景を持つ人々の国でもある。この三大民族のコミュニティーは市内にあり、公共交通機関でのアクセスもよいので、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

ICC マレーシア大学 <https://www.iccworld.co.jp/malaysia/about/country/> (1/19 閲覧)

JTB 海外 https://www.jtb.co.jp/kaigai_guide/report/MY/2015/03/ancient.html (1/19 閲覧)

Tiger Mov <https://www.tigermov.com/blog/detail/965> (1/19 閲覧)

<2020年度大使レポート>

氏 名：涂 乗源（ト ジョウゲン）
任命年度：令和2年度任命
出身地：中国山東省
居住地：京都市在住



このたび、京都府名誉友好大使に選ばれまして光栄の至です。私は、中国山東省煙台市の出身です。煙台は山東半島のもっとも東にある港町であり、漁業とりんごの栽培が特に盛んになり、伝統的な産業として町の発展を支えてきました。大分県の別府市および岩手県の宮古市のそれぞれと友好都市関係を結んでいます。もっとも、清代の開国政策及び植民地の分割により、煙台が開港せざるをえなくなり、英、独などの外国企業と商人が煙台に進出したり、商売をしたりするようになりました。現在においても、民国時代や清末時代に外国人の投資で創設した病院や小学校、あるいは旧領地で残した煉瓦造りの二階建てマンションと領事館が多く見られます。

次に、漁業が非常に発展している特徴について説明します。臨海露天市場がかつて存在し（現在は環境問題への対策により廃止した）、船から捕獲した魚介類をすぐに市場に卸し、その場で販売され、鮮度を保ちつつコストも低いため、不滅の人気でした。それから、蓬莱閣、養馬島などの観光スポットも数々あり、特に、夏休みは毎年大勢の観光客で賑わっています。また、港町では、日本や韓国などの東アジア国の外国企業が煙台に工場を構えたり、現地企業と事業提携をしたりするケースも少なくありませんが、長い時間からほとんど韓国資本です。日本資本というと、イオングループ傘下のイオンモールしか知られていなく、日本企業が参入する事業や影響力は韓国資本には及ばないと言われていきます。しかし、2019年に中日韓三国間自由貿易協定が締結し、煙台ではそれらの外国資本を誘致するためのモデル工業区が作られました。電装、三菱電機、日立等有名な日系企業が今後煙台でさらなる活躍とそれにつながる地域活性化を人々が期待しています。特に、バイオテクノロジー、精密機械、デジタル技術などのハイテク分野における事業提携が重要視されています。

煙台は港町といっても、日本との往来がそれほど頻繁ではなく、京都についての知見がおそらく教科書レベルにとどまっていると思います。

ただ、近年、海外旅行に行く人が一段と増加し、近隣である日本を選ぶ傾向が強くなっています。その中で、京都で宿泊等足を運んだ親戚と友人にその感想を聞くと、やはり京都の和やかな風景、神社お寺巡りが一番楽しかったと言われます。ただ、現在、ショッピング目的で関西、特に大阪に行く観光客が多数で、京都が旅行の一つの駐留場に過ぎなく、そのため、京都の醍醐味を味わう十分な時間がなく、京都に対する認識が浅い面にとどまっていると言えます。

現在、大使活動は参加できておりませんが、1月27日に京都府立西乙訓高等学校で講演をする予定があります。今年新規大使として選ばれたばかりで、コロナのことでなかなか活動出来ない状況に直面しています。コロナで世界各国の対立と不信感、入国制限、アンティマスク運動、様々な価値観と異文化の矛盾がだんだん表に出て、鋭くなり、衝突しました。こういう時こそ、大使としての役割を果たし、自国文化と他国文化差異の紹介、対比を通じて、文化や制度が違うことだけで他国の制度や文化を否定するのではなく、異なる文化と制度の国家が共存できるような世界が望ましいです。出身国の教育、食文化、若者の関心事、就職活動事情等の小さなことから紹介し、少しでも興味を引き出し、理解が得られれば嬉しいと考えています。

<出身地の人々から見た「京都」について>

氏 名：楊 光耀（ヨウ コウヨウ）
任命年度：令和2年度任命
出身地：中国江蘇省
居住地：京都市在住



私から見た京都は、無限な宝物が埋蔵されているが、世の中のほとんどの人間に知られていないです。しかも、そのほとんどの人間は永遠に知れないかもしれません。

1. 蘇州と京都の共通点

私は、2016年の10月に京都に来て、もう5年目です。私の出身地は、中国江蘇省の蘇州市という小さな市です。年齢を問わず、蘇州を知っている日本人はほとんどいませんが、それはそれでいいと思います。

蘇州市と京都府は非常に似ていると個人的に思います。最初京都に来た時に、ほぼ違和感がありませんでした。以下、簡単に似ているところをまとめます。

- (1) 伝統文化を守りながら現代化を進めていること。
- (2) 歴史が長いこと。
- (3) 自然と共生していること。
- (4) 生活リズムが速くないこと。
- (5) 落ち着いた雰囲気があること。
- (6) 外来人口が多いこと。
- (7) 空港がないこと。
- (8) 重要文化財が多く、有名な観光地であること。

そして

- (9) 短期旅行だけでその美しさを知ることが不可能であること。

……

問題は、(8)と(9)です。

2. 蘇州と京都にある現象

私は18年間も蘇州で暮らしていて、蘇州通とは言えないが、地元民ならではの知識を持っています。例えば、蘇州にある特色料理はどの店が一番美味しいか、おすすめの観光地に行ってどう遊んだらいいか、蘇州地元民の生活を知るためにどこに行ってどうすればいいのか等、様々な豆知識を持っています。とはいえ、インターネット上では、たまに「蘇州に絶景があることは嘘だよ」、「全然面白くない」、「蘇州の庭園はほぼ同じ内容だから旅行に行っても半日で

十分だよ」、「勧めない」等、気軽に蘇州を否定する文章をよく見かけます。

地元民として、質問をさせてください：

「君たちはいつ、どこに行って、何をしたか。」

京都府に住み始めてからの4年間で、京都府にも同じような現象があると気づきました。

例えば、「嵐山ってそれほどきれいじゃないね」、「伏見稲荷大社って人が多すぎてだるい」、「京都の料理は外見だけ豪華で味は普通だね」等、よく耳に入ります。

この時も、私は同じことを聞きたいです：

「君たちはいつ、どこに行って、何をしたか。」

問題は、短時間だけで蘇州または京都府を知ることができないのに、時間をかけて詳しく知ろうとする人が滅多にいないということです。

3. 時間をかけて京都を感じよう

私は京都の川が好きです。特に鴨川、賀茂川、山科川が好きです。昼間に川へ行き、川沿いで静かに座り、風が体に当たっているのを感じながら、草と季節の花の香りを匂い、空の変化と野生動物の動きを見ることで、体と心を休めることができます。

私は京都の山が好きです。特に比叡山が好きです。叡山電車に乗っても、ほとんどの人は貴船と鞍馬に行くので、比叡山は人が少ないです。森林と仏教聖地に囲まれ、鳥の歌声と鐘の音を聞いていると、落ち着いてきます。

私は京都の空が好きです。特に夕方の夕焼け空が好きです。ベランダまたは高いところから西に向けて、カメラで毎日の夕焼けを記録することはもう習慣になりました。京都では、高い建物がないため、太陽が西の山に沈むことをはっきり見ることができます。太陽が沈むにつれ、温かく輝いた暖色の空がだんだん透き通った青に変わり、それから、人間社会のライトがあちこちで点灯し始めます。空が青からだんだん濃くなるにつれ、どこからかご飯の匂いがし、なるほど、京都は夜に入ったなあと思えます。

私は昼間以外の観光地が好きです。特に、夜の8時以後の伏見稲荷大社が好きです。人が少ないですが、山道が明るくて安全であり、虫の鳴き声と風の音を聞きながら、ゆっくりと伏見稲荷という神社を楽しむことができます。

私は京都の主要観光地以外のところが好きです。特に亀岡、長岡京、向島ニュータウン、深草、桂、山科が好きです。これらの地域に行けば、京都府民の一般生活が見えます。時間帯により動きが異なるサラリーマン、制服姿で楽しく会話している生徒、スーパーのフードエリアまたは出口のところで会話しているお年寄りたち、これこそが京都人の姿が見える京都ではないかと思えます。

私は京都の一日乗車券を買ってすべての駅で降り、周辺を回ることが好きです。特に、地下鉄と叡山電鉄の一日乗車券が好きです。駅はそれなりの意味があるから設置されているため、各駅の周辺では必ず特色のある風景があります。そこで、一日乗車券を買って、一駅一駅で降りて周辺を回ることによって異なる風景及び地元の人々の暮らしが分かるようになると思えます。

私は自転車に乗って京都の小道を通ることが好きです。特に丸太町通と今出川通周辺にある数えきれない小道が好きです。大通りの周辺には、住宅区や商店街や地域独特の店などがあるため、現地の人の生活を体験することができると思います。また、京都では数えきれない神社とお寺が散在しており、小道で様々な神社とお寺を発見することも楽しみの一つです。

私は京都の朝6時が好きです。

私は京都の深夜3時が好きです。

私は京都のお菓子が好きです。

私は京都の人情が好きです。

.....

京都は、短時間で分かる場所ではありません。

京都は、単なる神社とお寺の町ではありません。

京都は、京都市だけではありません。

京都は、旅行ツアーの一環とすべきではありません。

.....

京都では、無限な宝物が埋蔵されています。

京都は、落ち着いて、ゆっくりと、心で細かく感じるべき「世界」だと私は思います。



個人撮影・嵐山にて



本人撮影・同志社大学にて



本人撮影・清水寺にて

<タイと LGBTQ+>

氏 名 : Marisa Taechamatavorn
(マリサ テチャマタワオン)

任命年度 : 令和2年度任命

出身地 : タイ・バンコク市

居住地 : 京都市在住



タイといえば、性的少数者に寛容なイメージがあるだろう。実際、日本より LGBTQ+ の人が受け入れられている。日本では自分の性に関してあまり話せないが、タイではゲイであることを公表することができる。バンコクは LGBTQ+ 文化が盛んなことで知られ、毎年多くの性的少数者が訪れる。性転換手術を簡単に受けられるので、LGBTQ+ の楽園のようだ。

若い人たちはゲイや他の LGBTQ+ の人々と関われる機会が多い。多くの人が中学生になったら自分の性を自覚する。自分の友達が LGBTQ+ になることは珍しいことではない。SNS やボーイズラブがテーマのドラマなどからも LGBTQ+ について学ぶことができる。だから、LGBTQ+ の人も自然に受け入れられる。

しかし、タイの LGBTQ+ の人々の置かれる状況はイメージほど発展していない。タイでは女性の心を持った男性は特にカトゥーイと呼ばれ、カトゥーイはうるさく、面白いはずだというイメージがある。このステレオタイプに合わない人はいじめられるかもしれない。就職活動をする時に差別されることもある。

芸能界で活躍するカトゥーイもいるが、彼らはほんの一部であり、多くの人は見下される。社会的に成功しなければカトゥーイであることを認めてもらうことができない。アイデンティティを証明するために、ストレートの人には必要のない多くの努力が必要なのだ。

また、もちろんこれは新しい概念であるので、高齢の人々には受け入れられていない。LGBTQ+ についての理解が広まっていない。特に、ゲイ以外の概念はほとんど知られていない。一部では、LGBTQ+ であることは病気的一种だと信じられている。彼らは、LGBTQ+ について、環境を変えれば治るはずだと考える。また、仏教の教えでは、ゲイであれば出家できないので、親を天国に連れて行くという恩返しができないため、親不孝者だと思われる。

このように、寛容なイメージがあるタイでも LGBTQ+ の人々は多くの問題を抱えている。高齢者らの理解もまだ足りない。性的少数者の人々が平等に生活できるように LGBTQ+ についての理解をより普及させる必要がある。

<故郷新疆——和田>

氏 名：王 壮壮（オウ ソウソウ）
任 命 年 度：令和2年度任命
出 身 地：中国新疆——和田
在 住 地：京都市在住



私の故郷であるホータン（和田）は新疆ウイグル自治区の南西部に位置し、タクラマカン砂漠と崑崙（こんろん）山脈に挟まれたオアシス都市です。一般の人にとっては、全く馴染みの無いところで、歴史に詳しい、特にシルクロードや西域に興味がある人以外、ホータンを知ることはまれだと思います。かつて、ホータンは隊商貿易の中継地として重要な役割を果たしており、玄奘もここを訪れたそうです。今は、たくさんの特産品の産地として有名です。

玉の産地

和田玉は玉の中で一番高い価値の宝石と言っても過言ではありません。「中国四大玉石」の中でも最高の玉とされるほか、2008年の北京オリンピックにおいて、オリンピックの金メダルの作成にまで和田玉が採用されました。石の塊がクンルン山脈から河川によってオアシスに運ばれ、きれいな丸みにし、ようやく和田玉になり、人に発見されます。

ホータンに住む人の多くが、だれでも一回体験した、または趣味になっていることは、河で玉を探すことです。私のお父さんも週末になると、必ず一日かけて楽しんでます。そして、運がある人は、たまに質のいい和田玉一個を見つければ、何百万円で売れます。

果物の産地

ホータンは温帯大陸性気候に属しているため気温の変化が激しく、日照時間が長く（年間の日照時間が2500-3500時間に達します）降水量が少なく、糖度の高いかつ大きめの果物が育ちます。夏にはスイカやメロン、ぶどう、なし、棗等数え切れないほど味わえる一方、冬になるとざくろやリンゴなど、年間を通じて多品種かつ新鮮な果物が味わえます。実に殆どのウイグル族民家の庭で、たくさんの種類の果樹が植えられ、化学肥料や農薬を使わず、天然の果実がよく育ちます。その他、干しぶどうやくるみもおすすめです。

絨毯の産地

ホータン絨毯は羊毛を手織りして作ったものであり、中国の手織りの絨毯体系の中においても、とても重要な構成として認められています。主に新疆のホータンで生産されているため、「ホータン絨毯」と呼ばれます。ホータンの羊毛手織りの絨毯は精密な芸術で、特に絨毯の図案は独特な風格を持っており、色調は優雅かつ上品でユニークです。図案の構造を言えば、ウイグル族芸術の特色を表しており、植物の花や果実や枝葉等の紋様がよく見られるほか、変化に富

むいくつかの幾何学的な紋様もよく考案されています。それは今では、国内外の消費者の間で強い人気がある主な原因の一つです。それ以外、ホータン絨毯はホータン羊の羊毛で織っているため、丈夫で弾力性に富んでいて、手触りもよく、長期間で使っても退色しません。

自分の故郷を他人に紹介するたび、心のどこからか自慢する気持ちが湧いてきます。それと同時に、故郷の良さを多くの人に知ってもらいたくなります。

＜ベトナムの文化＞

氏 名：マイ ティ ホン ニュン
任命年度：令和2年度任命
出身地：ベトナム
在住地：京都市在住



美しい国の人々の良い旅行の話は、人々の注意を簡単に引き付けることができ、特にその国に友好的な見方をもたらすことができます。しかし、たった1度の旅行や本やニュースなどで国全体を判断することは不可能と言えます。しかし、その国の人々の行動や文化を見てみると、その国のライフスタイルを部分的に理解することは出来ます。文化を探求したい時のちょっとしたアドバイスを教えます。それは、地元の人、レストランのウェイター、バスの運転手、道端の露店など、旅先であなたの近くにいる最も近い人々を観察してみてください。

ベトナムは南東の国です。ここの国への訪問者はいつも地元の人々の寛大さに驚かされることでしょう。先住民族は、いつでもあなたを助ける準備ができています、そして、彼らは自分の車であなたを街へ連れていってくれ、案内をしてくれるでしょう。お金を貰おうなどという気持ちは一切ないです。ただ、お客様に対して自分の住んでいる国、街を知ってもらいたいのです。特に、笑顔はいつもこの土地の人々の特別な美しさであり、誰にでも、どこでも笑顔を見せます。これはベトナムに足を踏み入れた人にとって最も印象的なことです。

また、車から降りる時は、ドアも開けてくれます。雨が降っていたら傘をさしてくれて、目的地の濡れない場所まで連れて行ってくれます。日本では、お金持ちの人で、ドライバー付きの場合は同じようなことをしてくれますが、ベトナムでは、これが普通なのです。おもてなしはホテルだけとは限りません。街の人々が、自分の国を知ってもらいたい。親しくなりたい。と思う気持ちが、気付くと自然におもてなしになっていると私は感じています。

ベトナムは多民族国家で、キン族（越人）が最も多く約86%、その他にモン族、ムオン族、ヌン族、クメール族など53の少数民族、計54民族がいます。キン族の言語（キン語）のことをベトナム語といい、公用語として教育機関や政府機関で話されています。ベトナム語は発音が難しく、習得に時間がかかる言語と言われています。約80%が仏教徒ですが、日本と同じように信仰心の薄い人が7割近くを占め、熱心な仏教徒は約1割程度だと言われています。

ベトナム人は仕事より家族を大事にしています。日本で言う、単身赴任について、そんなことをするなら会社を辞める、という人もいほど考えられないことです。また、役職関係なく、家族に何かあったときや、冠婚葬祭などで休暇をとることは当たり前で、それができなければ退職する人もいるくらいです。

ベトナムは日本と違い感情的なお国柄で、会話にて信頼関係を築きます。また、他人の目を気にし、噂話を好みます。その反対、人前で怒ることをすごく嫌います。自分が哀れに見えるからです。お酒を飲んで信頼関係を築く点は日本と同じなため、機会があれば誘ってあげるのも良いでしょう。ベトナムでは、田舎の農村など一部の地域を除きレディファーストです。スーパーで買い物かごを持ったりカートを引いたりするのは男性の役割です。ベトナム人の男性は女性に対しても優しい対応をしてくれます。ベトナムには、女性の日と呼ばれるものが年に2回あり、男性は花を贈ったりします。逆に男性の日はありません。可哀想ですが… それだけ、ベトナムは女性に優しい国です。